

専門研修プログラムガイド



昭和医科大学

Contents

目次 ごあいさつ		1 2
内科	昭和医科大学病院 昭和医科大学藤が丘病院 昭和医科大学横浜市北部病院 昭和医科大学江東豊洲病院	3 8 12 16
小児科	昭和医科大学病院 昭和医科大学横浜市北部病院	19 21
皮膚科	昭和医科大学病院	23
精神科	昭和医科大学附属烏山病院 昭和医科大学横浜市北部病院	25 27
外科	昭和医科大学病院 昭和医科大学横浜市北部病院	29 33
整形外科	昭和医科大学病院	37
産婦人科	昭和医科大学病院 昭和医科大学横浜市北部病院	39 41
眼科	昭和医科大学病院 昭和医科大学藤が丘病院	43 45
耳鼻咽喉科	昭和医科大学病院	47
泌尿器科	昭和医科大学病院	49
脳神経外科	昭和医科大学病院	51
放射線科	昭和医科大学病院 昭和医科大学横浜市北部病院	53 55
麻酔科	昭和医科大学病院 昭和医科大学横浜市北部病院	57 59
病理	昭和医科大学病院	61
臨床検査	昭和医科大学病院	63
救急科	昭和医科大学病院	65
形成外科	昭和医科大学藤が丘病院	67
リハビリテーション科	昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 昭和医科大学病院	69 71



— ごあいさつ —



専門臨床研修（専攻医）委員会委員長
学校法人昭和医科大学 総括病院担当理事
小出 良平



昭和医科大学医師臨床研修センター長
矢嶋 宣幸

昭和大学医学部は一般社団法人日本専門医機構が認可した整備指針に基づき、昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院、藤が丘病院、藤が丘リハビリテーション病院、横浜市北部病院、江東豊洲病院、烏山病院、そして連携施設がグループをつくり、基本19領域すべてに専門研修プログラムを整備しました。医師臨床研修を修めたほとんどの医師は、次のステップとして質の高い専門医を目指し「専攻医」に進みます。

本学では広範囲にわたり数多くの症例を経験できるだけでなく、基本領域プログラム修了後のサブスペシャルティ領域においても、多彩な研修プログラムを用意しています。また修了要件にあります連携施設における研修にも力を入れており、充実した研修環境、指導医や上級医によるきめ細かい指導など、すべてがそろった理想的な専門研修プログラムを構築しています。

本学が専門研修プログラムを開始して7年目となる今年、527名の専攻医が専門医資格取得を目指し症例を積み重ねています。また昨年度、専門研修を修了した146名のうち、135名はそのまま本学に勤務しサブスペシャルティ領域の研修へと進み、8名は大学院医学研究科に残り研究を継続しています。さらには、基幹施設として約400名、附属病院全体では500名を上回る指導医が在籍し、昭和大学の特色であるチーム医療教育で培ってきた、教え導く姿勢と豊富な経験を生かした指導体制を整えています。

昭和大学は「至誠一貫」の精神を体現する社会に貢献する優れた医療人の育成と、質の高いチーム医療を提供することに最大の価値を置いています。向学心旺盛な医師の皆さんの参加を期待しております。

昭和大学では、昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院、昭和大学附属烏山病院を柱に、基本19領域に及ぶ研修プログラムを有しています。サブスペシャルティ領域を含め、医師の技術力の充実と個々の人間性の深化を目指し、優れた医療者の育成に力を注いでいます。われわれの研修は患者本位の医療、先進医療の実践、医療人材の育成、および地域貢献を柱に、これらの目標を達成するための教育を提供しています。

医師という職業は、知識と技術の絶えず進化するフィールドであり、新たな情報をタイムリーに取り入れ、それを診療に適用するための生涯学習の精神が求められます。医師としての道を歩む上で、専門医としての3-5年目の期間は、その基盤を築く重要なフェーズとなります。

また、われわれの病院では、臨床研修医や医学生への教育活動にも力を入れています。教育活動は、自身の知識を深め整理するだけでなく、他者を指導する経験が医師としての成長にも寄与します。教育の連鎖は、さらなる知識の深化と職場環境の改善につながります。

さらに、学術活動は大学病院としての責務であり、われわれの中心的な役割の一つです。症例発表から始まり、基礎研究、臨床研究の実践、そして論文作成に至るまで、優れた指導医のもとでの経験の積み重ねが求められます。国内外への留学の機会も提供しており、研究の舞台は日本だけでなく世界へと広がります。

自己制御と一貫性を保つ「至誠一貫」の精神を胸に、日々の診療に尽力し、日本の医療に貢献する優れた医療者へと成長していただくことを心から願っております。

昭和医科大学病院内科研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 医師臨床研修センター事務室 事務課専攻医・連携病院係
TEL 03-3784-8299 FAX 03-3784-8254 E-mail s-senkou@ofc.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
病院長 相良 博典

プログラム概要

- 医師として必要な基本的診療能力と技術を習得できる。
- 内科全般の幅広い知識と高い診療技術および能力を習得できる。
- 内科領域全般からサブスペシャルティ領域（循環器、呼吸器、アレルギー、消化器、腎臓、神経、糖尿病・代謝・内分泌、リウマチ・膠原病、血液、感染症、腫瘍）の専門研修を行い、各領域の専門医取得へと連動している。
- 専門知識の情報把握と各疾患の課題・病状把握、解決策の立案と実行ができる戦略的思考、患者との関係構築、医療関係者とのコミュニケーションスキルを持ち合わせた高いレベルのスタンダードリーダーシップを持つ専門医になる。
- 内科専門医の育成を通して、医師としての職業に誇りを持てる幅広い人格形成をもって国民の健康・福祉に貢献できる教育システムが構成されている。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本内科学会内科認定医	136名	日本肝臓学会専門医	9名
日本内科学会総合内科専門医	63名	日本腎臓学会専門医	10名
日本呼吸器学会専門医	29名	日本透析学会専門医	9名
日本消化器病学会専門医	25名	日本糖尿病学会専門医	8名
日本循環器学会専門医	26名	日本血液学会専門医	7名
日本消化器内視鏡学会専門医	18名	日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医	11名
日本神経学会専門医	16名	日本認知症学会専門医	5名
日本リウマチ学会専門医	10名	日本内分泌学会専門医	3名
日本アレルギー学会専門医	17名	日本アフェレシス学会専門医	2名

専門研修指導医数

呼吸器内科	6名
消化器内科	10名
循環器内科	11名
脳神経内科	5名
内科(糖尿病・代謝・内分泌)	9名
内科(腎臓)	7名
内科(リウマチ・膠原病)	9名
内科(血液)	3名
内科(腫瘍・緩和医療)	4名

各種学会施設認定

一般社団法人日本感染症学会	日本消化器内視鏡学会
日本緩和医療学会	日本消化器病学会
日本血液学会	日本神経学会
日本骨髄バンク	日本脳卒中学会
日本呼吸器学会	日本脈管学会
日本アレルギー学会	一般社団法人日本アフェレシス学会
日本呼吸器内視鏡学会	日本腎臓学会
日本がん治療認定医機構	日本透析医学会
日本臨床腫瘍学会	日本糖尿病学会
日本高血圧学会	日本内分泌学会
日本循環器学会	日本リウマチ学会
日本心血管インターベンション治療学会	日本腎臓リハビリテーション学会
日本動脈硬化学会	日本頭痛学会
日本不整脈心電学会	日本認知症学会
日本老年医学会	日本造血・免疫細胞療法学会
日本内科学会	日本輸血・細胞治療学会
日本肝臓学会	日本心臓リハビリテーション学会
日本胆道学会	

主な専門研修連携施設

昭和大学藤が丘病院	菊名記念病院	牧田総合病院	東京女子医科大学八千代医療センター	海老名総合病院	静岡医療センター	鶴岡市立荘内病院	センター
昭和大学横浜市北部病院	小山記念病院	山梨赤十字病院	徳島赤十字病院	川崎医科大学附属病院	寿泉堂総合病院	日鋼記念病院	近森病院
昭和大学江東豊洲病院	城山病院	横浜市立市民病院	獨協医科大学埼玉医療センター	川崎協同病院	順天堂大学医学部附属浦安病院	浜野長嶋内科	日高病院
あそか病院	総合病院国保旭中央病院	大分大学医学部附属病院	長野赤十字病院	獨協医科大学日光医療センター	新東京病院	秋田赤十字病院	浦添総合病院
いまきいれ総合病院	東京高輪病院	上都賀総合病院	ひたちなか総合病院	飯塚病院	東京ベイ・浦安市川医療センター	柏たなか病院	埼玉医科大学国際医療センター
東京都立荏原病院	東京労災病院	高知大学医学部附属病院	弘前大学医学部附属病院	池田病院	長岡西病院	小張総合病院	筑波メディカルセンター病院
小田原市立病院	日本鋼管病院	神戸労災病院	福島県立医科大学附属病院	亀田総合病院	兵庫県立淡路医療センター	佐久市立国保浅間総合病院	同愛記念病院
榎原記念病院	ひたち医療センター	静岡赤十字病院	南長野医療センター篠ノ井総合病院	横浜市立みなと赤十字病院	岩手医科大学附属病院	島根大学医学部附属病院	華岡青洲記念病院
関東労災病院	富士吉田市立病院	白河厚生総合病院	茨城東病院	音羽病院	大宮中央総合病院	自治医科大学附属さいたま医療	



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	専門医試験		サブスペシャルティ専門医試験				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
サブスペシャルティ 重点コース (2年相当)	臨床研修 2年		専攻医3年				
			各科 ローテーション		各科 ローテーション		サブスペシャルティでの 研修 (8ヶ月)
				地域研修			

サブスペシャルティ領域での研修は入局後初期の段階から開始も可能。昭和大学病院、または昭和大学関連病院あるいは所属医局関連病院で研修。(サブスペシャルティ領域での研修は減ってしまうが) 各診療科での不足する症例がある場合は、各診療科の研修を1~3ヶ月単位で選択することもできる。また内科専攻医に課せられた地域研修は、基本2年目に履修する

医学部卒後年数	専門医試験					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
サブスペシャルティ 重点コース (混合研修型)	臨床研修 2年		専攻医4年			
			各科ローテーション	同時にサブスペシャルティ専門研修	サブスペシャルティ 3年相当の研修	

サブスペシャルティ領域での研修は入局後初期の段階から開始も可能。昭和大学病院、または昭和大学関連病院あるいは所属医局関連病院で研修。

1つの診療科の研修期間は1~3ヶ月単位で選択できる。

医学部卒後年数	専門医試験		大学院修了			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
大学院コース	臨床研修 2年		各科 ローテーション	専攻医3年 連携病院	各科 ローテーション	ベッドフリー

専攻医1年目(医師3年目)は各科で研修、専攻医2年目は1年間連携病院で地域研修(1年同一施設あるいは6ヶ月ごとに施設を選択)、専攻医3年目は各科で研修を行い、内科専攻医研修を修了。4年目に6ヶ月間ベッドフリーとなり、研究に従事、研究成果をまとめる。

医学部卒後年数	専門医試験					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
社会人 大学院コース	臨床研修 2年		専攻医3年			
			昭和大学病院、または昭和大学関連病院あるいは 所属医局関連病院で研修。 1つの診療科の研修期間は1ヶ月単位で選択できる。 ⇒基本的に臨床研修期間、専攻医期間は業務終了 後に大学院研究に従事。			

昭和大学病院の内科専攻医研修プログラムは、臨床研修修了後、または臨床研修開始後1年目から加味した6つのプログラムが用意されています。

【標準コース】

内科の領域を偏りなく学ぶことを目的としたコースであり、専攻医研修期間の3年間において内科領域すべての科をローテーションします。原則として3ヶ月を1単位として1年

間に4科、3年間で延べ11診療科を基幹施設でローテーションします。3年目は地域医療の経験と症例数が充足されていない領域を重点的に連携施設で研修します。

【サブスペシャルティコース】

希望するサブスペシャルティ領域を重点的に研修するコースです。このコースは1年コース2年コース、混合コースの3つのいずれかを選択できます。研修開始後の4ヶ月は希望する領域にて初期トレーニングを行います。その後、2ヶ月間を基本として他診療領域の研修、あるいは連携施

設にて研修を行います。3年目には、サブスペシャルティ領域を中心としながら連携施設において不足している症例を経験します。その中で混合コースは内科専門医とサブスペシャルティ専門医が同時に取得できるコース設定になっています。

【大学院コースおよび社会人大学院コース】

大学院コースは臨床研修と並行して研究を開始することができます。また、社会人大学院コースは、研修1年目から入学できます。大学院籍は専門医制度と紐付いているわ

けではありません。そのため、大学院在籍時も通常のプログラムが研修できる限りにおいては、その症例と経験実績が研修期間として認められます。



プログラムの魅力

専攻医の1週間（大学病院の例）

呼吸器・アレルギー内科（血液内科、腫瘍内科）

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	受持患者情報の把握						週末日直 (月1~2回)	
	朝カンファレンスチーム回診							
	病棟／ 気管支鏡	一般外来・学生・ 臨床研修医の指導	病棟／ 気管支鏡	症例検討会 画像カンファレンス 教授回診				
午後	外勤	禁煙外来 緊急当番	専門外来食物 アレルギー	病棟・学生・ 臨床研修医の指導			外勤	
			気管支鏡ハンズ オンセミナー	CPC (月1回)				
		患者申し送り						
			抄読会・ 研究発表	呼吸器外科・ 腫瘍内科 Cancer board				
		当直 (週1回)						

【呼吸器・アレルギー内科】 当プログラムの特徴は、経験豊富な実績を持ち合わせた熱意ある医師が大学病院として最高水準の臨床、研究、教育を行っているところです。経験豊かな指導医のもとで充実した臨床研修を実践し、診断から治療まで総合的に学ぶことができます。問題症例の検討会やグループカンファレンスなどが活発に行われており、系統だった教育体制が構築されています。研究においても基礎研究からトランクスレーショナルリサーチまで幅広く行っています。このような恵まれた環境で、最先端の医療を提供できる医療人をめざして、一緒に経験知を高めていきましょう。

【血液内科】 当科では貧血から造血幹細胞移植まで多様な血液疾患を経験豊富な指導医から丁寧に学ぶことができます。特に造血細胞移植は都内でも有数の症例数を誇っているため、早期から移植医療についても経験できるこ

とが特徴です。大学院では臨床研究や基礎研究のどちらも可能で希望に合わせて勉強することができます。疾患としては貧血、血小板減少、悪性リンパ腫、白血病、多発性骨髄腫など多様な疾患を経験することができます。

【腫瘍内科】 腫瘍内科の臨床研修プログラムは、新薬の治験、臨床研究はもちろんのこと、最先端のトランクスレーショナルリサーチを経験することができます。これにより、内科専門医、がん薬物療法専門医、がん治療認定医など内科系、がん治療に関する専門医を取得することができます。また、昭和大学大学院への進学、学位取得をサポートします。アメリカ、フランスなどへの海外留学でキャリアアップすることも可能です。週0.5日の研究日が付与されますので、研究のための時間を確保することも魅力です。

糖尿病・代謝・内分泌内科

	月	火	水	木	金	土	日
午前	病棟カンファ・ 回診	病棟カンファ・ 回診	病棟カンファ・ 回診	病棟カンファ・ 回診	病棟カンファ・ 回診	病棟カンファ・ 回診	休み
	学生指導	回診	学生指導	教授回診	救急当番	外来実習	
	病棟業務						
午後	セミナー (年3回)				内分泌 症例検討		
					糖尿病 症例検討		
	患者教育	学生指導	救急当番	医局会・ 研究発表	病棟業務		
	病棟業務	病棟業務			グループ カンファ		
グループ カンファ							
当直 (月2-3回程度)							

【糖尿病・代謝・内分泌内科】 糖尿病・代謝・内分泌内科では、大学病院ならではの最先端の糖尿病治療から、専門的な代謝・内分泌疾患の診療まで幅広く経験することができます。総合内科専門医・糖尿病専門医・内分泌代謝内科専門医の資格が取得可能です。毎年約20報の英語学術論文が発表されており、研究の経験のない方でも短期

間で学位を取得できるシステムが確立されています。さらに、臨床研究やカンファレンスが盛んに行われていることから自身の臨床能力のレベルアップも同時に図ることができますので、先生方の将来にとって良い経験になるはずです。

リウマチ・膠原病内科

	月	火	水	木	金	土	日
午前	モーニング カンファレンス (MC)	MC	MC	MC	MC	MC	
	病棟担当患者 10人／1チーム	病棟	外勤 近隣施設の 一般内科外来	外勤	病棟	病棟	休み1回／ 2カ月日曜 当番で病棟へ
		ランチョン ジュニアに レクチャー					
午後	病棟	病棟 回診準備	回診 大学で全員集合 17:00～医局会	外勤	病棟	休み	休み
	シニアレクチャー						

【リウマチ・膠原病内科】 当科はその疾患の特性から肺や腎臓など内臓臓器に限らず、皮膚や筋骨格系など全身の臓器を対象とします。内科領域はもちろんのこと、医局員は皮膚科・整形外科領域など幅広い分野で研鑽を積んでおり、これらの知識や技能を習得したリウマチ専門医からの指導を受けることができます。主な診療の現場となる病棟業務ではリウマチ専門医を含めた4～5人の班体制

をとっており、屋根瓦式の教育が行われています。診療の特色として母性内科があり、妊娠・出産を考えている、あるいは周産期の膠原病患者の治療も経験することができます。研究面では臨床研究班と基礎研究班があり、関節リウマチや全身性エリテマトーデスを中心に世界に研究成果を発信しています。

循環器内科

	月	火	水	木	金	土	日
午前	病棟班による 朝回診						外勤日
	核医学	症例検討会 教授回診	心外合同 カンファレンス				
		外来日直	冠動脈CT				
午後	運動負荷検査 (トレッドミル、 エルゴメーター)	心カテ室補助 心筋生検検討会	救急日直				外勤日
		医局会	心カテ室補助				
		心エコー	病棟班による夕回診				
	平日当直 (月3回)						
	週末日当直 (月1回)						

【循環器内科】 循環器内科は虚血性心疾患、不整脈疾患の患者数が日本有数の症例数を誇り多くの症例を経験することができます。また、近年はTAVIやmitraclip等の構造的心疾患(structure heart disease)にも力を入れており、心臓血管外科や小児循環器センターとも協力し

ながらさまざま多くの症例を経験できます。心不全や心臓リハビリテーションのカンファレンスなどを定期的に行い、メディカルスタッフとの連携の取り方も学ぶことができます。

消化器内科

	月	火	水	木	金	土	日
午前	受持患者情報の把握						
	超音波検査	救急当番	上部消化管 内視鏡	上部消化管 内視鏡			
午後	ERCP		下部消化管 内視鏡	救急当番	ラジオ波 焼灼療法		
		肝臓 カンファレンス	膵胆道 カンファレンス		内視鏡 カンファレンス		週末日直 (月2回)
	当直 (月2回)						

【消化器内科】 消化器内科は常に外来患者数・入院患者数ともにトップクラスであり、common diseaseはもちろんのこと、重症患者や希少な疾患など、数多くの処置を経験することができます。疾患別に消化管、肝臓、胆道の3つのグループで診療および研究領域の検討を行っていますが、基本的には消化器内科としてチーム医療を実践しています。当科は内視鏡・超音波をはじめとしたさまざまな処置を行う必要があるので、全領域の基本

的技術から身についていただきます。上下部消化管内視鏡、超音波内視鏡、ERCP、腹部超音波を用いる診断と治療の習得にあたっては、安全性の確保と高度な技量の養成に努めています。消化器センター、内視鏡センター、超音波センター、腫瘍センターと多分野の医療スタッフとの連携医療の実施により、個々の患者さんに対する全人的で最新かつ高度な医療を学ぶことができます。

腎臟內科

【腎臓内科】当科プログラムの特徴は、臨床、研究、教育を実践する大学病院ならではの経験豊富な指導医から丁寧な指導を受けることができることです。3年間の内科標準コース、4年間の大学院コースなど各自のキャリアプランに沿って、充実した専門臨床研修や研究を行うことができます。原発性や続発性の腎炎・ネフローゼ症候群、水・電解質異常、急性腎障害、慢性腎臓病、腎代替療法

を必要とする末期腎不全など数多くの疾患を経験することができます。また、血液透析の内シャント造設やバスクュラーアクセスインターベンションなど、外科的手技も数多く経験できます。問題症例の検討会や各グループカンファレンス、抄読会、腎生検カンファレンスなども活発に行われており、系統だった教育体制が敷かれています。

脳神経内科

	月	火	水	木	金	土	日				
午前 月～木で 外勤日あり	受持患者情報の把握										
	病棟班カンファ・朝回診					教授回診新患 カンファレンス					
	病棟業務・救急当番（上級医とともに） /週1日学生・臨床研修医の指導 など										
午後 月～木で 外勤日あり	病棟業務・救急当番（上級医とともに） /週1日学生・臨床研修医の指導 など						週末日直（月2回）				
	物忘れ外来	神経伝導検査		経食道心 エコー検査	製剤説明会						
					ケース カンファレンス						
病棟班カンファ・夕回診											
当直（月平均2回程度）						週末当直（月1回）					

【脳神経内科】 脳神経内科のビジョンは、常に最新知識をもって正しく神経疾患の診断・治療をし、臨床研修医と学生の教育、さらに臨床研究をすることです。パーキンソン病をはじめとする神経変性疾患の基礎および臨床研究、ならびに脳卒中をはじめとする「神経救急学」に重点を置いています。外来診療では、一般的な外来診療のほか発症24時間以内の急性期脳卒中患者を積極的に受け入れ、

脳神経外科と連携して治療を行っています。入院診療ではアルツハイマー病やパーキンソン病など、偏りなく神経疾患の診療を行っており、卒前卒後医学教育にふさわしい施設であると自負しています。定期的な問題症例の検討会や各グループカンファレンスなどが活発に行われており、系統だった教育体制が敷かれています。ぜひとも当科の一員として一緒に経験を積み、脳神経内科医を目指しましょう。

感染症内科

【感染症内科】 感染症は一つの臓器にとどまらず、全身の至る所に発生しうるため、各診療科と協同して診療・研究・教育に取り組んでいます。そういう意味では、各診療科と感染症内科それぞれの最先端に触れることができます。診療科独自の病床は今のところ無いため、基本的な内科的入院診療についてはほかの診療科をローテートして学

が必要があります。言い方を変えると好きな診療科で研修を積むことができ、融通の利くカリキュラムを組めるメリットもあります。時短勤務や中途での科変更などにも対応できる可能性が高く、短期集中型研修や、長期分散型研修のいずれも対応できますので、個々の事情に合わせた研修も可能です。

専攻医からのメッセージ



2023年度専攻医
(消化器内科)

九里 光政

出身大学
北里大学
臨床研修病院
北里大学
メディカルセンター

消化器内科に興味を持ち、研修病院を探しているときに見学し、雰囲気の良さと症例の豊富さに惹かれ、昭和大学病院での専門研修を選択しました。

当院は大学病院で規模も大きいため、稀少疾患や重症症例に携わる機会が多いです。近隣医療機関からの受け入れも積極的に行うため、common diseaseも多く、さまざまな症例を経験できるため、幅広い対応力が身につきます。

消化器内科は医局員が多く、困ったときは誰にでも相談しやすい環境であり、教育体制が整っているのが魅力的です。



2023年度専攻医
(腫瘍内科)

村 英美子

出身大学
山形大学
臨床研修病院
昭和大学病院

腫瘍内科は、さまざまな固体腫瘍の薬物療法を行う診療科です。担癌患者に起こりうる合併症、有害事象などから全身を診る力がつき、当科の研修だけでも幅広い症例経験を積むことができます。

入局当初から第一線で診療に当たることができ、それをサポートする教育環境も整っています。また、医局員による学会発表や論文投稿も多く、日々刺激を受けています。

昭和大学病院は風通しのよい職場で、さまざまな出身大学から専攻医が集まっています。ぜひ一度見学にいらしてください!



2024年度専攻医
(呼吸器・アレルギー内科)

増田 玲良

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
国立病院機構
東京医療センター

急性期の治療から終末期に寄り添う医療まで、治療するしないの選択までも患者さんと一緒に行える呼吸器内科に魅力を感じ、入局しました。大学病院ならではの希少で重症な疾患、commonな疾患があり、外勤では内科一般外来も経験できるので、本当に学びが多い環境です。日々勉強することだらけですが、困る前に手を差し伸べてくださる上級医の先生方に支えていただきながら、充実した日々を過ごしています。

ぜひ一緒に働きましょう。



2022年度専攻医
(血液内科)

岡村 玲子

出身大学
東京女子医科大学
臨床研修病院
昭和大学病院

当医局は血液疾患の症例数が豊富で、造血幹細胞移植を含む専門的治療を行っています。治療中に全身管理を要することも多く、内科全般の基礎を身につけることが可能です。内科専攻医としての症例には事欠きませんが、知識を深めるために他内科のローテーションすることもできます。地域研修先は連携病院から自身の興味やライフプランに合わせて選択します。当科での研修に興味のある方はホームページからお問い合わせください。



2023年度専攻医
(糖尿病・代謝・内分泌内科)

西原 澄芳

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学病院

研修に回った際に先生方が教育熱心であり、また大学院にも通いやすいため、こちらを選びました。プログラム開始後も、班の先生をはじめ、勉強会などの臨床の場でのサポートが充実しています。糖尿病・内分泌は豊富な症例があり、内科一般の分野も勉強できます。病態はもちろんのこと、生活環境や併存疾患など多岐にわたる因子を考慮して治療方針を決める面白さや投薬・デバイスが日進月歩であることは当科の魅力だと思います。



2022年度専攻医
(消化器内科)

水野 紗也香

出身大学
東京女子医科大学
臨床研修病院
昭和大学病院

毎日多くの患者さんが訪れる基幹型病院にて研修したいと思い、本プログラムを選択しました。さまざまな症例に携わることができ、経験豊富な指導医からレクチャーを受けることができるため、日々の学びはとても大きいです。地域出向は関東や山梨等から選ぶことができます。消化器内科のいいところは、慢性期の方から急性期の方まで幅広く診療することができ、積極的に手技ができる点だと思います。

昭和医科大学藤が丘病院内科プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学藤が丘病院

問い合わせ先 | 担当者 鈴木 洋 TEL 045-974-4541 FAX 045-973-1019 E-mail f-senkou@ofc.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学藤が丘病院
内科(リウマチ・膠原病)

教授井上 嘉彦

プログラム概要

- ①**本プログラムは、昭和大学藤が丘病院を基幹施設として、昭和大学附属病院のほかに関東圏を中心に全国の幅広い研修施設とともに構成されるプログラムである。
- ②**本プログラムは、専門研修施設群での3年間の研修（基幹施設2年間+連携施設1年間）で、豊富な臨床経験を持つ指導医の

適切な指導のもとで、内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得を目指す。

③内科専門医としての基本的臨床能力獲得後は、内科領域サブスペシャルティ専門医への道を歩む場合やさらに高度な総合内科

のGeneralityを獲得する場合を想定して、複数のコース別に研修を行い内科専門医の育成を行う。

④大学院へ入学している医師や入学を目指している医師も研修可能な内科専門研修プログラムである。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本内科学会認定内科医	53名
日本内科学会総合内科専門医	26名
日本消化器病学会専門医	15名
日本循環器学会認定循環器専門医	16名
日本透析医学会専門医	6名
日本消化器内視鏡学会専門医	14名
日本腎臓学会専門医	6名
日本糖尿病学会専門医	8名
日本内分泌学会専門医	6名
日本血液学会専門医	3名
日本神経学会神経内科専門医	7名
日本呼吸器学会専門医	10名
日本心血管インターベーション治療学会専門医	3名
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医	2名

専門研修指導医数

呼吸器内科	11名	脳神経内科	5名	内科(リウマチ・膠原病)	2名
消化器内科	17名	内科(糖尿病・代謝・内分泌)	15名	内科(血液)	4名
循環器内科	20名	内科(腎臓)	5名	内科(腫瘍・緩和医療)	1名

各種学会施設認定

日本内科学会認定医制度教育病院	日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設	日本消化器内視鏡学会指導施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設認定	日本消化管学会胃腸科指導施設
日本高血圧学会専門医認定施設	日本カプセル内視鏡学会指導施設
日本循環器学会専門医研修施設	日本呼吸器学会認定施設
日本脈管学会認定研修関連施設	日本アレルギー学会教育施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修基幹施設	日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
トランクスサイレチン型心アミロイドーシスに対するビンダケル導入施設認定証	日本腎臓学会研修施設
浅大脛動脈ステントグラフト実施施設	日本透析医学会専門医制度認定施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院	日本血液学会認定専門研修認定施設
日本神経学会専門医制度における教育施設	日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度における認定教育施設	日本リウマチ学会教育施設
日本甲状腺学会専門医制度における認定専門医施設	日本救急医学会指導指定施設
日本糖尿病学会認定教育施設	日本集中治療医学会専門医研修施設

主な専門研修連携施設

昭和大学病院	東京女子医科大学附属八千代医療センター	大船中央病院	兵庫県立淡路医療センター	秋田赤十字病院
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	弘前大学医学部附属病院	荏原病院	長岡西病院	日高病院
昭和大学横浜市北部病院	神戸労災病院	あそか病院	洛和会音羽病院	自治医科大学附属さいたま医療センター
昭和大学江東豊洲病院	徳島赤十字病院	川崎医科大学附属病院	独立行政法人国立病院機構静岡医療センター	柏たなか病院
小田原市立病院	上都賀総合病院	日本鋼管病院	公益財団法人湯浅報恩会寿泉堂総合病院	小張総合病院
国際親善病院	長野赤十字病院	関東労災病院	順天堂大学医学部附属浦安病院	佐久市立国保浅間総合病院
菊名記念病院	大分大学医学部附属病院	川崎幸病院	医療法人社団誠醫会新東京病院	島根大学医学部附属病院
富士吉田市立病院	福島県立医科大学附属病院	小山記念病院	日鋼記念病院	近森病院
ひたち医療センター	白河厚生総合病院	飯塚病院	岩手医科大学附属病院	城山病院
いまきいれ総合病院	ひたちなか総合病院	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	鶴岡市立庄内病院	華岡青洲記念病院
山梨赤十字病院	静岡赤十字病院	亀田総合病院	大宮中央総合病院	筑波メディカルセンター病院
獨協医科大学埼玉医療センター	JA長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院	新東京病院	浜野長嶋内科	埼玉医科大学国際医療センター
高知大学医学部附属病院	獨協医科大学日光医療センター	東京ベイ市川浦安医療センター	医療法人青仁会池田病院	同愛記念病院
				浦添総合病院



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	内科標準コース	臨床研修 2年	専攻医3年									

内科専門医取得後約3年のサブスペシャルティ専門研修を行い、修了認定を取得→サブスペシャルティ領域の専門医試験受験

医学部卒後年数	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	大学院コース	臨床研修 2年	専攻医3年								大学院修了	

藤が丘病院、または昭和大学関連病院あるいは所属医局関連病院で研修。
1つの診療科の研修期間は1~3ヶ月単位で選択できる。
⇒専攻医期間は業務終了後に研究に従事。

医学部卒後年数	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	サブスペシャルティ 重点コース (1年型)	臨床研修 2年	専攻医3年								サブスペシャルティの 研修(12カ月)	

サブスペシャルティ領域の研修は入局後初期の段階から開始も可能。開始・終了時期、継続性は問わない。
内科専門医取得後約2年間のサブスペシャルティ専門研修を行い、修了認定を取得→サブスペシャルティ領域の専門医試験受験

医学部卒後年数	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	社会人大学院 コース	臨床研修 2年	専攻医3年								大学院修了	

藤が丘病院、または昭和大学関連病院あるいは所属医局関連病院で研修。
1つの診療科の研修期間は1~3ヶ月単位で選択できる。
⇒専攻医期間は業務終了後に研究に従事。

医学部卒後年数	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	サブスペシャルティ 重点コース (2年型)	臨床研修 2年	専攻医3年								サブスペシャルティの 研修(24カ月)	

サブスペシャルティ領域の研修は入局後初期の段階から開始も可能。開始・終了時期、継続性は問わない。
内科専門医取得後約1年間のサブスペシャルティ専門研修を行い、修了認定を取得→サブスペシャルティ領域の専門医試験受験

内科標準コース

内科標準コースは内科の領域を偏りなく学ぶことを目的とした研修コースであり、専門研修期間の3年間において内科領域すべての科をローテーションします。地域医療研修を十分行うために昭和大学の附属病院以外の関連病院のうち最低1病院で研修を行います。研修する連携施設の選定

大学院コースおよび社会人大学院コース

大学院コースは臨床研修と並行して研究を開始することができます。また、社会人大学院コースは、研修1年目から入学できます。大学院籍は専門医制度と紐付いているわ

は専攻医とプログラム統括責任者が協議して決定します。このコースは内科専門医を取得後にサブスペシャルティ専門研修を開始し、約3年間の研修の後サブスペシャルティ専門医の資格取得となります。

サブスペシャルティ重点研修コース（1年型）（2年型）

希望するサブスペシャルティ領域を重点的に研修するコースです。専門研修期間の3年間において、サブスペシャルティ領域の研修を累計1年間（1年型）あるいは2年間（2年型）行います。専攻医は将来希望する内科において、を目指す領域での知識、技術を学習することにより内科専門医取得へのMotivationを強化することができます。その他、2カ月間を基本としてほかの内科をローテーションします。地域医療研修を十分行うために昭和大学の附属病院

以外の関連病院のうち最低1病院で研修を行います。研修する連携施設の選定は専攻医の希望をもとに、希望するサブスペシャルティ領域の責任者とプログラム統括責任者が協議して決定します。このコースは内科専門医を取得後に、1年間（2年型）あるいは2年間（1年型）のサブスペシャルティ領域研修を行った上でサブスペシャルティ専門医の資格取得となります。



プログラムの魅力

〈内科研修プログラムの週間スケジュール：循環器内科の例〉

	月	火	水	木	金	土
朝	朝カンファレンス 心電図読影	朝カンファレンス 心電図読影	朝カンファレンス 心電図読影	朝カンファレンス 心電図読影		朝カンファレンス 心電図読影
午前	病棟・検査 (心臓超音波検査)	病棟・検査 (心臓カテーテル検査)	病棟・検査 (不整脈検査治療)	病棟・検査 (心臓カテーテル検査)	外勤	病棟・検査 (心臓核医学検査)
午後	病棟・検査 (心臓超音波検査)	病棟・検査 (心臓カテーテル検査) CPC(月1回)	教授回診放射線科 合同カンファレンス	病棟・検査 (不整脈検査治療)	外勤	
夕		病棟カンファレンス	心臓カテーテル合同 カンファレンス 医局会、症例検討会 抄説会、研究報告会	重症下肢虚血 合同カンファレンス (月2回)		

昭和大学藤が丘病院は開設当初から、内科ローテーションシステムを実施しており、内科ローテーションによる研修システムが確立しています。よって、在籍する内科指導医のほとんどはそのシステムで育った内科医でありその重要性を理解しています。現在も藤が丘病院では内科入局当初の医師を内科全体で育てています。大病院にありがちな壁や隔たりはまったくみられず、和気あいあいとした雰囲気で研修ができます。また、出身大学も多岐にわたっています。専攻医修了後にもそのまま内科の一員として勤務可能です。また内科は女性医師も多く、

結婚出産後にも家庭と仕事を両立できるようなシステムが確立されており研修後にも長期に仕事を継続することが可能です。一方、臨床研究にも力をいれており数多くの英文論文を発表しています。また常に内科から数人は昭和大学の留学助成システムを利用し海外留学をしています。将来、大学に残って第一線の臨床や臨床研究をしようとしている医師から開業を目指している医師まで幅広いニーズに対応できますので、やる気のある専攻医の応募をぜひとも期待しています。

〈内科研修プログラムの週間スケジュール：内科（腎臓）の例〉

	月	火	水	木	金	土
朝	病棟		病棟	カンファレンス 病棟回診	病棟	手術(第2、第4週) 病棟
午前	病棟	外勤	病棟	医局会	病棟	手術(第2、第4週) 病棟
午後	併診カンファレンス 病棟	外勤	病棟	腎生検	病棟	
夕	チーム カンファレンス		チーム カンファレンス	腎生検 カンファレンス (隔週)	チーム カンファレンス	

夕方のチームカンファレンスでは患者状況について報告し、治療方針の確認を行う。

- 木曜日16時（月2回）の腎生検カンファレンスに参加する。
- 木曜日11時より診療科長による全患者の回診に参加する。
- 木曜日12時からの医局会で行われる説明会等に参加する。

専攻医からのメッセージ

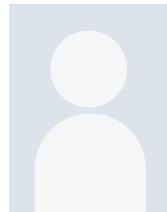


2023年度専攻医
(消化器内科)

酒向 大暉

出身大学
日本大学
臨床研修病院
昭和大学藤が丘病院

私は初期臨床研修を昭和大学藤が丘病院で行いました、他大学出身ですが分け隔てなく接してくださり、消化器内科医として専門研修も引き継ぎ行うこととしました。消化管疾患のみならず胆膵症例も豊富であり、日々学びが多いです。内科で考えている方にはお勧めしたい病院ですので、ぜひ見学にいらしてください。



2022年度専攻医
(呼吸器内科)

泉崎 謙介

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学病院

私は昭和大学を卒業し、昭和大学病院で臨床研修を修了しました。もともと呼吸器内科には興味があり、より臨床的に診療ができる藤が丘病院の内科専攻医を選択しました。藤が丘病院の内科プログラムは横のつながりが強く、内科ローテーションでさまざまな症例を経験することができます。私は呼吸器内科の医局所属ですが、気軽に上級医の先生から指導を受けることができ、所属する先生も増えてきているため、一人一人の希望に沿った研修のできる医局となっています。内科専攻医を考えている方はぜひ一度見学にいらしてください。

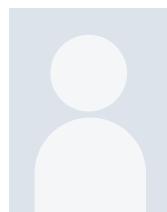


2022年度専攻医
(循環器内科)

吳 元喜

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学藤が丘病院

私がここを選んだ理由は虚血や不整脈、心不全をバランスよく経験でき、勤務中は忙しいことも多いですが他の病院と比べてプライベートの時間も確保できるからです。
地域研修は、私は内科を総合的に診られる病院を選択しましたが、循環器を集中的に研修することも可能で、選択の幅は広いです。
当科では雰囲気もよく、充実した研修生活を送れます。みなさんと一緒に研修できる日を楽しみにしています!



2023年度専攻医
(腎臓内科)

今村 紘

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学横浜市北部病院

私が思う当医局の魅力は2点あります。1点目は幅の広さです。当医局では腎臓内科と膠原病内科の患者さんを診ることができます、それぞれの専門医の取得も可能です。また、腎臓内科では手術やVAIVTも自分たちで行っており、手技が好きな方にもオススメです。2点目は人です。スタッフの先生方は大変面白く、大変優しい方々ばかりです。（もちろん医学的知識も豊富です。）こちらについては文字では伝わりにくいので、ぜひ一度見学にいらしてください。お待ちしております。



2022年度専攻医
(脳神経内科)

渡邊 晋平

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学藤が丘病院

初期研修中にどの診療科を回ってもアットホームな雰囲気の中、手厚く指導してくださいました。また、専門的な疾患はもちろんですがcommon diseaseも多く、症例数も多いことからJ-OSLERに関して不安材料がないことも藤が丘に決めた理由でした。脳神経内科は、疾患に偏りがなくさまざまな領域の疾患をみることができ、上級医からアドバイスいただいたり相談させていただきながら自分で考えて診療することができます。皆さんと一緒に研修できる日を楽しみにしております!



2023年度専攻医
(糖尿病・代謝・内分泌内科)

川久保 里咲

出身大学
東邦大学
臨床研修病院
昭和大学藤が丘病院

私は初期臨床研修から昭和大学藤が丘病院で行い、アットホームで優しく楽しい雰囲気に魅了され入局を決めました。現在、糖尿病・代謝・内分泌を専攻しておりますが、若手医師への教育体制がかなり手厚いこと、些細な疑問点であっても、いつでも上級医が親身になってサポートしてくださることが魅力的だと感じています。また、J-OSLERや学会発表に関しても、多岐にわたる症例を経験することができ、上級医の指導のもとさまざまな症例を学べるので、安心して研修ができます。先生方のお陰で、無理なく、充実した後期研修を送っています。内科専攻医を考えている方は、ぜひ一度見学にいらしてください。皆様と一緒に研修できる日を楽しみにしております。



循環器内科



内科（糖尿病・代謝・内分泌）



消化器内科



脳神経内科



呼吸器内科



藤が丘病院外観

内科

昭和医科大学横浜市北部病院内科研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学横浜市北部病院

問い合わせ先 | 担当者 昭和大学横浜市北部病院 管理課 TEL 045-949-7000 FAX 045-949-7117 E-mail h-senkou@ofc.showa-u.ac.jp



統括責任者

昭和医科大学横浜市北部病院
内科系診療センター内科
(腎臓内科)

教授 緒方 浩顕

プログラム概要

■当院は横浜市都筑区の港北ニュータウンという大規模な住宅地区の中心地に立地しています。その平均年齢は神奈川県内で最も若い43.1歳で、またその平均寿命が男女ともに全国トップ10に入る（厚生労働省資料より）ことからもわかるように、当院は小児から高齢者まで幅広い年齢層の方々が来院される病院です。310名の医師が在籍し、手術件数10,225件、救急取扱

件数10,014件、分娩数1,005件）と、急性期医療が主たる診療対象となっていますが（2022年度）、精神科（精神病、認知症）および緩和ケア病棟も併設されており、急性期から慢性期まで幅広い領域をカバーしています。

■本内科研修プログラムには3つのコース（後述）があり、3年間あるいは4年間の研修を経て総合内科専門医試験を受験できる

資格を得ることができます。症例の多さのみならず、専門性の高い内科サブスペシャルティに接しながらの研修は、将来のさらなる高みを目指す内科医志望の方に最適です。大学院への進学も可能であり、希望があればぜひ相談してください。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本内科学会総合内科専門医	22 名
日本消化器病学会専門医	18 名
日本消化器内視鏡学会専門医	16 名
日本肝臓病学会専門医	4 名
日本循環器病学会専門医	10 名
日本腎臓病学会専門医	7 名
日本透析医学会専門医	7 名
日本神経学会専門医	3 名
日本糖尿病学会専門医	2 名

日本呼吸器学会専門医	4 名
日本アレルギー学会専門医	1 名
日本リウマチ学会専門医	2 名
日本高血圧学会専門医	1 名
日本感染症学会専門医	1 名
がん薬物療法専門医	12 名
日本内分泌学会専門医	2 名
日本血液学会専門医	2 名

専門研修指導医数

消化器内科	7 名
循環器内科	6 名
呼吸器内科	2 名
内科 (腎臓、神経、 内分泌・代謝、 腫瘍、血液、 膠原病、その他)	16 名

主な専門研修連携施設

昭和大学病院	神戸労災病院	小山記念病院
昭和大学藤が丘病院	徳島赤十字病院	静岡赤十字病院
昭和大学江東豊洲病院	上都賀総合病院	洛和会音羽病院
小林病院	長野赤十字病院	独立行政法人国立病院機構
日鋼記念病院(室蘭市)	大分大学医学部附属病院	静岡医療センター
名古屋共立病院	福島県立医科大学附属病院	公益財団法人湯浅報恩会
ふれあい横浜ホスピタル	彩の国東大宮メディカルセンター	寿泉堂総合病院
工藤胃腸内科クリニック	白河厚生総合病院	順天堂大学医学部附属浦安病院
川崎幸病院	ひたちなか総合病院	医療法人社団馨会新東京病院
市立角館総合病院	静岡赤十字病院	東京ベイ・浦安市川医療センター
いまきいれ総合病院	JA長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院	医療法人崇徳会長岡西病院
小田原市立病院	あそか病院	兵庫県立淡路医療センター
山梨赤十字病院	菊名記念病院	岩手医科大学附属病院
荏原病院	ひたち医療センター	鶴岡市立庄内病院
獨協医科大学埼玉医療センター	富士吉田市立病院	浜野長嶺内科
高知大学医学部附属病院	日本鋼管病院	大宮中央病院
東京女子医科大学附属	関東労災病院	医療法人青仁会池田病院
八千代医療センター	川崎医科大学附属病院	近森病院
弘前大学医学部附属病院	獨協医科大学日光医療センター	

各種学会施設認定

日本内科学会	日本循環器学会	日本臨床腫瘍学会	日本緩和医療学会	日本神経学会
日本呼吸器学会	日本心血管インターベンション学会	日本IVR学会	日本ペインクリニック学会	日本がん治療認定医機構等
日本呼吸器内視鏡学会	日本高血圧学会	日本脳卒中学会	日本リウマチ学会	日本内分泌学会
日本アレルギー学会	日本腎臓学会	日本感染症学会	日本女性医学学会	日本糖尿病学会
日本消化器病学会	日本透析医学会	日本病態栄養学会	日本甲状腺学会	八千代医療センター
日本消化器内視鏡学会	日本アフェレーシス学会	日本超音波医学会	日本血液学会	弘前大学医学部附属病院



専攻医育成コースの概略

【基本コース】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	①		②		③		④		⑤		⑥	
2年目	⑦		⑧		⑨		⑩		⑪		⑫	
3年目												内科専門医筆記試験

循環器、呼吸器、消化器、内科Ⅰ、内科Ⅱ、内科Ⅲ、内科Ⅳの7領域および地域医療(連携施設研修)を①～⑫の中から選択

【サブスペシャルティ重点コース】 具体例：内科腎臓を選択した場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
1年目	内科（腎臓（北部））				循環器・呼吸器（北部）		内科Ⅰ～Ⅳ（北部）											
2年目	地域医療（消化器を含む）				内科（腎臓（連携施設））													
3年目					内科専門医筆記試験													

【サブスペシャルティ混合コース】 具体例：消化器科を選択した場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
1年目	消化器科でtraining				循環器科		呼吸器科											
2年目	内科Ⅰ（神経）		内科Ⅲ（内分泌・代謝）				内科Ⅳ（腎臓・高血圧・アレルギー）											
3年目	小林病院（消化器科）				消化器科													
4年目	市立角館総合病院（内科）				消化器科													
					内科専門医筆記試験													

本プログラムでは専攻医が抱く専門医像や将来の希望に合わせて以下の3つのコース、①内科基本コース（3年制）、②サブスペシャルティ重点コース（3年制）、③サブスペシャルティ混合コース（4年制）を設けています。コース選択後も条件を満たせばほかのコースへの移行も認められます。将来のサブスペシャルティが未決定、またはより高度で広範な知識および技量を擁する総合内科専門医を目指す場合は基本コースを選択します。専攻医は各内科学部門に所属し、3年間（サブスペシャ

ルティ混合コースは4年間）で各内科や内科臨床に関連ある救急部門などをローテートします。将来のサブスペシャルティが決定している専攻医はサブスペシャルティ重点コースを選択し、各センター、診療科の領域をローテーション、いずれのコースを選択しても遅滞なく内科専門医受験資格を得られるよう工夫されており、専攻医は卒後5～6年で内科専門医、その後のトレーニングを経てサブスペシャルティ領域の専門医取得ができます。

① 内科基本コース（3年制）

内科専門医はもちろんのこと、将来、内科指導医や高度なジェネラリストを目指す方も含まれます。将来のサブスペシャルティが未定な場合に選択することもあり得ます。内科基本コースは内科の領域を偏りなく学ぶことを目的としたコースであり、専攻医研修期間の3年間において、求められる「疾患群」－「症例数」－「病歴提出数」を満たせるよう内科領域を担当する各診療科をローテーションします。連携施設としては昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、

昭和大学江東豊洲病院、その他の関連病院などで病院群を形成し、原則として最低1年間ローテーションします（複数施設での研修の場合は研修期間の合計が最低1年間となります）。研修する連携施設の選定は専攻医と面談の上、プログラム統括責任者が決定します。また、専門医資格の取得と臨床系大学院への進学を希望する場合は、本コースを選択の上、担当教授と協議して大学院入学時期を決めます。

② サブスペシャルティ重点コース（3年制）・③ サブスペシャルティ混合コース（4年制）

希望するサブスペシャルティ領域を重点的に研修するコースです。研修開始直後から希望するサブスペシャルティ領域にて初期トレーニングを行うことができます。この期間、専攻医は将来希望する内科において理想的医師像とする指導医や上級医師から、内科医としての基本姿勢のみならず、目指す領域での知識、技術を学習することにより、内科専門医取得へのモチベーションを強化することができます。連携施設において当該サブスペシャルティ領域の内科研修を継続して、重点的に研修するとともに、充足していない

領域の症例を経験します。研修する連携施設の選定は専攻医と面談の上、希望するサブスペシャルティ領域の責任者とプログラム統括責任者が協議して決定します。なお、研修中の専攻医数や進捗状況により、初年度から連携施設での重点研修を行うことがあります。あくまでも内科専門医研修が主体であり、重点研修は最長2年間（混合コースは最長3年間）とします。また、専門医資格の取得と臨床系大学院への進学を希望する場合は、本コースを選択の上、担当教授と協議して大学院入学時期を決めます。



プログラムの魅力

専攻医の1週間（大学病院の例）

内科

呼吸器内科

	月	火	水	木	金	土	日
午前	モーニングカンファレンス						
午前	気管支内視鏡	病棟 カンファレンス	カンファレンス・ 教授回診	病棟・外来研修			
午後	病棟・ 外来研修	病棟・ 外来研修	気管支内視鏡	病棟・外来研修			
午後	症例検討会						

循環器内科

	月	火	水	木	金	土	日
午前	症例 カンファレンス	画像カンファ レンス・抄読会					
午前	外来・病棟研修		心筋シンチ	病棟・外来研修			
午後	IVR室・ 病棟研修	IVR室・病棟研修・ 運動負荷心電図	気管支 内視鏡	IVR室・病棟研修	病棟研修		

消化器内科

	月	火	水	木	金	土	日
午前	内科外科 カンファレンス					内視鏡 カンファレンス	
午前	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	
午前	上部内視鏡	上部内視鏡	上部内視鏡	上部内視鏡	上部内視鏡	病棟・ 外来研修	
午前	ESD	ERCP	ESD				
午前	腹部超音波	腹部超音波	小腸内視鏡	造影超音波			
午前		TACE/RFA					
午後	下部内視鏡	下部内視鏡	下部内視鏡	下部内視鏡	下部内視鏡	下部内視鏡	
午後	ESD		ESD		病棟回診	病棟回診	
午後	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診			
午後	内視鏡 カンファレンス	消化管 カンファレンス	化学療法 カンファレンス				

脳神経内科

	月	火	水	木	金	土	日
午前	外来・ 病棟研修	病棟研修			外来・病棟研修		
午後	病棟研修	病棟研修	外来研修		筋電図		
午後					カンファレンス		

リウマチ・膠原病内科

	月	火	水	木	金	土	日
午前	外来・ 病棟研修			病棟研修		外来・ 病棟研修	
午後	病棟研修	病棟研修	研修医 カンファレンス・ リウマチ カンファレンス・	病棟研修		病棟研修	
午後					藤が丘オンライン カンファレンス		

腎臓内科

	月	火	水	木	金	土	日
午前	病棟研修		外来・病棟研修		外来研修	病棟研修	
午前	血液浄化室						
午後	手術	腹膜透析外来	腹膜透析外来・手術・ 血管内治療	手術・ 血管内治療		血液净化	
午後	病棟研修						

【内科】 横浜市北部病院内科には腎臓・高血圧、神経、内分泌・代謝、膠原病、血液・腫瘍のサブスペシャルティを軸としたグループがありますが、それぞれの専門性を生かしつつ、かつ相互に連携を取りながら診療に従事しています。特に複合的な疾患を多く抱えた患者診療を実践していくうえで、垣根がないことは最大の強みです。急性期から慢性期まで、また専門性の高い難病疾患まで幅広い疾患を日常的に経験し、内科専門医としての研修を行えるのが最大の魅力です。

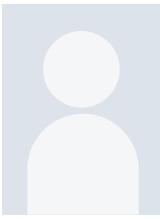
【消化器センター】 消化器センターでは、国内でも数少ない内科と外科が診断から治療まで一貫して行うシームレスな治療を実現しています。上部・内視鏡はそれぞれ年間6000～7000件以上、内視鏡的粘膜下層切除術（ESD）は年間300件以上を行っています。早期にサブスペシャルティを専攻することにより、専攻医1年目から上部のみならず下部内視鏡検査の研修を行い、同時に内視鏡カンファレンスにより診断学を修得することができます。外科治療、がん薬物治療も行っており、消化器疾患を診断から医療まで包括的に診ることができます。

【呼吸器センター】 横浜市北部病院呼吸器内科の特徴は、呼吸器外科の医師との協調・協力体制が整っており、外科的診療が必要な症例を直ぐに相談でき、また、カンファレンスで外科症例を共有することにより、内科では経験できない知識や手技を身につけることができると思います。また、総合内科としての知識も要求されることが多いと思います。地域がん診療連携拠点病院に指定されていることもあり、肺癌や悪性胸膜中皮腫、縦隔腫瘍、原発不明癌、転移性肺癌などの悪性疾患の症例も多いですが、最先端の治療・検査を導入しているのはもとより、緩和医療科との連携に基き、終末期医療も充実しています。若手医師にとっては、専攻医や専門医取得のために必要な豊富な症例を、多く経験できる利点があります。主治医として入院・外来患者さんを担当することができ、責任は大きくなりますが、患者さんからの信頼や感謝を得る喜びと、医師としてのやりがいを感じることができます。

【循環器センター】

横浜市北部病院循環器内科は循環器疾患全般について診療を行っています。急性期疾患としては、急性心筋梗塞・急性冠症候群を含む虚血性疾患、頻脈性・徐脈性を含む不整脈、急性および慢性心不全症例を数多く経験できます。特にIVR検査・治療においては国内外において優れた成績をあげており、また内科的診療が困難なケースでは心臓血管外科との連携も密に行われています。

専攻医からのメッセージ



2024年度専攻医

春木 陽菜

出身大学
山口大学
臨床研修病院
昭和大学横浜市北部病院

横浜市北部病院の内科プログラムは、各科の垣根が低く症例の相談を行い易い点が魅力です。また、都市部の内科専攻医は地域医療に従事することが義務付けられていますが、妊娠出産の場合はこれらを考慮することができます。キャリアだけでなくこれらの事柄についても、当院は大変相談しやすい職場です。内科専攻医志望の方は、ぜひ一度ご見学に来ていただければと思います。



2024年度専攻医

三浦 和晃

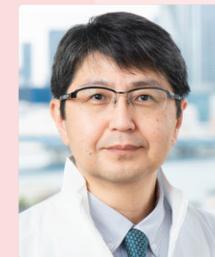
出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学横浜市北部病院

当院は都筑区における医療の中核を担っており、幅広い症例が集まるところです。初期研修医時から感じてきました。現在、腎臓内科専攻医として内科に属しておりますが、当院の内科は腎臓・脳神経・糖尿病内分泌・リウマチ膠原病・血液・腫瘍という6つの科で構成されているのが特徴です。日常臨床で困ったときに相談しやすい環境が整っております。腎臓内科としては1年目からAVシャント造設、シャント血管内治療、腹膜透析関連のオペにも関わることができ、もちろん内科としての考え方を身に着けることも可能です。幅広い領域で医療に関わりたいという方におすすめです。興味のある初期研修医の先生は、ぜひ気兼ねなく見学にいらしてください。

昭和医科大学江東豊洲病院内科プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学江東豊洲病院

問い合わせ先 | 担当者 消化器内科 伊藤 敬義 TEL 03-6204-6721 FAX 03-6204-6998 E-mail tito@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学江東豊洲病院・
消化器内科
教授 伊藤 敬義

東京湾岸エリアで内科一般研修とサブスペシャルティ研修を両立して行う

■本プログラムは東京都の昭和大学江東豊洲病院を基幹施設として、昭和大学附属病院群、東京都城東地区医療圏、近隣医療圏、また東京・神奈川以外の医療圏をプログラムとして守備範囲とし、必要に応じた地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように指導します。研修期間は基幹施設2年間+連携施設1年間の3年間です。

■本プログラムでは専攻医が抱く専門医像や将来の希望に合わせて、①内科基本コース、②サブスペシャルティ（各科）重点

コース（1年型）、③サブスペシャルティ重点コース（2年型）、④サブスペシャルティ重点コース（複合型）を準備していることが最大の特徴です。コース選択後も条件を満たせば別のコースへの移行も認められます。サブスペシャルティ重点コースでは3年間のプログラムのうち2年間をサブスペシャルティ研修に費やすことができ、内科専攻医の研修が1年経過した時点からサブスペシャルティ研修として登録可能となっています。例えばサブスペシャルティが消化器内科の場合は内科専攻医の研修

症例をJ-OSLERに登録し、1年経過後には消化器疾患登録をJ-OSLER-Gに登録していきます。2018年度から当プログラムに参加した内科専攻医は、これまで全員が3年間で修了認定を得ております。安心して応募してください。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数	
日本内科学会指導医	22名
日本内科学会総合内科専門医	26名
日本内科学会認定内科医	33名
日本消化器病学会消化器病専門医	20名
日本循環器学会循環器専門医	7名
日本呼吸器学会呼吸器専門医	3名
日本神経学会神経専門医	6名
日本腎臓学会腎臓専門医	2名
日本肝臓学会肝臓専門医	10名
日本アレルギー学会アレルギー専門医	2名
日本リウマチ学会リウマチ専門医	1名
日本内視鏡学会専門医	17名
日本胃腸科学会胃腸科専門医	3名
日本透析医学会専門医	2名
日本脳卒中学会専門医	2名

専門研修指導医数	
呼吸器内科	1名
消化器内科	13名
循環器内科	4名
脳神経内科	3名
内科（腎臓）	2名
内科（リウマチ・膠原病）	1名
内科（腫瘍・緩和医療）	3名



各種学会施設認定	
日本内科学会認定医制度教育施設「大学病院」	基幹病院：昭和大学江東豊洲病院
日本消化器病学会認定施設	連携施設：大分大学医学部附属病院
日本消化管学会胃腸科指導施設	上都賀総合病院
日本消化器内視鏡学会指導施設	昭和大学藤が丘病院
日本食道学会全国登録認定施設	亀田総合病院
日本胆道学会認定指導医制度指導施設	昭和大学横浜市北部病院
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	神戸労災病院
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設	関東労災病院
日本神経学会教育施設	彩の国東大宮メディカルセンター
日本脳卒中学会認定研修教育病院	がん研有明病院
日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設	静岡赤十字病院
日本リウマチ学会教育施設	河北総合病院
日本腎臓学会研修施設	JA福島厚生連 白河厚生総合病院
日本透析医学会認定施設	東京女子医科大学八千代医療センター
日本高血圧学会認定施設	徳島赤十字病院
日本アフェリシス学会施設	獨協医科大学埼玉医療センター
日本がん治療認定医機構認定研修施設	長野赤十字病院
日本肝臓学会認定施設など	ひたちなか総合病院

主な専門研修連携施設	
基幹病院：昭和大学江東豊洲病院	洛和会音羽病院
連携施設：大分大学医学部附属病院	独立行政法人国立病院機構静岡医療センター
昭和大学病院	公益財団法人湯浅報恩会寿泉堂総合病院
昭和大学藤が丘病院	順天堂大学医学部附属浦安病院
昭和大学横浜市北部病院	医療法人社団誠馨会新東京病院
神戸労災病院	東京ベイ・浦安市川医療センター
関東労災病院	医療法人崇徳会長岡西病院
彩の国東大宮メディカルセンター	兵庫県立淡路医療センター
がん研有明病院	日鋼記念病院
静岡赤十字病院	岩手医科大学附属病院
河北総合病院	鶴岡市立庄内病院
JA福島厚生連 白河厚生総合病院	大宮中央総合病院
東京女子医科大学八千代医療センター	浜野長嶋病院
徳島赤十字病院	医療法人青仁会 池田病院
獨協医科大学埼玉医療センター	秋田赤十字病院
長野赤十字病院	自治医大附属さいたま医療センター
ひたちなか総合病院	島根大学医学部附属病院
弘前大学医学部附属病院	
福島県立医科大学附属病院	
JA長野厚生連 南長野医療センター篠ノ井総合病院	
小山記念病院	
飯塚病院	



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
内科基本コース	臨床研修		基幹病院・各科3カ月毎研修 連携病院2-3カ月毎研修		希望科入局		

病歴提出・
 内科専門医取得 → サブスペシャルティ
 専門医コース

 大学院コース 4年

各コースの詳細

- 内科専攻医は2年間の臨床研修後に設けられた専門研修（専攻医研修）3年間の研修で育成されます。
- 専門研修の3年間は、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度・資質と日本内科学会が定める「内科専門研修カリキュラム」にもとづいて内科専門医に求められる知識・技能の修得目標を設定し、基本科目修了の終わりに達成度を評価します。具体的な評価方法は後の項目で示します。

3 臨床現場での学習：日本内科学会では内科領域を70疾患群（経験すべき病態等を含む）に分類し、代表的なものについては病歴要約や症例報告として記載することを定めています。日本内科学会専攻医登録評価システムへの登録と指導医の評価と承認によって目標達成までの段階をup to dateに明示することとします。各年次の到達目標は以下の基準を目安とします。

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
サブスペシャルティ 重点コース1年型	臨床研修		基幹病院・各科2カ月毎研修 (サブスペシャルティ開始時4カ月、後半8カ月) 連携病院・2カ月毎研修		希望科入局		

病歴提出・
 内科専門医取得 → サブスペシャルティ
 専門医コース

 大学院コース 4年

○専門研修1年

- 症例：カリキュラムに定める70疾患群のうち、20疾患群以上を経験し、J-OSLERに60例登録することを目標とします。
- 技能：疾患の診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医とともに行うことができるようになります。
- 態度：専攻医自身の自己評価、指導医とメディカルスタッフによる360度評価とを複数回行って態度の評価を行い担当指導医がフィードバックを行います。

○専門研修3年

- 疾患：主担当医として、カリキュラムに定める全70疾患群、計200症例の経験を目標とします。但し、修了要件はカリキュラムに定める56疾患群、そして160症例以上（外来症例は1割まで含むことができる）とします。この経験症例内容を専攻医登録評価システムへ登録します。既に登録を終えた病歴要約は、日本内科学会病歴要約評価ボード（J-OSLER）による査読を受けます。
- 技能：内科領域全般について、診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を自立して行うことができるようになります。

○専門研修2年

- 疾患：カリキュラムに定める70疾患群のうち、通算で45疾患群以上を（できるだけ均等に）経験し、J-OSLERに120例症例登録し、病歴要約29例を登録することを目標とします。
- 技能：疾患の診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医の監督下で行うことができるようになります。
- 態度：専攻医自身の自己評価、指導医とメディカルスタッフによる360度評価を複数回行って態度の評価を行います。専門研修1年次に行った評価についての省察と改善とが図られたか否かを指導医がフィードバックします。

- 態度：専攻医自身の自己評価、指導医とメディカルスタッフによる360度評価を複数回行って態度の評価を行います。専門研修2年次に行なった評価についての省察と改善とが図られたか否かを指導医がフィードバックします。また、基本領域専門医としてふさわしい態度、プロフェッショナリズム、自己学習能力を修得しているか否かを指導医が専攻医と面談し、さらなる改善を図ります。サブスペシャルティ専門医コースは各専門医機構によって開始時期は異なりますが、内科専攻医研修と同時に研修可能です。例えば消化器病専門医研修では内科専攻医開始1年経過時に登録可能で、J-OSLER-Gを用いた症例の登録を並行して行なっていきます。連携病院の研修先として東京・神奈川以外の医療圏の病院を6カ月単位で計1年間研修をします。その間、一般内科研修とサブスペシャルティ研修のどちらを選択することも可能です。

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
サブスペシャルティ 重点コース2年型	臨床研修		基幹病院・各科1-2カ月毎研修 (サブスペシャルティ開始時6カ月、後半12カ月) 連携病院・2カ月毎研修 (サブスペシャルティ6カ月)		希望科入局		

病歴提出・
 内科専門医取得 → サブスペシャルティ
 専門医コース

 大学院コース 4年

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
サブスペシャルティ 重点コース複合型	臨床研修		基幹病院・各科3カ月毎研修 (サブスペシャルティ開始時6カ月、後半12カ月) 連携病院・2-3カ月毎研修 (サブスペシャルティ6カ月)		希望科入局		

病歴提出・
 内科専門医取得 → サブスペシャルティ
 専門医コース

 大学院コース 4年



プログラムの魅力

専攻医の1週間（大学病院の例）

	月	火	水	木	金	土	日
7:45～8:30		教授回診		症例検討会			
8:30～9:00	病棟回診	医局会	病棟回診	病棟回診	病棟回診		
午前	外来	腹部超音波検査	外来	上部消化管内視鏡検査		救急外来（月1回程度・当番制）	救急外来（月1回程度・当番制）
午後	腹部血管造影	ERCP	下部消化管内視鏡検査	救急外来	肝生検・ラジオ波焼灼療法		
夕方	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診		
		症例検討会					
上部消化管疾患 カンファレンス	下部消化管疾患 カンファレンス			肝胆脾疾患 カンファレンス			
	消化器疾患合同 カンファレンス（月1回）						

昭和大学江東豊洲病院は循環器センター、消化器センター、脳血管センター、救急センターおよび内科系診療センターを有する総合病院であり、連携施設として循環器、消化器、神経疾患および呼吸器疾患をはじめとする内科系疾患全般にわたっての診断と治療の基礎から、より専門的医療を研修できます。また専門医療のみではなく、主担当医として、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医をめざせるように教育に力をいれています。また内科専攻医研修とサブスペシャルティ専門医研修を行っています。



内科系診療センター

例えば消化器病専門医に必要な症例登録は内科学会のJ-OSLERと同じシステムを用いたJ-OSLER-Gを用いて症例登録を行います。この症例登録は内科専攻医研修1年経過した時点で登録可能で、内科専攻医研修と並行して行うことができます。また各科に多くの内科指導医があり、マンツーマン指導で症例の選択、J-OSLER登録指導、病歴要約の添削、また3年間で2回必要な学会・論文発表の指導を行います。内科専攻医1期生は6人全員が内科専門医に合格しました。2019年と2020年採用の2、3期生も全員が研修終了しています。



脳神経センター



循環器センター



消化器センター

専攻医からのメッセージ



2023年度専攻医
(消化器内科)

佐藤 友哉

出身大学
埼玉医科大学
臨床研修病院
板橋中央総合病院

当院の消化器センターは内科・外科合同の医局であり、垣根がなくさまざまな面から意見交換や消化器疾患を学ぶことができる点が魅力です。毎年5名前後の専攻医が入局しており、若手の活動も活発でさまざまな出身大学・初期研修先から人が集まっていることも私が入局する理由の一つでした。また大学病院のため、内科プログラムとしても症例が充実しており、症例経験に困ることはあります。ぜひ皆様の見学、入局をお待ちしております。



2023年度専攻医
(消化器内科)

三宅 隆裕

出身大学
東京慈恵会医科大学
臨床研修病院
東京慈恵会医科大学
葛飾医療センター

大学病院ならではの専門疾患、地域に根差したcommon diseaseどちらも満遍なく診療することができ、内視鏡含む手技について多くの指導医の先生方に教わりながら経験することができます。内科ローテートも自分に必要な科を必要な期間回ることができます。J-OSLERでも困ることはあります。近い学年の入局者も多く、雰囲気のよさも魅力です。ぜひ病院見学にいらしてください。



2023年度専攻医
(消化器内科)

尾崎 美優

出身大学
大分大学医学部
臨床研修病院
大阪公立病院

気が付けば、昭和大学江東豊洲病院に入局を決めていました。専攻医1年目から積極的に内視鏡検査に取り組み、早期から手技に恵まれた環境であることを肌で感じています。カンファレンスでも気兼ねなく自分の疑問を質問でき、非常に充実した日々を送っています。立地や給与体系などは申し分なく、総合的に働きやすい医局であると感じます。まずは見学にいつでもお越しください。そして皆さんと働けることを心から楽しみにしています。



2023年度専攻医
(消化器内科)

山口 優昌

出身大学
埼玉医科大学
臨床研修病院
東京慈恵会
医科大学附属病院

当院消化器センターの魅力は、内科と外科が同じ医局に所属しており、垣根がなく、いつでも気軽に相談できる点にあります。大学病院であるため、多様な症例が集まり、日常的に遭遇する一般的な症例から、稀な症例まで幅広く経験することができます。また、上級医の先生が多く在籍しており、日々の診療から内視鏡検査まで丁寧に指導を受けることができるため、充実した研修生活を送ることができます。ぜひ一度、見学にお越しください。



2023年度専攻医
(循環器内科)

浅川 将輝

出身大学
札幌医科大学
臨床研修病院
東京女子医科大学
足立医療センター

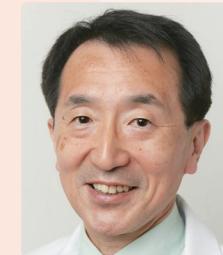
循環器内科専攻医の浅川と申します。都内の病院で症例数の多い病院を探していたところ、ご縁があり当院に採用をいただきました。大学病院で診療科が多数揃っており、病床数も400床あり、内科専門医に必要な症例は集めやすいかと思います。地域研修は当科の場合は主に山梨県・茨城県から選択して1年間研修します。近隣の医療機関に多数外勤に行くことで、顔の見える関係性を作っております。そのため近隣からの紹介患者が多く見れます。もちろん救急搬送による症例も多数経験できます。また当科は優しいスタッフが多く、人間関係のストレスは比較的小ないと思います。スタッフが少ないため、手技・症例が経験しやすいです。PCIは年間300件程度ありますが、カテーテルスタッフは3人で専攻医が私しかいないため、大学病院でながら早い段階から手技を研鑽させて頂いています。その他の手技件数もHPに記載しております。場所が豊洲のためプライベートの充実も図りやすいです。大学病院ですが給料も比較的良いです。ぜひ当科に応募していただき、一緒に楽しく働きましょう。

小児科

昭和医科大学小児科専門研修医(専攻医)プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 三川 武志 TEL 03-3784-8565 FAX 03-3784-8362 E-mail ped.showa@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
小児科
教授 水野 克己

プログラム概要

■本プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成すること」を目的とし、一定の専門領域に偏ることなく、

幅広く研修します。専攻医は「小児科医は子どもの総合医である」という基本的姿勢に基づいて3年間の研修を行い、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」

「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医となることを目指します。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数		専門研修指導医数	各種学会施設認定	主な専門研修連携施設
日本小児科学会専門医	35名	日本アレルギー学会専門医	3名	昭和大学藤が丘病院
日本小児神経学会専門医	1名	日本内分泌学会内分泌代謝専門医	2名	亀田総合病院
日本てんかん学会	1名	日本糖尿病学会専門医	1名	昭和大学横浜市北部病院
日本小児循環器学会専門医	5名	日本肥満学会肥満症専門医	1名	埼玉県小児医療センター
日本周産期新生児学会(新生児)専門医	4名	日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医	1名	昭和大学江東豊洲病院
				千葉県こども病院
				東京都保健医療公社荏原病院
				岩手医科大学附属病院
				総合高津中央病院



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
小児科研修プログラム	臨床研修	昭和大学附属4病院、地域連携施設	昭和大学附属4病院、地域連携施設					サブスペシャルティ領域などの専門医コース

1. 小児科専門医は臨床研修修了後、3年(以上)の専門研修で育成されます。

- ・3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で研修を行います（循環器センター：2カ月必須含む）。初年度は基幹施設（昭和大学病院）もしくは、連携施設（藤が丘病院、横浜市北部病院、江東豊洲病院）を1～2カ所、小児科の基本診療能力を取得できるよう研修します。2年目、3年目は、初年度に研修していない昭和大学附属病院、および地域型連携施設1カ所（東京都保健医療公社荏原病院、総合高津中央病院、亀田総合病院、千葉県こども病院、岩手医科大学附属病院）を優先に研修病院の中でローテーションすることにより、専門医取得のための技能の習得および症例を経験します。
- ・専門研修の3年間には、日本小児科学会が定める基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と小児科専門研

修プログラム整備基準にもとづいた小児科専門医に求められる知識・技術の習得目標を、専攻年度ごとに設定し、年度ごとに達成度を評価していきます。そのなかで、基本から応用と専門医としての実力をつけていくように配慮します。

・基本領域の専門医資格取得から、サブスペシャルティ領域の専門研修へと連続的な研修が可能となるように配慮します。サブスペシャルティ領域の専門医資格取得の希望がある場合、3年間の専門研修プログラムの変更はできませんが、可能な範囲で専攻医が希望するサブスペシャルティ領域の疾患を経験できるよう、当該サブスペシャルティ領域の指導医と相談しながら研修計画を立案します。

2. 大学院進学に関して:専門研修期間中、小児科学の大学院進学は可能です。

初年度は、研修を行いながら、研究内容の決定および必須授業を受講するようにスケジュールします。研究に関しては、専門研修に支障が出ないように、プログラム・研修施設について事前相談します。研究内容が小児科臨床に

従事しながら研究を進めるのであれば、その期間は専門研修として扱われます。また、研究の内容により一定期間研修を中断する必要がある場合には、研修期間の延長が必要になります。



プログラムの魅力

専攻医の1週間（大学病院の例）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30 朝カンファレンス（申し送り）・チーム回診							
8:30～12:00	病棟	病棟	回診	出張	病棟	病棟	
12:00～13:00			カンファレンス		カンファレンス		
13:00～17:00	病棟	回診	病棟	出張	病棟		
当直（週1回）						週末日当直	

昭和大学では、昭和大学病院小児医療センター、小児循環器センター、周産期センター（東京都品川区）、昭和大学江東豊洲病院こどもセンター（東京都江東区）、昭和大学藤が丘病院小児科（横浜市青葉区）、昭和大学横浜市北部病院こどもセンター（横浜市都筑区）の4病院の特徴のある専門診療機能を持たせることで小児医療全般を網羅できるようになっています。専門医取得後には、それぞれサブスペ

シャルティの専門医を目指し、研修を行っていきます。昭和大学のみで研修不十分な分野では、専門病院での研修を行ってもらいます。（実績：成育医療センター、都立小児総合医療センター、埼玉県立こども病院、千葉県こども病院など）また、海外への留学も推奨しています。（実績：NIH、トロント小児病院、ロサンゼルス小児病院、西オーストラリア大学、インペリアルカレッジロンドンなど）

専攻医からのメッセージ



2024年度専攻医

吉野 日奈子

出身大学
北里大学
臨床研修病院
昭和大学病院

昭和大学病院小児科専攻プログラムでは、昭和大学病院と3つの連携病院をローテーションして研修を行うため、一般症例から専門性が高い症例まで幅広く経験することができます。さまざまなサブスペシャルティを持つ専門医の先生方にご指導いただくことで、各分野の基礎から最新の知識まで学ぶことができる点も魅力の一つです。
どの病院の先生方も優しく、温かい雰囲気をもった医局ですので、ぜひ一度見学にいらしてください。お待ちしております。

小児科

昭和医科大学横浜市北部病院 小児科専攻医研修プログラム

問い合わせ先 | 担当者 神谷 太郎 TEL 03-3784-8565 FAX 03-3784-8362
E-mail ped.showa @med.showa-u.ac.jp

研修期間

3年

基幹施設

昭和医科大学横浜市北部病院



統括責任者

医科大学横浜市北部病院
こどもセンター小児科

教授 池田 裕一

神奈川県で成長し続けたい小児科医あつまれ!

本コースは、以下のような人にとって魅力的な研修プログラムを提供いたします。

- a 神奈川県の小児医療に貢献したい
- b 小児科の基本的な症例を、1人で自信をもって診療できるようになりたい
- c 専門的な症例を経験したい

d 大学院進学など研究を経験したい

- e ワークライフバランスが整った環境で学びたい
- f やりたいことがいっぱいあるから、将来を相談できる人がほしい
- g 自分のペースで学びを深めたい



専門医、指導医、施設認定、関連施設



各種学会認定専門医数

日本小児科学会専門医	17名
日本小児科学会指導医	6名
日本腎臓病学会腎臓専門医	6名
日本腎臓病学会腎臓指導医	4名
日本周産期新生児学会専門医	2名

日本周産期新生児学会指導医	1名
日本救急医学会救急科専門医	1名
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医	1名
日本アレルギー学会専門医	1名

日本外科学会指導医	3名
日本周産期・新生児医学会認定外科医	2名
日本小児栄養消化器肝臓学会認定医	2名
日本小児栄養消化器肝臓学会認定医	1名

専門研修指導医数

11名

各種学会施設認定

日本小児科学会
日本腎臓病学会
日本アレルギー学会
日本小児外科学会
日本周産期新生児医学会

主な専門研修連携施設

昭和大学藤が丘病院
昭和大学病院
昭和大学江東豊洲病院
総合高津中央病院
埼玉県小児医療センター



専攻医育成コースの概略

医学部 卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
小児科研修 プログラム	臨床研修	昭和大学横浜市北部病院 昭和大学藤が丘病院	昭和大学病院 地域型連携施設		スペシャルティ領域などの専門医コース			

1. 小児科専門医は臨床研修修了後、3年(以上)の専門研修で育成されます。

- ・専門研修の3年間は、基幹施設または連携施設で研修を行います。初年度および2年目は基幹施設（昭和大学横浜市北部病院）もしくは連携施設（藤が丘病院）で小児科の基本診療能力を習得します。
3年目は、昭和大学病院（循環器センター：2カ月必須）および地域型連携施設1カ所（総合高津中央病院・埼玉県立小児医療センター）をローテーションすることで、専門医取得に必要な技能と症例経験を積みます。
- ・専門研修の3年間には、日本小児科学会が定める基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と小児科専門研修プログラム整備基準に基づいた知識と技術の習得目標を、

年度ごとに設定し、その達成度を評価します。その中で、基本から応用までの実力を身につけるよう配慮します。

・基本領域の専門医資格取得から、サブスペシャルティ領域の専門研修への連続的な研修が可能となるように配慮します。サブスペシャルティ領域の専門医資格取得を希望する場合、3年間の専門研修プログラムの変更是できませんが、専攻医の希望に応じたサブスペシャルティ領域の疾患を経験できるよう、当該サブスペシャルティ領域の指導医と相談しながら研修計画を立案します。

2. 大学院進学について

専門研修期間中、小児科学の大学院進学は可能です。初年度は、研修を行なながら、研究内容の決定および必須授業を受講するようにスケジュールします。研究に関しては、専門研修に支障が出ないように、プログラム・研修施設について事前相談します。

小児分野の研究を進める場合は、その期間は専門研修として扱われます。しかし、研究内容により一定期間研修を中断の必要がある場合は、研修期間の延長が必要になります。

昭和大学横浜市北部病院 こどもセンターの特徴

当院は常に最善の小児医療を提供することを心がけています。そのため、小児内科、新生児科、小児外科が連携して診療に当たっています。このプログラム研修では小児内科のみならず、小児全般の幅広い疾患を経験することができます。

神奈川県は各地域をブロックに分けており、その中で当院は横浜市北部地域を主に担当するブロックとして日々診療に当たっています。さらに、小児救急拠点病院および地域周産期施設として地域医療に貢献しています。



プログラムの魅力

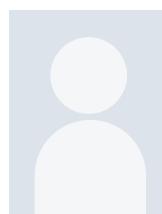
専攻医の1週間（小児内科）

	月	火	水	木	金	土	日
8:30～9:00	カンファレンス						
午前	回診	病棟	病棟	出張	病棟	病棟	
午後	救急当番	健診	病棟	出張	救急当番		
当直（週1回）							週末日当直

専攻医の1週間（新生児科）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	朝カンファレンス（全入院患者の申し送り）						
午前	病棟／新生児回診	教授回診	病棟／新生児回診	出張	病棟／新生児回診	病棟	
13:00～14:00	領域勉強会	申し送り	オンライン回診		カンファレンス		
14:00～18:00	救急当番	病棟	病棟	出張	周産期 カンファレンス	フリー	
18:00～18:30	夜カンファレンス（夜勤者への申し送り）						

専攻医からのメッセージ



2022年度専攻医

伊藤 愛

出身大学
愛知医科大学
臨床研修病院
川崎市立多摩病院

昭和大学横浜市北部病院小児科プログラムは、研修期間の半分近くを昭和大学横浜市北部病院で研修するプログラムです。教育熱心な先生方が多く、丁寧に指導していただけるので毎日とても勉強になります。
また、女性医師にとって働きやすい環境もあると思います。私は専攻医2年目で出産し、1年弱育休を取得しました。復帰後はできる範囲で仕事をさせてもらっています。
興味のある方はぜひ一度、見学にいらしてください！

診療実績

小児内科入院数:1,684名／小児外科手術件数:217件（新生児7件）

新生児科入院数:299名

救急患者数:3,517名／救急車受け入れ台数:1,921件

皮膚科

昭和医科大学医学部皮膚科研修プログラム

研修期間 5年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 小林 香映（医局長） TEL 03-3784-8556 FAX 03-3784-8364 E-mail kae0412@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
皮膚科
教授 猪又 直子

皮膚科専門医として信頼され安全で標準的な医療を国民に提供できる充分な知識と技術を獲得できることを目標とする。

① 昭和大学病院では医学一般の基本的知識技術を習得後、難治性疾患、稀な疾患などより専門性の高い疾患の診断・治療の研修を行う。さらに医師としての診療能力に加え、教育・研究などの総合力を培い、少なくとも1年間の研修を行う。

② 昭和大学藤が丘病院皮膚科、昭和大学横浜市北部病院皮膚科、昭和大学江東豊洲病院皮膚科では、急性期疾患、頻繁に関わる疾病に適切に対応できる総合的な診療能力を培い、地域医療の実践、病診連携を習得し、昭和大学病院の研修を補完する。

虎の門病院では、主に皮膚悪性腫瘍に対する手術療法、化学療法、終末期医療、各種レーザー治療を習得する。これらの連携研修施設のいずれかで、少なくとも1年間の研修を行う。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数	専門研修指導医数	各種学会施設認定	主な専門研修連携施設
日本皮膚科学会認定専門医 8名	7名	日本皮膚科学会	昭和大学藤が丘病院 昭和大学横浜市北部病院 虎の門病院 昭和大学江東豊洲病院、 埼玉医科大学国際医療センター 山梨赤十字病院



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年	2年	コース	3年	4年	5年	6年	7年
皮膚科 研修プログラム	臨床研修	a	基幹	基幹	連携	連携	基幹	
		b	基幹	基幹	連携	連携	連携	
		c	基幹	連携	基幹	基幹	基幹	
		d	基幹	連携	連携	準連携	基幹	

各コースの詳細

- a : 研修基幹施設を中心に研修する基本的なコース。最終年次に大学で後輩の指導を行うことにより自らの不足している部分を発見し補う。連携施設は原則として1年ごとで異動するが、諸事情により2年間同一施設もあり得る。
 - b : ただちに皮膚科専門医として活躍できるように連携施設にて臨床医としての研修に重点をおいたコース。
 - c : 研修連携施設から研修を開始するコース。
 - d : 研修4年目に一人医長として短期間研修準備連携施設で研修し、地域医療の経験を積み、翌年大学にて研修するコース。
- ・5年間のうち最大3カ月間、救命救急科または救急診療科で研修を行う。
 - ・大学院進学や他科での研修については、皮膚科学会のホームページで最新のカリキュラムをご参照いただく。
 - ・2021年から地域貢献期間が地域枠のみで満たされない場合は、限定枠で採用された先生の期間からも地域（連携施設や準連携施設）への出向を行うよう専門医機構から通達あり。期間はその年によって変動する。



プログラムの魅力

専攻医の1週間（昭和大学病院の例）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	初再診、Bescheiber、病棟・処置	初再診、Bescheiber、病棟・処置	初再診、Bescheiber、病棟・処置 手術（OPE室）	初再診、Bescheiber、病棟・処置	初再診、Bescheiber、病棟・処置	初再診、Bescheiber、病棟・処置	
	手術 (外来・OPE室)	外来、手術、処置	教授回診	外来、手術、処置	手術 (外来・OPE室)	外来	
午後	病棟班会議		症例検討会 (2、4週)		組織検討会 (毎週)		
			城南地区臨床病理 検討会 月1回				

当講座は1928年（昭和3年）に開講し現在に至ります。

昭和大学病院を中心に、3つの附属病院（藤が丘病院、横浜市北部病院、江東豊洲病院）より構成された、統一医局です。

当教室は利便性の高い東京都品川区に位置し、患者さんに良質な医療を提供するとともに、十分な研修環境を用意し、高い臨床能力のある皮膚科専門医の育成を目指しています。

関連病院は首都圏（特に東京都・神奈川県）に集中しています。結婚・出産など女性医師のライフスタイルの変化にも柔軟に対応し、継続して研修を行える環境を整えています。

現医局員の出身大学は21大学と全国から集まっています。常勤医の男女比は男性21名・女性20名です（計41名）（令和6年4月現在）。男女・出身大学を問わず、熱意ある若き先生方に広く門戸を開いた活気ある明るい医局です。

専攻医からのメッセージ



2021年度専攻医

辛 和樹

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
東京都立荏原病院

私が専門研修病院として当院の皮膚科を選んだ理由は、①症例が集まりやすいこと、②女性が働きやすい環境、③科の雰囲気が良いこと、などが挙げられます。大学病院は緊急を要する疾患から専門性の高い疾患まで幅広く症例が集まりやすく、またそれらに対応のできる医師が集まっています。皮膚科専門医を取得するには学会での症例発表が少なくとも8つ以上必要であり、その点からも症例数が集まりやすいことや指導医が多いことは、大学病院での研修の利点と考えます。また当科はさまざまな出身大学の医師が在籍していますが、和気あいあいしており協力しながら仕事に取り組みやすい雰囲気となっています。子育てをしている医師は時短で働くなど、育児面を踏まえて働きやすい環境です。実際に見学に来ていただければ、さらに詳しくお話しでき、働く環境を知ることができます。皮膚科医を目指す皆さんと一緒に働くことを心待ちにしています。



2024年度専攻医

萩原 愛理奈

出身大学
愛媛大学
臨床研修病院
昭和大学病院

当院の皮膚科はさまざまな出身大学の先生が、和気あいあいと働く暖かい雰囲気の医局です。症例数や種類も豊富で、多くの経験を得ることができます。連携施設での研修では、皮膚外科やレーザー治療についても学ぶことができるのも特徴です。また、産休・育休を経て働く人もおり、各自のキャリアプランに応じた働き方ができます。皮膚科専攻医を目指す方は、ぜひ一度見学にいらしてください。

精神科

昭和医科大学連携施設精神科専門医研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学附属烏山病院

問い合わせ先 担当者 新村 一樹 TEL 03-3300-5231 FAX 03-3308-1710 E-mail neuropsy@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学附属烏山病院
精神科

教授 真田 建史

現代医療の最前線で活躍する精神科専門医を目指して

■本プログラムの特徴は、神奈川県横浜市と共同運営する大学附属総合病院と、東京都23区内にある唯一の大学附属単科精神病院の双方で研修できることです。長年受け継がれてきた良質な研修システムは、毎年10名近い若手医師の入局、精神保健

指定医や専門医の取得しやすさにも表れています。昭和大学医学部精医学講座の施設として、教育・研究体制も充実しており、有用かつ人権への配慮がなされた治療技術、また精神保健福祉法の適切な運用の理解を深められます。烏山病院には発達障害

医療研究所や臨床薬理研究所もあり、臨床のみでなく各研究分野にも精通できる精神科医師の育成を目指しています。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数	各種学会施設認定	主な専門研修連携施設
精神神経学会専門医 17名	日本精神神経学会	昭和大学病院附属東病院 江戸川病院 三枚橋病院 土浦厚生病院 針生ヶ丘病院 昭和大学横浜市北部病院 大内病院 山容病院 鶴が丘ガーデンホスピタル 日立梅ヶ丘病院 昭和大学江東豊洲病院 川口病院 成仁病院 東京海道病院 大和病院 都立松沢病院 群馬病院 聖マリア記念病院 戸田病院 飛鳥病院 県南病院 田崎病院 ハートフル川崎病院 有田病院 埼玉森林病院 田宮病院 平川病院 嬉野が丘サマリヤ人病院 相模台病院 田村病院 芙蓉会病院
専門研修指導医数		
精神神経学会専門指導医 11名		



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
精神科専門医プログラム	臨床研修	昭和大学附属烏山病院	連携施設	昭和大学横浜市北部病院	昭和大学附属関連病院、連携施設病院、医局関連病院		

大学院

1. 臨床研修を修了後、3年間で精神科専門医を目指す研修コースです。(推奨標準コースを提示)

2. 研修施設の特徴は以下のとおりです。

- ・1年目の烏山病院は大学附属単科精神病院（全国では2施設のみ、都内に唯一）であり、精神科研修を開始するには最適な施設です。精神医学講座が設置され、臨床だけでなく研究、教育施設でもあります。
 - ・2年目は地域精神医療実習として、関東近県にある連携施設で、大学病院では学べないような精神科スキルを研
- 修します。
- ・3年目の横浜市北部病院は大学総合病院であり、その中の精神科病棟（精神科救急病棟と認知症病棟）で研修を行います。身体科との連携が必要となるため、緩和ケアやリエゾンコンサルテーション活動も経験が可能です。

3. 4年目以降の進路について

- ・3年間の研修修了後については、進路相談を事前に行い、希望に沿えるよう支援します。
- ・例として、大学附属病院、連携施設病院、医局関連病院、大学院進学など、幅広く対応します。



プログラムの魅力

専攻医の1週間（昭和大学病院の例）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	病棟・外来			病棟・外来			
午後	教授回診	病棟・外来	週休(外勤)	抄読会・症例検討会	病棟・外来	病棟・外来	休日
	病棟						
	医局会			病棟			

専攻医からのメッセージ



2023年度専攻医

田中 涼

出身大学
東京医科大学
臨床研修病院
聖隸横浜病院

自分は学生のころから興味を持っていた精神科を専攻することを初期臨床研修1年目の末に決めて、精神科医局の見学を進めました。その中で昭和大学は、大学病院でありながら単科病院の烏山病院でスタートできること、カラッとした先生が多い医局の雰囲気に魅力を感じて入局を決めました。当初は一からスタートの精神科分野に不安を感じていましたが、いつでもどこでも相談できる先生がいることに安心して診療に従事することができました。また、単科病院ならではの幅広い数多くの症例を持たせていただき、初年度から臨床経験に恵まれたと感じています。学会発表や論文作成の指導にも精力的で、日々の業務も決まった時間でカチッと集中して行うスタイルで過ごすことができ、1年間楽しく研修することができました。少しでも興味のある方はお気軽に見学に来ていただければ幸いです。

昭和大学医学部精神医学講座は、毎年10名近い専攻医が入局しており、精神科専門医を目指す研修機関としては人気があります。その理由は、医局の雰囲気が良い、指導体制が充実している、研修症例が豊富である、研究活動も盛んである、などが挙げられます。併設する発達障害医療研究所や臨床薬理研究所と関わることが可能で、ほかのプログラムでは経験できない環境が整っています。研修修了後、米国、欧州など海外留学もサポートしています。ホームページに「医局員の声」や「海外留学中の医局員のブログ」などが掲載しておりますのでご覧ください。ほかの研修施設と比較するために一度、烏山病院もしくは横浜市北部病院を見学されることをお勧めします。生物学的あるいは心理社会的な精神医学に興味のある先生たちからの応募をお待ちしております。

繰り返しになりますが、最後に昭和大学精神科で研修を行う利点について、述べておきます。第一に、

研修病院の中には3つのスーパー救急病棟があり、措置症例を含む重症の精神疾患を経験できること。これはほかの大学病院にはない特色です。第二に近年精神医学のトピックスとなっている成人期の発達障害（ASD、ADHDなど）について学べること。今後発達障害は精神科の診療の大きな軸となると考えられ、烏山病院における発達障害の専門外来やデイケアにおける研修の重要性は高いと考えられます。これらに加えて、司法精神医療、緩和医療、依存など社会性を持つテーマについても学ぶことができるのか、本プログラムの大きな特色となっています。

医学博士号取得の支援

当講座では医学博士号を取得する支援をしており、こちらも人気のキャリア形成です。進路選択の幅を広げたいという先生は、ご相談ください。



精神科

昭和医科大学横浜市北部病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

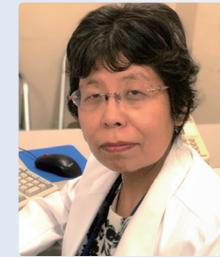
問い合わせ先 | 担当者 TEL 03-3300-5231 FAX 03-3308-1710

研修期間

3年

基幹施設

昭和医科大学横浜市北部病院



統括責任者

昭和医科大学横浜市北部病院
メンタルケアセンター

教授 稲本 淳子

現代医療の最前線で活躍する精神科専門医を目指して

■本プログラムの特徴は、神奈川県横浜市と共同運営する大学附属総合病院と、東京都23区内にある唯一の大学附属単科精神病院の双方で研修できることです。長年受け継がれてきた良質な研修システムは、毎年10名近い若手医師の入局、精神保健

指定医や専門医の取得しやすさにも表れています。昭和大学医学部精医学講座の施設として、教育・研究体制も充実しており、有用かつ人権への配慮がなされた治療技術、また精神保健福祉法の適切な運用の理解を深められます。烏山病院には発達障害

医療研究所や臨床薬理研究所もあり、臨床のみでなく各研究分野にも精通できる精神科医師の育成を目指しています。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

精神神経学会専門医	8名
老年精神医学会専門医	1名
一般病院連携精神医学専門医	2名
臨床精神神経薬理学専門医	1名

専門研修指導医数

精神神経学会専門医制度指導医	7名
老年精神医学会専門医指導医	1名
一般病院連携精神医学指導医	2名
臨床精神神経薬理学指導医	1名
日本精神科救急学会認定医制度指導医	3名

各種学会施設認定

日本精神神経学会
日本老年精神医学会
日本総合病院精神医学会
(専門医研修施設 ECT 研修施設)

主な専門研修連携施設

昭和大学病院附属東病院	田村病院	山容病院	陽和病院
昭和大学附属烏山病院	飛鳥病院	土浦厚生病院	聖マリア記念病院
昭和大学江東豊洲病院	鶴が丘ガーデンホスピタル	田崎病院	成仁病院
(専門医研修施設 ECT 研修施設)	都立松沢病院	埼玉森林病院	相模台病院
日本精神科救急学会	有田病院	東京海道病院	ハートフル川崎病院
	江戸川病院	県南病院	大和病院
	大内病院	三枚橋病院	平川病院
	川口病院	ふれあい沼津ホスピタル	芙蓉会病院
	戸田病院	田宮病院	日立梅ヶ丘病院



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
精神科専門医プログラム	臨床研修	昭和大学横浜市北部病院	昭和大学附属烏山病院	連携施設	昭和大学附属関連病院連携施設病院	医局関連病院	

大学院

1. 臨床研修を修了後、3年間で精神科専門医を目指す研修コースです。

- 3年間の専門研修期間中、1年目は昭和大学横浜市北部病院、2年目は昭和大学附属烏山病院、3年目は連携施設にて研修を行います。
- 専門研修の3年間で、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と精神科専門研

修プログラム整備基準にもとづいた精神科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。最終目標は、精神科専門医と精神保健指定医の取得になります。

2. 研修施設の特徴は以下のとおりです。

- ・1年目の昭和大学横浜市北部病院は大学総合病院であり、その中の精神科病棟（精神科救急病棟と高齢者病棟）で研修を行います。また、総合病院のチーム医療の一員として、救急センターの日勤や三次救急対応総合病院である昭和大学藤が丘病院でのリエゾン、オンライン診療も担当します。最新の医療現場において、精神科医に求められる役割について経験し、各診療科と連携して、

COVID-19対策、緩和ケアやリエゾンコンサルテーション、周産期メンタルヘルスケアの活動も経験が可能です。多くの臨床経験をもとに、研究・調査の基本手技を学び、精神科専門医研修の必須事項である1回以上の学会発表を実践します。

- ・2年目の烏山病院は大学附属単科精神病院（全国では2施設のみ、都内に唯一）であり、精神科の専門性を深め

るための研修には最適な施設です。精神医学講座が設置され、臨床だけでなく研究、教育施設もあります。

- ・3年目は地域精神医療実習として、精神科診療を行っている連携施設で、大学病院では学べないような精神科スキルを研修します。

3. 4年目以降の進路について

- ・3年間の研修修了後については、進路相談を事前に行い、希望に沿えるよう支援していく予定です。
- ・例として、大学附属病院、連携施設病院、医局関連病院、大学院進学など、幅広く対応します。
- ・3年目に配属された連携施設は希望があれば継続も可能ですが、4年目以降に強制的に配属となることはありません。



プログラムの魅力

横浜市北部病院メンタルケアセンターは昭和大学医学部精神医学講座内の一医局になります。講座全体で毎年10名を超す専攻医が入局しており、精神科専門医を目指す研修機関としては人気があります。その理由は、医局の雰囲気が明るい、指導体制が充実している、大学内に3つのスーパー救急病棟を擁し豊富に臨床経験を積める、烏山病院に併設する発達障害研究所や臨床薬理研究所など専門施設が充実し研究活動も盛んであること、などが

挙げられます。専攻医研修においてさまざまな精神科医療に触れた経験を活かし、研修中からも臨床研究に積極的に取り組めるように指導します。研修終了後は大学院への進学を推奨しています。一度、烏山病院や横浜市北部病院を見学されることをお勧めします。生物学的、心理社会的、全人的医療の視点をもって、これから的精神医学に取り組みたいと考えている先生方からの応募をお待ちしております

専攻医の1週間（昭和大学病院の例）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	病棟回診・連絡会	病棟回診・連絡会	病棟回診・連絡会	病棟回診・連絡会	病棟回診・連絡会	病棟回診・連絡会	週休日 (交代制勤務) ●日当直 ●救急センター日勤 ●藤が丘病院オンコール
	教授回診 診療（外来・入院・リエゾン）	診療（外来・入院・リエゾン）	診療（外来・入院・リエゾン）	診療（外来・入院・リエゾン）	診療（外来・入院・リエゾン）	診療（外来・入院・リエゾン）	
	ECT		ECT	リエゾンチーム回診・緩和医療チーム回診	ECT		
午後	班ミーティング			リエゾン カンファレンス			（交代制勤務） ●日当直 ●救急センター日勤 ●藤が丘病院オンコール
	診療（外来・入院・リエゾン）	診療（外来・入院・リエゾン）	診療（外来・入院・リエゾン）	診療（外来・入院・リエゾン）	診療（外来・入院・リエゾン）	診療（外来・入院・リエゾン）	
	医局会・抄読会・ケースカンファレンス			周産期メンタルカンファレンス NST カンファレンス			
終日 (交代制勤務)	●救急センター日勤 ●藤が丘病院日勤	●救急センター日勤 ●救急センター日勤	●救急センター日勤 ●藤が丘病院日勤	●救急センター日勤 ●藤が丘病院日勤	●救急センター日勤 ●藤が丘病院日勤	●救急センター日勤 ●藤が丘病院日勤	

専攻医からのメッセージ



2021年度専攻医

熊崎 栄

出身大学
島根大学
臨床研修病院
昭和大学江東豊洲病院

はじめまして、専攻医2年の熊崎と申します。精神科単科病院では、精神科救急の症例を幅広く経験することができました。診断の妥当性や治療方針などをディスカッションする機会が多くあり、大変勉強になりました。2年目の現在は総合病院で研修をしています。リエゾンや、外来を担当させてもらえるようになり、またほかの視点からの学びがあります。自身の診療に悩むこともありますが、上級医の先生方に相談すれば的確なアドバイスがもらえます。ぜひ、私たちと一緒に充実した精神科研修をしましょう。



2022年度専攻医

石原 里彩

出身大学
順天堂大学
臨床研修病院
東京医療保健病院

昭和大学でのプログラムの魅力は、満遍なく症例を経験でき症例の取り合いをしないで済むということでしょうか。単科病院、昭和大学横浜市北部病院（総合病院）で1年ずつ研修するため、指定医・専門医とともに症例数に困ることはありません。個人的には精神科の魅力はその病態に未知な領域が多いこと、と考えていますが、経験豊富な指導医の先生方の意見を聞きやすい環境も備わっています。



2022年度専攻医

堀口 爽

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学横浜市北部病院

昭和大学精神科では、1年目と2年目でそれぞれ総合病院と精神科単科病院で研修させていただけるプログラムになっており、そこに魅力を感じて入局することに決めました。上級医のサポートがある中で、さまざまな症例を経験できることが強みであると考えます。精神科を考えている方はぜひ、当科の見学を検討していただけたらと思います。

昭和医科大学病院外科専門医研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 昭和医科大学医師臨床研修センター 事務室事務課専攻医・連携病院係
TEL 03-3784-8299 FAX 03-3784-8254 E-mail s-senkou@ofc.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
消化器一般外科

教授 青木 武士

都内の大学病院で、アカデミアの息吹を感じながら、『至誠一貫』の建学の精神のもと、外科医としての一歩を一緒に始めましょう！

- 昭和大学病院・附属3病院（江東豊洲病院、横浜北部病院、藤が丘病院）は首都圏の東京・神奈川横浜市という要所に専門性の高い外科部門が設置されているのが特徴です。本院・付属病院外科学講座各部門の特色を生かしつつも、一体感のある“all Showa” “one Showa” の強みを生かした外科学・治療の活動を体現できる専門医研修プログラムです。
- 各専門領域には、エキスパートの指導医が多数在籍し、術者としてあらゆる領域の手術の機会が与えられ、また3年間の専門医ブ

- ログラムで数多くの手術経験数が可能です。
- 低侵襲手術・ロボット支援下手術や蛍光ガイド手術など最先端機器が装備されており、専門医研修期間中でも最先端機器を導入した手術を経験できます。
- 学会発表、論文の指導などアカデミアの領域にも力を入れており、多様な専門医のニーズにお応えできる環境と人材が確保されています。
- 主な専門研修連携施設には、多くのハイボリュームセンターが

含まれており、地域医療にも携わりながら、外科医としての基本手技を習得することができます。

- 昭和大学病院にはこれまでの食道がんセンター、腎移植センターに加え、本年度より肺がん治療センターが開設され、専門的な外科治療を学べます。
- 将来有望な外科医を育成する上で、各病院間・部門の人的交流が盛んに行われるような人事交流システムを構築しています。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本外科学会専門医	31名
日本外科学会指導医	18名
日本消化器外科学会専門医	24名
日本消化器外科学会指導医	14名
日本消化器病学会専門医	9名
日本消化器内視鏡学会専門医	10名
日本内視鏡外科学会技術認定医	4名
日本消化管学会専門医	2名
日本大腸肛門病学会専門医	2名
日本肝臓学会専門医	9名
日本肝胆脾外科学会高度技能医・指導医	2名
日本移植学会移植認定医	2名
日本臨床腎移植学会専門医・腎移植認定医	2名
日本透析学会専門医	2名
日本食道学会認定医	5名
日本食道学会食道外科学専門医	2名

日本癌治療学会認定医	1名
日本肉腫学会認定指導医	1名
日本感染症学会ICD医	3名
日本腹部救急医学会暫定教育医	4名
日本再生医療学会認定医	2名
日本再生医療学会再生医療認定医	1名
消化器がん外科治療認定医	31名
日本心臓血管外科専門医	6名
日本心臓血管外科学修練指導医	5名
日本循環器学会専門医	2名
胸部ステントグラフト(cTAG) 指導医	3名
胸部ステントグラフト(cTAG) 実施医	4名
腹部ステントグラフト(ENDURANT II) 指導医	3名
腹部ステントグラフト(ENDURANT II) 実施医	4名
腹部ステントグラフト(Excluder) 指導医	3名
腹部ステントグラフト(Excluder) 実施医	4名

胸部ステントグラフト実施医 (Medtronic VALIANT)	1名
胸部ステントグラフト実施医 (Zenith TX-2)	1名
腹部ステントグラフト実施医 (AFX)	1名
TAVR (経カテーテル大動脈弁移植術) 実施医 (Sapien)	2名
TAVR (経カテーテル大動脈弁移植術) 指導医 (Sapien)	1名
TAVR (経カテーテル大動脈弁移植術) 実施医 (Core)	1名
TAVR (経カテーテル大動脈弁移植術) 指導医 (Core)	1名
浅大腿動脈瘤ステントグラフト実施医	1名
弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター	1名
J-MICS (低侵襲心臓手術) 指導医	1名
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施医	3名
脈管専門医	3名
日本呼吸器学会 専門医・指導医	1名
日本呼吸器外科学会 専門医	5名
日本胸部外科学会指導医	3名
日本胸部外科学会認定医	2名

身体障害者指定医 (呼吸器機能障害)	2名
肺がん CT 検診認定機構認定医師	2名
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医	4名
日本気管食道科学会専門医	2名
日本気胸・囊胞性肺疾患学会評議員	2名
呼吸器外科専門医合同委員会認定呼吸器外科専門医	5名
日本小児外科学会専門医	5名
日本小児外科学会指導医	2名
日本静脈経腸栄養学会指導医	1名
日本乳癌学会乳腺専門医	7名
日本臨床腫瘍学会暫定指導医	1名
日本がん治療認定医機構暫定教育医	4名
日本がん治療認定医機構 認定医	5名
ICD 認定医	1名
日本遺伝性腫瘍学会専門医	3名

専門研修指導医数

消化器外科	18名
心臓血管外科	5名
呼吸器外科	3名
小児外科	6名
乳腺内分泌外科	5名
その他（救急含む）	18名

各種学会施設認定

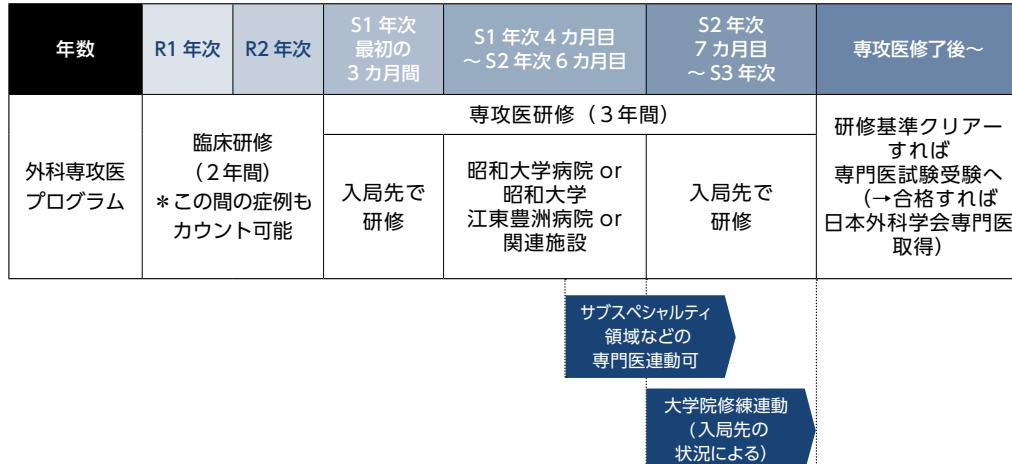
日本外科学会	日本呼吸器外科学会	日本肝胆膵外科学会
日本消化器外科学会	日本乳癌学会	日本大腸肛門病学会
日本心臓血管外科学会	日本小児外科学会	
日本胸部外科学会	日本食道学会	
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設認定		
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構規定基幹施設認定		
経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設認定		
経カテーテルの大動脈弁置換術実施施設 ほか		

主な専門研修連携施設

昭和大学江東豊洲病院	亀田総合病院	江東病院	田園調布中央病院
昭和大学横浜市北部病院	茨城県立中央病院	戸塚共立第1病院	丸山記念病院
昭和大学藤が丘病院	聖隸浜松病院	城山病院	山王台病院
都立荏原病院	小田原市民病院	菊名記念病院	TMGあさか医療センター
山梨赤十字病院	牧田総合病院	第三北品川病院	川崎協同病院
深谷赤十字病院	ひたち医療センター	朝霞台中央総合病院	



専攻医育成コースの概略



専攻医の研修期間

- 外科専門医は臨床研修修了後、3年（以上）の専門研修で育成されます。3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で、それぞれ6カ月以上の研修を行います。

年次ごとの専門研修計画

- 専攻医の研修は、毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次ごとの研修内容・習得目標の目安を示します。
 - 専門研修1年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的に開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍・論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して専門知識・技能の習得を図ります。
 - 専門研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医は、さらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。
 - 専門研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得によりさまざまな外科疾患へ対応する力量を養うことを目指します。カリキュラムを習得したと認められた専攻医は、積極的にサブスペシャルティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。
- *習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照してください。

地域医療の経験

- 地域の連携病院では責任を持って多くの症例を経験することができます。また、地域医療における病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療などの意義について学ぶことができます。
- 本研修プログラムの連携施設には、その地域における地域医療の拠点となっている施設（地域中核病院、地域中小病院）が入っています。そのため、連携施設での研修

サブスペシャルティ領域などの専門医資格と連動

- 原則、外科専門研修を修了し、外科専門医資格を習得した後、サブスペシャルティ領域専門研修の開始となりますが、領域によっては専攻医研修期間中の症例もカウン
- トの対象となる領域もあり、2年次から連動開始となります（サブスペシャルティ領域連動型）。

大学院研修

- 専門研修期間中も、入局先の状況にもよりますが、今まで大学院に所属していた場合や今後将来大学院へ進みた
- い場合は、規定の年数のカウント以下に、臨床研究を行ふことも可能です。



プログラムの魅力

〈1週間の流れ〉

a) 基幹施設（昭和大学病院 消化器・一般外科 例）

		月	火	水	木	金	土	日
8:00～	抄読会、ビデオカンファレンス							
8:30～	病棟業務							
8:30～	手術							
9:00～	内視鏡検査							
9:00～	超音波検査							
17:00～	Cancer Board							
17:30～	外科術前カンファレンス							

b) 連携施設（昭和大学豊洲病院 心臓血管外科 例）

		月	火	水	木	金	土	日
7:30～	抄読会							
7:30～	ハートチームカンファレンス							
7:30～	麻酔科合同カンファレンス							
7:30～	術前カンファレンス							
8:45～	ICU回診							
9:00～	手術・病棟業務							
9:30～	病棟総回診							
16:30～	リサーチカンファレンス							

c) 連携施設（江東病院 例）

		月	火	水	木	金	土	日
8:00～	勉強会							
8:30～	朝カンファレンス							
8:45～	病棟カンファレンス							
9:00～	病棟業務							
9:00～	手術							
9:00～11:45	午前外来							
13:00～16:30	午後外来							
9:00～12:00	午前内視鏡検査							
13:00～16:30	午後内視鏡検査							
13:00～	午後カンファレンス							
17:00～	夕方カンファレンス							
12:00～	病理合同カンファレンス（月1回）							
16:00～	消化器内科合同カンファレンス							

〈年間行事〉

月	全体行事予定(予定)
4月	外科専門研修開始 専攻医および指導医に提出用資料の配布（昭和大学ホームページ）・ 日本外科学会参加（発表）
5月	研修修了者：専門医認定審査申請・提出
7月	日本消化器外科学会参加（発表）
8月	研修修了者：専門医認定審査（筆記試験・面接）
11月	臨床外科学会参加（発表）
2月	・専攻医：研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成（年次報告）（書類は翌月に提出） ・専攻医：研修プログラム評価報告用紙の作成（書類は翌月に提出） ・指導医・指導責任者：指導実績報告用紙の作成（書類は翌月に提出）
3月	・その年度の研修修了・専攻医：その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出 ・指導医・指導責任者：前年度の指導実績報告用紙の提出 ・研修プログラム管理委員会開催

- ・基幹施設および連携施設それぞれにおいて、毎日の病棟でのチームカンファレンスを通じ、医師および看護スタッフによる治療および管理方針の症例検討会を行い、専攻医は積極的に意見を述べ、同僚の意見を聞くことにより、具体的な治療と管理の論理を学びます。
- ・Cancer Board：複数の臓器に広がる進行・再発例や、重症の内科合併症を有する症例、非常に稀で標準治療がない症例などの治療方針決定について、内科など関連診療科、病理部、放射線科、緩和、看護スタッフなどによる合同カンファレンスを行います。
- ・基幹施設と連携施設による症例検討会：各施設の専攻医や若手専門医による研修発表会を年3回程度、大学内の施設を用いて行い、発表内容、スライド資料の良否、発表態度などについて指導的立場の医師や同僚・後輩から質問を受けて討論を行います。
- ・各施設において抄読会や勉強会を実施します。専攻医は最新のガイドラインを参照するとともにインターネットなどによる情報検索を行います。
- ・メジャー疾患のみならず、マイナー疾患にも対応しており若手外科医における修練の場を提供しています。
- ・ドライラボでの結紮講習をはじめ、大動物を用いたトレーニング設備や教育DVDなどを用いて、積極的に手術手技を学びます。
- ・日本外科学会の学術集会（特に教育プログラム）、e-learning、その他各種研修セミナーや各病院内で実施される医療倫理講習会などにより外科医としての礎を学び、各領域における全国規模の学会での発表を積極的に行い学術的支援をしています。
- ・その他、標準的医療および今後期待される先進的医療、医療倫理、医療安全、院内感染対策についても学びます。

専攻医からのメッセージ



2023年度専攻医
(消化器・一般外科)

ヤクジ アブドウリシディ

出身大学
新疆ウイグル自治区
新疆医科大学
臨床研修病院
杉田玄白記念公立小浜病院

昭和大学外科プログラムに入った後、入局後豊洲病院外科、救急、山梨赤十字病院、現在は昭和大学病院の消化器外科でローテーションしています。各科独自の特徴があり、数多くの症例の経験でき、ロボット、蛍光ナビゲーションなど最先端の技術に携わることだけではなく、学会発表、国際交流ができます。優秀な先輩たちの指導の下で多くの執刀に携われ、日々成長を感じています。



2022年度専攻医
(呼吸器外科)

神武 輝

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
国立国際医療研究センター病院

現在、外科ローテーションを終え、入局先の呼吸器外科で日々研鑽を積んでいます。

各科の研修では、上級医の手厚い指導のもと、多くの執刀機会をえていただき、外科の基本手技を学ぶことができました。大学病院ならではの難度が高い症例も経験することができます。日々深い学びを得ながら自分の成長を実感しています。

外科医としてのスタートには大変よい環境です。皆様と一緒に働くことを楽しみにしています。



2023年度専攻医
(消化器・一般外科)

石井 美凪

出身大学
埼玉医科大学
臨床研修病院
深谷赤十字病院

2023年に昭和大学病院の消化器一般外科へ入局し外科ローテーションを開始し、各科において多数の手術に携わることができます。初期研修の段階で外科専門医の症例不足に不安がある方でも安心して専門医研修を開始することができるかと思います。



2022年度専攻医
(乳腺外科)

峯 陽子

出身大学
大分大学
臨床研修病院
宮崎県立宮崎病院

昭和大学病院乳腺外科の峯です。現在、外科専攻医3年目です。

入職後の3ヶ月は各自専門領域を学び、その後は各科を1ヶ月ずつ、その他は一・二次救急を3ヶ月、地域研修を6ヶ月行います。その後、各自専門領域に戻ります。すべての領域の研修が終わったところですが、とても効率よく多くのことを学べた研修だったと感じております。ぜひ、後輩にも当院での外科研修をお勧めします。



昭和大学病院 消化器・一般外科



昭和大学病院 心臓血管外科



江東豊洲病院 心臓血管外科



小児外科



乳腺外科



呼吸器外科



江東豊洲病院 消化器センター

外科

昭和医科大学横浜市北部病院外科研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学横浜市北部病院

問い合わせ先 | 担当者 昭和大学横浜市北部病院 管理課 TEL 045-949-7000 FAX 045-949-7117 E-mail h-senkou@ofc.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学横浜市北部病院
呼吸器センター呼吸器外科
教授 北見 明彦

プログラム概要

昭和大学横浜市北部病院、昭和大学藤が丘病院および神奈川県内を中心とした多くの連携施設での質の高い研修を通じて、以下の到達目標を実現する。

- ①専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得する。
- ②専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得する。
- ③上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となる。

- ④外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献する。
- ⑤外科領域全般からサブスペシャルティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）またはそれに準じた外科関連領域（乳腺や内分泌領域）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと運動する。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本外科学会専門医	32名
日本消化器外科学会専門医	10名
心臓血管外科専門医	3名
日本内視鏡外科学会技術認定医 (消化器外科8名、産婦人科2名、泌尿器科1名)	10名
日本呼吸器外科学会専門医	4名

専門研修指導医数

消化器外科	7名
心臓血管外科	2名
呼吸器外科	4名
小児外科	2名
外科	6名

各種学会施設認定

日本外科学会
日本消化器外科学会
日本胸部外科学会
日本小児外科学会
日本内分泌外科学会
日本呼吸器外科学会

主な専門研修連携施設

昭和大学藤が丘病院	昭和大学病院
静岡赤十字病院	昭和大学江東豊洲病院
戸塚共立第2病院	山王台病院
新潟大学医歯学総合病院	大船中央病院
金沢大学附属病院	静岡医療センター
亀田総合病院	横浜旭中央総合病院
相模原共同病院	横浜労災病院
横浜栄共済病院	



専攻医育成コースの概略

外科専門医研修プログラム

Aプログラム

- 1年次および2年次は、基本的外科手技を横浜市北部病院および連携施設において習得する。
- 救急については、関連施設および各科ローテーション中に時間外日当直にて研修を行うか、希望者は一定期間専任として研修を行うものとする。
- 上記の選択は、専修医の希望に基づき、横浜市北部病院外科専攻医プログラム委員会の判断により決定される。
- 専攻医3年目以降で症例集積が修了している場合はキャリアプランに沿った選択が可能である。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次							横浜市北部病院・藤が丘病院					連携施設
2年次							連携施設					横浜市北部病院・藤が丘病院
3年次					横浜市北部病院・藤が丘病院					基幹・連携・大学院・他施設研修		

Bプログラム

- 1年次は、基本的外科手技を関連施設において習得する。
- 救急については、関連施設および各科ローテーション中に時間外日当直にて研修を行うか、希望者は一定期間専任として研修を行うものとする。
- 上記の選択は、専修医の希望に基づき、横浜市北部病院外科専攻医プログラム委員会の判断により決定される。
- 専攻医3年目以降は、大学院に入学することも可能。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次										連携施設 A		
2年次										連携施設 B		
3年次							横浜市北部病院・藤が丘病院					

Cプログラム

- 1年次は、横浜市北部病院あるいは藤が丘病院で基本的外科手技を習得する。
- 2年次は、連携施設において必要な症例の集積、外科研修を行う。
- 3年次1月からのサブスペシャルティ科における研修については、症例集積が終了している場合に限る。
- 救急については、各科ローテーション中に時間外日当直にて研修を行うか、希望者は一定期間専任として研修を行うものとする。
- 専攻医3年目以降は、大学院に入学することも可能。
- 上記の選択は、専修医の希望に基づき、横浜市北部病院外科専攻医プログラム委員会の判断により決定される。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次							横浜市北部病院・藤が丘病院					
2年次							連携施設					
3年次							横浜市北部病院・藤が丘病院					



プログラムの魅力

横浜市北部病院消化器センター

初診に始まって内視鏡をはじめとする検査、診断、治療を一つのチームで把握するとともに、世界最先端の医療機器を開発し、内視鏡拡大観察、超拡大観察などを臨床に活用しています。当センターの臨床面の最大の特徴としては、①内視鏡診断・ESDを含む内視鏡治療、②腹腔鏡下外科手術、③開腹手術、化学療法と、全面的なアプローチを行っています。

横浜市北部病院循環器センター

現在の心臓血管外科チームがスタートし7年が経過、これまでの当院の開心術症例数は、1400例強（2016年から2022年）と信頼のおける症例数と評価されています。

2023年4月より新たに心臓血管外科診療課長に奥山浩、循環器センター長に南淵明宏が就任、この新体制で引き続き神奈川地区をはじめ関東全域での心臓血管外科手術の基幹病院となることを目標に日々精進していきます。

心臓血管外科の歴史の中で重要とされる一つとして心拍動下バイパス術の先駆者である南淵明宏センター長がその手技を全国に普及、教育してきた実績があります。その精神、技術を学びながら現在当院では後天性心疾患の広範囲な手術を施行、多くの患者さんへ貢献、心臓血管外科医、外科専攻医の育成、指導を行っています。当院に赴任してから優秀な人材育成として心臓血管外科専門医に2名、外科専門医に3名が合格、また多くの体外循環認定臨床工学技士を生み出してきました。さらに2023年1月、中川博文が心臓血管外科専門医の修練指導医を獲得、現在指導医3名と充実した基幹施設となりました。3名の指導医はそれぞれ海外での臨床経験を持ち、外科専攻医の視野を広げてくれるでしょう。循環器センターとして心臓血管外科、循環器内科両スタッフが一丸となり臨床、研究、教育に貢献していきます。

横浜市北部病院外科・甲状腺センター

甲状腺手術症例数においては、国内5位の豊富な手術症例を誇っています。甲状腺・副甲状腺疾患の外科治療を中心に、外科、内科、病理診断科と一緒にとなった甲状腺センターとして機能しており、超音波診断、インバーベンション治療を含めて日本有数の実績があります。外科の枠にとらわれず多方面から甲状腺疾患に向き合うことで、包括的な診断と治療を学び、経験することができます。また、一般病院での対応が難しい鼠経ヘルニア手術を担当しています。

横浜市北部病院呼吸器センター

当科は呼吸器外科と呼吸器内科が一つのセンターに在籍する特徴を活かし、内科外科問わず幅広く呼吸器疾患について学び、マネジメント能力を含めた実践的な診療能力を身につけます。症例数の多い肺悪性腫瘍と気胸を中心に、悪性疾患ならびに良性疾患に対する外科的治療を修学します。また縦隔疾患、肺感染症を経験し、その病態を理解し、診断、治療法について習得します。年間手術件数約300例。

横浜市北部病院こどもセンター

こどもセンターは、小児内科系医師（新生児科も含む）と小児外科系医師が講座制の壁を取り払って新生児から一般小児までの診療を行っています。周辺地域は小児人口比が高く、医療需要が多いため、外科系小児のcommon diseaseを数多く診ることができます。2名の日本小児外科学会指導医が在籍し、充実した指導体制となっています。

昭和大学横浜市北部病院 乳腺外科

当科は2023年4月に新設された新しい診療科です。乳がんの治療を中心に、良性腫瘍、乳腺炎、乳腺症などの診断・治療について習得することができます。手術、化学療法では形成外科、腫瘍内科、放射線科、臨床遺伝・ゲノム医療センターと連携した集学的治療を行っています。また、チーム医療におけるリーダーの育成にも力を入れています。患者さんが安全に、安心して治療を完遂できるよう、看護師、薬剤師、作業療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーなど、多職種の視点から包括的な患者支援を計画し、医系総合大学の強みを生かしたチーム医療を実践しています。

藤が丘病院 消化器・一般外科

昭和大学藤が丘病院では呼吸器内科と呼吸器外科で連携し、呼吸器疾患の診断から治療まで修学可能です。また昭和大学外科学講座呼吸器外科部門の一員として、昭和大学病院呼吸器外科、昭和大学横浜市北部病院呼吸器センターと連携し、呼吸器外科治療の研鑽を積んでいただきます。横浜市北部病院のカンファレンスに参加し、術後報告等を通じて技術と知識の向上を目指します。年間手術症例数は80-100例ですが、意欲さえあれば濃密な研修を提供いたします。

藤が丘病院 心臓血管外科

当科では藤が丘病院循環器センター外科部門として、心筋梗塞などに対する冠動脈バイパス術、弁膜症に対する人工弁置換術、大動脈瘤に対する人工血管置換術などを行っています。冠動脈バイパス術はoff pump bypassを中心に施行しております。弁膜症ではできるだけ自己弁を用いた弁形成術を僧帽弁だけではなく、大動脈弁でも選択しています。大動脈瘤に対しては低侵襲なステントグラフト内挿術が非常に多くなっております。そのほか、末梢血管再建術も多く行っております。また循環器内科、外科合同で綿密なカンファレンスを集中治療室では毎日、病棟では週1回行っており、各患者さんにとって最適となる治療を提供しています。年間手術症例約150例。

藤が丘病院 乳腺外科

日本乳癌学会指導医、日本超音波医学会指導医の指導のもと、乳腺疾患の診断や治療を学ぶことができます。特に画像診断や手術手技については、丁寧な診療を心掛けています。年間約260件の乳腺手術を行っており、多くの手術を経験することができます。近年の遺伝子診療の進歩に伴い、BRCA遺伝子検査の適応が拡大されており、当科も積極的に取り組んでいます。2021年手術症例数：266件（良性含む）。

藤が丘病院 呼吸器外科

昭和大学藤が丘病院では呼吸器内科と呼吸器外科で連携し、呼吸器疾患の診断から治療まで修学可能です。また昭和大学外科学講座呼吸器外科部門の一員として、昭和大学病院呼吸器外科、昭和大学横浜市北部病院呼吸器センターと連携し、呼吸器外科治療の研鑽を積んでいただきます。横浜市北部病院のカンファレンスに参加し、術後報告等を通じて技術と知識の向上を目指します。年間手術症例数は80例ですが、意欲さえあれば濃密な研修を提供いたします。

専攻医からのメッセージ



2023年度専攻医
(呼吸器外科)

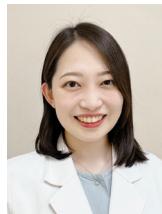
込山 新作

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学横浜市北部病院

呼吸器外科専攻医2年目の込山新作と申します。初期研修時代から当院でさまざまな外科をローテさせていただき、プログラムへの参加を決めました。

各診療科の症例数も多く、たくさんの領域の手術を経験し学ぶことができます。私自身も初年度1年間のローテを経て、呼吸器ではあまり経験しないような重症管理や術後管理を学ぶことができました。

外科に興味のある方はぜひ、当院の外科プログラムの参加をお待ちしております。



2023年度専攻医
(心臓血管外科)

北尾 真友子

出身大学
聖マリアンナ医科大学
臨床研修病院
昭和大学横浜市北部病院

当院にて初期臨床研修を行い、その過程で心臓血管外科を選びました。外科研修プログラムは1年目に心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、小児外科、甲状腺外科をローテーションし、2年目以降で半年から1年間地域研修を行います。当院心臓血管外科では若手から手術に携わることができ、1年目からバイパス血管のグラフト採取や正中切開、また仮性動脈瘤や内膜摘除術の執刀することができます。また大血管の第1助手や血管吻合も経験できます。今は開心術に向けて準備中です。熱意ある先生方と一緒に楽しく充実した研修生活を送りたい方は、ぜひ一度見学にいらしてください。お待ちしております。



横浜市北部病院 呼吸器センター



横浜市北部病院 こどもセンター



横浜市北部病院 循環器センター



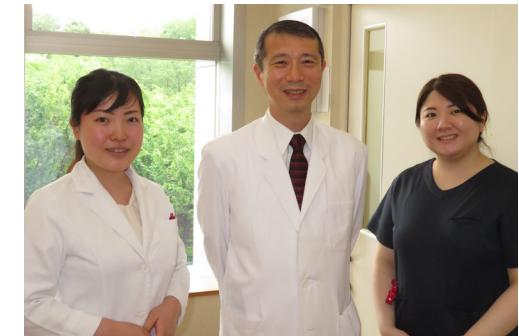
横浜市北部病院 外科



藤が丘病院 乳腺外科



横浜市北部病院 消化器センター



横浜市北部病院 乳腺外科



藤が丘病院 消化器外科



横浜市北部病院 甲状腺センター

整形外科

昭和医科大学整形外科21世紀型専門研修プログラム

研修期間 3年9ヶ月 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 清野 毅俊 TEL 03-3784-8543 FAX 03-3784-9005 E-mail contact@showa-u-orthopedic.com



統括責任者
昭和医科大学病院
整形外科
教授 工藤 理史

プログラム概要

運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、幅広い基本的な臨床能力（臨床、教育、研究）を身に付けられるバランスのとれたプログラムです。以下、3つの柱があります。

- ① 臨床（豊かな人間性）：ベーシックな手術とこれらを基盤にした最新の技術や考え方を学びます。
- ② 教育：ヒューマニティーあふれる医師の教育を基本に、学

(Science)と術 (Art) を身につけます。
③ 研究（リサーチマインド）：研究をしながら、臨床と実践を行い医学の進歩に貢献します。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本整形外科学会 専門医	20 名
--------------	------

専門研修指導医数

日本整形外科学会 指導医	8 名
--------------	-----

各種学会施設認定

日本整形外科学会	日本手外科学会
日本リウマチ学会	日本脊椎脊髄病学会
日本リハビリテーション学会	

主な専門研修連携施設

横浜市北部病院	昭和大学江東豊洲病院	東京女子医大足立医療センター
〈東京コース〉		
●連携施設A		
虎の門病院	国家公務員共済組合連合会東京共済病院	三宿病院
横浜労災病院	都立大塚病院	城山病院
都立広尾病院	東京高輪病院	田園調布中央病院
都立大塚病院	NTT 東日本関東病院	ひたち医療センター
日本赤十字社医療センター（広尾）	JR 東京総合病院	世田谷おくさわ病院
日本鋼管病院	関東労災病院	丸子中央病院大学
太田西ノ内病院	国立がん研究センター中央病院	山梨赤十字病院
東京都保健医療公社荏原病院		聖隸沼津病院
		菊名記念病院
		総合高津中央病院
		あそか病院

●連携施設B

三宿病院	城山病院
田園調布中央病院	ひたち医療センター
世田谷おくさわ病院	丸子中央病院大学
山梨赤十字病院	沖縄北部地区医師会病院
聖隸沼津病院	
菊名記念病院	
総合高津中央病院	
あそか病院	

〈横浜コース〉

●連携施設C	横浜南共済病院
昭和大学藤が丘病院	横浜旭中央総合病院
JCHO 相模野病院	横浜新都市脳神経外科病院
山梨赤十字病院	新座志木中央総合病院
新座志木中央総合病院	戸塚共立いづみ野病院
戸塚記念病院	たちばな台病院
麻生総合病院	ひたち医療センター
戸塚共立第一病院	
佐々総合病院	



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
整形外科専門医プログラム	臨床研修	基幹施設	連携施設 A	連携施設 B	地域研修（半年）	連携施設→ サブスペシャルティ 領域などの 専門医運動コース		

1. 整形外科専門研修

・1ヶ月の研修を1単位とする単位制をとり、全カリキュラムを10の研修領域に分割し、基幹施設および連携施設をローテーションすることで、それぞれの領域で定められた単位数以上を修得し、3年9ヶ月で45単位を修得する修練プロセスで研修します。

・昭和大学整形外科の専門研修施設群の各施設の特徴（脊椎外科、関節外科、スポーツ医学、手・上肢外科、外傷、小児、リウマチ、腫瘍）に基づいたコースです。各専門研修コースは、各専攻医の希望を考慮し、個々のプログラムの内容や基幹施設・連携施設のいずれの施設から開始しても対応できるような研修コースを作成しています。

年次ごとの専門研修計画

専門研修1年目では、基本的診療能力および整形外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的に開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本整形外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通じて自らも専門知識・技能の習得を図ります。

専門研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、整形外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通じて専門知識・技能の習得を図ります。

専門研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、ほかの研修医の指導計画にも参画し、リーダーシップを発揮して、実践的知識・技能の習得によりさまざまな外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャルティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。

専門研修4年目では、これまでの知識経験の集大成として、一整形外科医として日常の診療および研究に関わることができるよう、これまでの自己評価を行うとともに将来的な専門性の獲得も検討していきます。



プログラムの魅力

専攻医の1週間

	月	火	水	木	金	土	日
午前	カンファレンス	外来	研究日	術前 カンファレンス	外来	外来 (当番制)	
	手術			手術	手術		
午後				病棟管理	病棟管理		
	手術	病棟管理	研究日	手術	手術		
				病棟管理	病棟管理		

運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、幅広い基本的な臨床能力（臨床、教育、研究）を身に付けられるバランスの取れたプログラムです。以下3つの柱があります。

1. 臨床（豊かな人間性）：ベーシックな手術とこれらを基盤にした最新の技術や考え方を学びます。

2. 教育：ヒューマニティー溢れる医師の教育を基本に、学（Science）と術（Art）を身につけます。

攻医には、積極的にサブスペシャルティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。専門研修4年目では、これまでの知識経験の集大成として、一整形外科医とし

て日常の診療および研究に関わることができるよう、これまでの自己評価を行うとともに将来的な専門性の獲得も検討していきます。

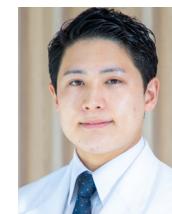
3. 研究（リサーチマインド）：研究をしながら、臨床と実践を行い医学の進歩に貢献します。海外留学は、専門診で研修を積み立てたのち、教授の推薦を得て留学することができます。

Mayo Clinic、NY Hospital for Special surgery、Minnesota University、Anderson Clinic、Wisconsin University、Pittsburgh University、Harvard University

プログラムの研修単位取得 参考一例

1年：昭和大病院	リウマチ 3	上肢・手 6	腫瘍 1	小児 2
2年：虎の門病院		下肢 6	脊椎 3	スポーツ 3
3年：いまきいれ総合病院		外傷 6	腫瘍 1	脊椎 3
4年：日本鋼管病院	地域 3	リハビリ 3		流動 2

専攻医からのメッセージ

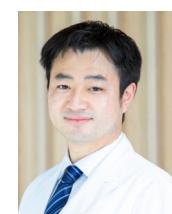


2023年度専攻医

土屋 雄揮

出身大学
杏林大学
臨床研修病院
杏林大学医学部付属病院

私は、都心近郊で最先端の医療を提供する昭和大学病院に魅力を感じ、入職を志望しました。出身大学などの垣根がなく、オープンでフレンドリーな環境が特徴です。当院の整形外科は日本国内でも有数の医局員数と歴史を誇ります。豊富な関連施設で、自分の理想のスペシャルティに出会えます。また、地域研修の際には自分に合った地域医療を学ぶことができます。同期の人数も多く、お互いに切磋琢磨して支えられることもが魅力的です。歴史がある、症例数が多い、優しい仲間、この3拍子揃った素敵な医局で、ぜひとも専門研修を始めませんか。



2023年度専攻医

妹尾 尚弥

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学病院

私は昭和大学を卒業し、初期研修も昭和大学病院で行いました。もともと整形外科志望でしたが、初期研修で整形外科を研修した際に医局の雰囲気の良さを感じ、ぜひここで勉強したいと思い入局を決めました。先生方は皆教育熱心で親身になってくださいるため、質問や相談がしやすい環境です。また、大学病院であり、他院で手術が困難と判断された患者を紹介されることも多く、珍しい疾患も含め多くの症例を経験することができます。



2022年度専攻医

和田 一輝

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学江東豊洲病院

昭和大学の整形外科医局は都内でも有数の規模であり、数多くの関連施設で各専門分野について深く学ぶことができます。また先輩、同期との繋がりも強く、日々の症例や将来の進路について相談できる環境が整っています。医局員の出身大学は幅広く、みんなで仲良く頑張っています！専門研修先、入局先で迷わっている皆さん、ぜひ一度当医局へ見学にいらしてくださいね。

産婦人科

昭和医科大学産婦人科専門研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 三村 貴志（診療科長補佐）TEL 03-3784-8551 FAX 03-3784-8355
E-mail ob-gyn@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
産婦人科
教授 関沢 明彦

多くの仲間と切磋琢磨しながら豊富な症例を研修できます

昭和大学病院を基幹病院とする産婦人科専門医研修プログラムには以下に示すような多くの優れた点があり、これまで多くの産婦人科専攻医に選ばれてきた実績があります。

① 症例数が豊富：分娩数、手術数（腹腔鏡・ロボット支援下手術）、悪性腫瘍症例数などの症例数が圧倒的に豊富です。

② サブスペシャルティの取得を念頭においた指導体制：周産期、婦人科腫瘍、生殖内分泌、女性医学の4領域と超音波専門医、臨床遺伝専門医、産婦人科腹腔鏡技術認定医などの分野において、十分な数の指導医が在籍していることに加え、国内で最先端の医療を担う施設を連携病院としていることで、質の高い研修が可能です。

③ 狹いエリアに連携施設が集約：サブスペシャルティ研修を行う連携施設は東京南部から横浜北部のエリアに集中しています。

④ 指導体制が充実：80人以上の指導医を含む200人以上の医師とともに臨床・研究に従事できます。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

産婦人科専門医	32 名	遺伝性腫瘍専門医	3 名
周産期(母体・胎児)専門医	9 名	内分泌代謝科(産婦人科)専門医	2 名
周産期(母体・胎児)指導医	7 名	内分泌代謝科(産婦人科)指導医	1 名
婦人科腫瘍専門医	7 名	細胞診専門医	3 名
婦人科腫瘍指導医	3 名	細胞診指導医	3 名
生殖医療専門医	2 名	腹腔鏡技術認定医	7 名
生殖医療指導医	1 名	超音波専門医	10 名
女性ヘルスケア専門医	4 名	超音波指導医	7 名
女性ヘルスケア指導医	3 名	がん治療認定医	11 名
臨床遺伝専門医	8 名	がん治療認定医指導責任者	1 名
臨床遺伝指導医	1 名	ロボット外科専門医	2 名

専門研修指導医数

日本産科婦人科学会指導医	21 名
--------------	------

各種学会施設認定

日本産婦人科学会専門医研修基幹病院
日本産科婦人科学会研修基幹施設
日本周産期・新生児医学会周産期専門医研修指定病院
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医研修指定病院
日本超音波学会認定専門医研修施設
日本内分泌学会内分泌代謝専門医制度研修施設
母体保護法指定医研修指定機関
顕微授精に関する登録施設
周産期登録施設
日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
日本婦人科腫瘍学会専門医制度認定修練施設
生殖医療専門医制度認定研修施設

主な専門研修連携施設

昭和大学横浜市北部病院	聖隸浜松病院
昭和大学江東豊洲病院	白河厚生病院
昭和大学藤が丘病院	茨城県立中央病院
東京都保健医療公社荏原病院	東京歯科大学市川総合病院
水戸赤十字病院	東京臨海病院
慶愛病院	国立埼玉病院
国立成育医療研究センター	榎原記念病院
癌研究会有明病院	竹田総合病院
東京ベイ浦安・市川医療センター	牧田総合病院
公立昭和病院	帝広厚生病院など
母子愛育会愛育病院	



専攻医育成コースの概略

医学部 卒後年数	1年	2年	3年	4・5年	6年	7年
昭和大学 産婦人科専門 研修プログラム	臨床研修	基幹施設	連携施設 (地域医療研修・ ほかの附属病院など)	サブスペシャルティ領域専門医研修		大学院進学

専門研修の1年目は、原則として、昭和大学病院および附属3病院から研修を開始します。昭和大学病院では3カ月ごとに勤務交代（班編成の交代）があり、産科班と婦人科班を研修します。研修は大学附属病院で始まり、半年から1年の研修ののち他施設に移ります。そこで地域医療研修とその他の大学付属病院などの施設での研修が行われます。1施設1年以内でおおむね2カ所で研修します。専門医試験前には、昭和大学病院または附属病院に戻り、研修状況に合わせて、研修が不十分な分野の研修を行います。1年目の目標は、内診、超音波検査、胎児心拍数モニタリングについて、その所見を評価し、診療録に記載できること、正常分娩を指導医・上級医の指導のもとで取り扱えること、上級医の指導のもとで通常の帝王切開、子宮内容除去術、子宮付属器摘出術ができるなどです。産科勤務では、正常分娩を自立して管理できることを目標としています。婦人科では、良性腫瘍の開腹手術の執刀、腹腔鏡下手術の助手、悪性腫瘍手術の助手、がん化学療法の実施、婦人科急性腹症への対応などを学びます。

2年目以降の学外研修では、基本的な産婦人科疾患について自ら判断して治療方針を決め、治療方針を患者に分かりやすく説明することを目標に研修を行います。単純子宮全摘除や帝王切開などの基本的な開腹手術や付属器切除、異所性妊娠根治術などの腹腔鏡下手術を十分に経験します。また、一般的な婦人科外来診療や妊婦健診なども経験します。3年目以降の昭和大学病院または附属病院に戻って以降は後輩専攻医に指導する立場になります。後輩に指導することで、自らの知識技術をより確実なものにします。帝王切開の適応を一人で判断し、通常の帝王切開であれば同学年の専攻医と一緒にできるようにします。また前置胎盤や早産の帝王切開なども執刀します。腹腔鏡下手術においても、付属器腫瘍や異所性妊娠の手術、筋腫核出術などの手術を執刀します。また、習熟度に応じて、腹腔鏡下手術全摘除を執刀します。悪性腫瘍の手術においても手技を理解して手術の一部を執刀します。



プログラムの魅力

昭和大学病院プログラムの特徴

昭和大学病院は東京都から母体救命対応型総合周産期母子医療センターに指定されており、生命にかかわると判断された妊娠婦を無条件で受け入れています。附属病院全体での分娩数は4000件を超え、ほかの附属病院も地域周産期母子医療センターに認定されています。また、連携病院には国立成育医療研究センター、愛育病院、水戸赤十字病院、聖隸浜松病院など、多くの有名な周産期センターがあり、そこも含めてハイリスク妊娠・分娩管理において充実した周産期の研修ができます。昭和大学産婦人科の特徴は超音波診断と遺伝学的検査を融合した先端的な診断やそれをもとにした胎児治療に取り組んでいることです。

婦人科腫瘍の分野においては開腹手術、腹腔鏡下手術だけでなく、都内大学病院では最も多くのロボット支援下手術を行っており、豊富な症例数のなかで多くの婦人科手術症例を経験できます。さらに発展的にサブスペシャルティ領域の婦人科腫瘍専門医の取得に向けた研修が可能です。癌研究会・明病院、埼玉県立がんセンターなどとの連携

により、国内トップクラスの質を確保した研修体制を持っています。

生殖医療の分野については、昭和大学病院および昭和大学江東豊洲病院で研修が行われます。連携病院であるは国立成育医療研究センター、聖隸浜松病院、慶愛病院での出張中にも研修が可能です。また、女性ヘルスケアの分野では、昭和大学病院では思春期外来、更年期外来、骨盤底外来、女性アスリート外来など特色ある外来診療が行われており、これら分野の研修も行われています。性分化疾患などの患者さんも多くいます。

産婦人科専門医に向けた研修においては、地域研修として東京都23区外や政令指定都市以外の施設での研修が必須になります。しかしそれ以外の研修先は、その後のサブスペシャルティ領域の研修も含めて、連携病院が東京南部から神奈川県北部の比較的狭いエリアに集約しています。そのため、引っ越しなどの負担は少なく、継続的に専門的な研修を受けることができる特徴もあります。

専門医取得後の研修

専門医取得後にはサブスペシャルティ領域の研修を継続的に行なうことができますし、大学院に進学することもできます。大学院に入学すると、4年間の大学院在学中は原則、臨床業務を外れ、研究に専念できます。必修の授業の単位取得が終了し、一定の研究業績を上げた場合に、3年で早期修了できる制度もあり、多くの医師が早期修了した実績が

あります。大学院在籍中には海外留学や国内留学などの機会も希望に応じ設定可能です。一方で大学院に入学せずに学位を取得することもできます。また、海外に留学する医師も多くおり、多様な選択肢が用意されています。多くの教室員が在籍していることが、この柔軟性の源でもあります。

専攻医からのメッセージ



2023年度専攻医

安田 百花

出身大学
京都府立医科大学
臨床研修病院
昭和大学病院

私が昭和大学産婦人科学教室に入局を決めたのは、広い視野で様々な分野に特化した先生方の指導を受けられると思ったからです。専攻医1年目の研修先である昭和大学横浜市北部病院では、上級医の丁寧かつ熱心な指導の下、経腔分娩や帝王切開、腹腔鏡手術やその他小手術まで数多くの症例を経験、執刀させて頂きました。昭和大学産婦人科は症例数が豊富で医局員も多く、楽しく充実した専攻医生活を送ることができます。研修先に悩んでいる方は一度見学に来て頂き、実際に働く専攻医の姿を見てもらえばと思います。お会いできる日を楽しみにしています!

産婦人科

昭和医科大学横浜市北部病院産婦人科研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学横浜市北部病院

問い合わせ先 | 担当者 市塚 清健 TEL 045-949-7000 FAX 045-949-7927 E-mail ichizuka@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学横浜市北部病院
外科系診療センター産婦人科
教授 市塚 清健

多くの症例を経験し、技術、態度を修得できます

■昭和大学横浜市北部病院産婦人科は、昭和大学医学部産婦人科学講座（昭和大学病院）の附属病院の一つです。臨床（治療指針など）・教育・研究は、産婦人科学講座と同じであり、ともに連携しています。当プログラムの魅力の一つは症例数の多

さです。当科の症例数は実績に示すとおり昭和大学病院に匹敵するものであり、そのため当科医局員各個人の臨床的技能・態度は他産婦人科施設に劣らないと自負しております。経験する症例数の多さのみならず専門医を目指す一人一人の知識・技能・

態度をより高めることができます。専門医取得は通過点であり、その後のサブスペシャルティを見据えた研修を行っていきます。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本産科婦人科学会専門医	16名
日本周産期・新生児医学会指導医	1名
日本周産期・新生児医学会専門医	5名
日本婦人科腫瘍専門医	1名
日本超音波医学会指導医	3名
日本超音波医学会専門医	4名

専門研修指導医数

指導医数	8名
------	----

各種学会施設認定

日本産科婦人科学会専門医研修指定病院
日本周産期・新生児医学会周産期専門医研修指定病院
日本超音波学会
日本婦人科腫瘍学会
日本産婦人科内視鏡学会
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医研修指定病院

主な専門研修連携施設

昭和大学病院	母子愛育会愛育病院
昭和大学藤が丘病院	NTT東日本関東病院
昭和大学江東豊洲病院	東京歯科大学市川総合病院
水戸赤十字病院	牧田総合病院
慶愛病院	榎原記念病院
国立成育医療研究センター	亀田総合病院
国立埼玉病院	聖隸浜松病院
東京都保健医療公社荏原病院	白河厚生総合病院
東京ベイ浦安・市川医療センター	竹田総合病院
公立昭和病院	帝広厚生病院など



専攻医育成コースの概略



専門研修1年目

研修は、基本的に昭和大学横浜市北部病院で開始する。半年から1年の期間を目安に研修を行う。当初の目標は、内診、直腸指診、経腔超音波検査、通常の腹部超音波検査を実施し、その所見を記述して表現できるようになると、胎児心拍数モニタリングの所見を評価し、その所見を記載できること、正常分娩を指導医・上級医の指導のもとで取り扱えるようになると、上級医の指導のもとで通常の帝王切開（20症例を目標）、子宮内容除去術、

子宮付属器摘出術、吸引・鉗子分娩ができる、良性腫瘍の開腹手術の執刀、腹腔鏡下手術の助手、悪性腫瘍手術の助手、がん化学療法の実施、婦人科急性腹症への対応などを学ぶ。また1年目後半には、昭和大学附属病院で研修を行う。昭和大学病院では生殖医療、昭和大学藤が丘病院では婦人科悪性腫瘍について主に研修する。研修期間は3~6ヶ月と考える。

専門研修2年目

連携施設での学外研修になるこの期間の研修では、基本的な産婦人科疾患について自ら判断して治療方針を決めることで、各種の産婦人科疾患を勉強し、治療方針を患者に分かりやすく説明できるようになることを目標に研修が行われる。連携施設での研修は基本的に1施設当たり半年

から1年以内で、通常、1から2施設で研修を行う。この期間に、単純子宮全摘術や帝王切開および付属器切除、異所性妊娠根治術などの腹腔鏡下手術を十分に経験することができる。

専門研修3年目

昭和大学横浜市北部病院に再び戻って研修する。研修内容進歩により、昭和大学病院における生殖医療、婦人科腫瘍（良性、悪性）、女性ヘルスケア、昭和大学藤が丘病院における婦人科悪性腫瘍についての研修が可能である。この段階では、指導医・上級医の指導のもとで前置胎盤や

早産の帝王切開など難易度の高い手術の執刀を行う。また、腹腔鏡下手術においても、初期レベルの付属器腫瘍や異所性妊娠の手術の執刀ができる。腹腔鏡下筋腫核出術などの手術も、指導医の指導下で執刀する。また、習熟度に応じて、腹腔鏡下子宮全摘術の執刀も可能である。



プログラムの魅力

専攻医の1週間

	月	月(午後から)	火	水	木	金	土(第2・4)
8:30から							
13:00から							

医局のスケジュール・雰囲気

サブスペシャルティ、学位取得、海外留学などは昭和大学病院プログラムを参照ください。

下記に手術枠、特殊外来予定を記載します。

月曜日は悪性腫瘍手術を含め4-6件、火曜日は帝王切開など3-4件、水・木曜日は腹腔鏡手術を中心に3-4件行っています。

	月	火	水	木	金
子宮鏡／コルポスコピー外来	PM		PM		
ハイリスク妊娠外来		AM	AM		AM・PM
中期胎児精密超音波検査	PM	PM	PM	PM	PM

専門医取得後の研修

専門医取得後にはサブスペシャルティ領域の研修を継続的に行なうことができますし、大学院に進学することもできます。大学院に入学すると、4年間の大学院在学中は原則、臨床業務を外れ、研究に専念できます。必修の授業の単位取得が終了し、一定の研究業績を上げた場合に、3年で早期修了できる制度もあり、多くの医師が早期修了した実績があります。大学院在籍中には海外留学や国内留学などの機会も希望に応じ設定可能です。一方で大学院に入学せずに学位を取得することもできます。

また、海外に留学する医師も多くおり、多様な選択肢が用意されています。多くの教室員が在籍していることが、この柔軟性の源でもあります。

参考までに主な留学先を示します。

Tufts New England Medical Center (Boston), University of California San Diego, MD Anderson Cancer Center (Texas), Buffalo 医科学研究所 (NY), University of Cambridge (英国), London University (英國), University of Bologna (イタリア) など多数あります。

専攻医からのメッセージ



2023年度専攻医

玉置 亜実

出身大学

横浜市立大学

臨床研修病院:

横須賀共済病院／横浜市立
大学市民総合医療センター

手厚い指導体制と豊富な症例があることから昭和大学を選びました。4つの大学病院に各分野の指導医がおり勉強会も盛んに行われるため、どの分野にも関心を持つことができ早くから参加できる環境があります。

横浜市北部病院では多くの症例をバランスよく経験でき、20数名という規模のため満遍なく指導を受け多様な考え方を学びました。地域研修に関しては、県をまたいで関連施設が多くあるため希望に応じて多様な環境で経験を積むことができます。



2022年度専攻医

永井 英輝

出身大学

昭和大学

臨床研修病院:

横浜市立大学附属
市民総合医療センター

豊富な症例数と手厚い指導体制、また緊急時の対応も主体となって診療できるため私は横浜市北部病院プログラムを選択しました。早い時期から手術の執刀があり、知識、技術共に習得することができます。また、医局員の出身大学は幅広くとても雰囲気がいいところも魅力の一つです。このプログラムに入ると産婦人科医として間違なく成長することができるのです。ぜひ見学にいらしてください。

眼科

昭和医科大学医学部眼科学講座研修プログラム

研修期間 4年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 恩田秀寿 TEL 03-3784-8553 E-mail ganka@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
眼科
教授 恩田 秀寿

最先端の検査、手術を通じて眼科診療を研修しましょう。

■眼科6領域である、角結膜・緑内障・白内障・網膜硝子体・ぶどう膜・屈折矯正・弱視・斜視、神経眼科・眼窩・眼付属器のそれぞれに専門家が在籍しています。専門研修連携施設にもそれぞれの専門を活かした指導を行える指導医を派遣しています。

従って、どの分野においても偏りなく広く深く最新医療を学ぶことができます。1年目は旗の台にある昭和大学病院で研修を行い、2年目以降は各関連施設での研修を行います。関連施設には、昭和大学附属病院3施設、全国に9施設あります。5年目に

専門医試験の受験資格を得られます。「至誠一貫」のもとに眼科医療を研修することで、技術的にも精神的にも「実地に役立つ良質な専門医」を育成することを目指します。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数	専門研修指導医数	主な専門研修連携施設
日本眼科学会専門医 25名	日本眼科学会指導医 5名	岩手医科大学附属病院 医療法人 小沢眼科内科病院 友愛記念病院 独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター 社会福祉法人 あそか会 あそか病院 昭和大学江東豊洲病院 医療法人社団 七仁会 田園調布中央病院
各種学会施設認定		
日本眼科学会		医療法人社団 オリンピア会 オリンピア眼科病院 医療法人社団明芳会 横浜旭中央総合病院 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 昭和大学横浜市北部病院 川崎医療生活協同組合 川崎協同病院 医療法人社団亮正会 総合高津中央病院 国民健康保険 富士吉田市立病院
		医療法人社団 軽井沢西部総合病院 川崎医科大学総合医療センター 川崎医科大学附属病院 上町いまきいれ病院 比嘉眼科



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9～10年
眼科 基本コース	基幹施設	関連施設 (1年以上は地域病院での研修を行う)					
	専攻医登録			専攻医修了	専門医試験		
眼科 大学院コース	基幹施設	基幹または関連施設		研究+臨床			
	専攻医登録	関連施設	大学院進学	専攻医修了	専門医試験	大学院修了	学位取得

昭和大学眼科研修プログラムでは、基幹病院での1年間の研修と地方病院での1年間の研修を必須とし、残りの2年間を昭和大学の附属病院または関連病院での研修としております。地方病院の研修は3年目以降を行い、医長とペアを組んでの研修となります。専攻医受験資格には専門研修4年間で、著者として論文執筆1編以上、学会発表2回以上が義務付けられております。すべてのコースで原則、東京都品川区にある昭和大学病院附属東病院での研修からスタートします。日常業務は、受け持ち患者の病棟診察か

ら始まります。自分の所見と指導医の所見を比較検討します。外来では、初診患者の医療面接、所見の取り方、検査オーダーを指導医から学びます。指導医の手術助手に入り、術式、合併症対策を研修します。自らも計画囊外摘出術+眼内レンズ挿入術の白内障手術を教授の指導のもとで執刀します。これは昭和大学眼科の伝統的白内障手術教育です。これに向けてウェットラボでの手術を定期的に行います。また眼形成手術教育では眼瞼皮膚切除術を執刀します。毎週水曜日のカンファレンスで、入院中のすべ

ての受け持ち患者の経過報告を行います。毎週水曜日には症例検討会および英語論文抄読会で発表します。1年目には日本臨床眼科学会での発表を行います。2年目以降は、各関連施設で指導医のもと、研修を行います。(関連病院につきましては眼科学講座のホームページからご覧ください)当プログラムでは手術教育に力を注いでおり、研修4年間で、超音波乳化吸引術+眼内レンズ挿入術、眼科小手術を術者として執刀し完遂することを目標としています。当プログ

ラムでは、研修期間中に臨床、社会、基礎医学研究に携わることを積極的に勧めております。日本眼科学会答申より、「在学期間中も眼科臨床実績がある場合、専門研修指導医の証明とともに眼科領域研修委員会に申請を行い認められれば臨床実績を算定できる」ため、基幹病院および地方病院研修が修了した場合に眼科研究目的での大学院への進学が可能です。ある程度眼科診療がこなせるようになってから、大学院への進学をお勧めいたします。

大学院進学を希望する場合

当プログラムでは、研修期間中に臨床、社会、基礎医学研究に携わることを積極的に勧めております。日本眼科学会答申より、「在学期間中も眼科臨床実績がある場合、専門研修指導医の証明とともに眼科領域研修委員会に申請を行い認められれば臨床実績を算定できる」ため、基幹病院

および地方病院研修が修了した場合に眼科研究目的での大学院への進学が可能です。ある程度眼科診療がこなせるようになってから、大学院への進学をお勧めいたします。2022年度の大学院生：4名



プログラムの魅力

専攻医の1週間

	月	火	水	木	金	土	日
午前	病棟診察 外来初診	病棟診察 外来初診	病棟診察 手術助手	教授総回診 手術助手	病棟診察 外来初診 病棟業務	病棟診察 外来診察 (交代制)	休み
午後	手術助手	手術助手	抄読会 カンファレンス 医局会	休み	外来再診 病棟業務	休み 夜間オンコール	休み

なんといっても、昭和大学病院で眼外傷、特に眼窩骨折を多く診ることができることでしょう。
また、フェムトセカンドレーザーを用いた最先端の白内障手術を実践している数少ない大学病院です。

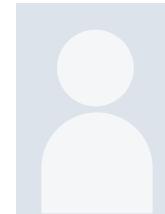
専門医取得後の研修

昭和大学眼科は主要4附属病院の眼科が、一つの医局として機能しております。眼科研修はこの4病院を中心に行うことで、知識や技術の偏りを減らし、知識の標準化を図っており、また、コンパクトかつタイトな診療連携により専攻医同士の情報共有を行いやすくなっています。

眼科専門医取得後

専門医取得は、目標ですが通過点にすぎません。眼科はサブスペシャルティが多彩です。眼科主要6領域のほかにも、眼形成、神経眼科、小児眼科、ロービジョン、腫瘍、薬理など選択肢が豊富です(日本眼科学会HPを参照ください。<https://www.nichigan.or.jp/>)。昭和大学眼科もサブスペシャルティの選択を強く勧めています。それにより、広く深い知見を得ることを目標としており、生涯にわたる眼科専門医の質を向上できます。

専攻医からのメッセージ



2024年度専攻医

久保田 大智

出身大学
岩手医科大学
臨床研修病院
昭和大学病院

昭和大学病院附属東病院の眼科の特徴として、眼窩底骨折や眼球破裂など、眼外傷症例が多いことが挙げられます。眼科救急を学ぶことができることは、当科において特筆すべき点です。また、専攻医1年目へのフォローオン体制が整っており、当直業務では暫くの間、上級医のバックアップもあります。当科は外来・オペを通してさまざまなサブスペシャルティに触れ、将来のロールモデルを見つけることができる環境です。commonな疾患から眼形成領域など、幅広く学ぶことができ、眼科医として糧になる経験を積めます。眼科は専門性が高く、最初は知らないことばかりで戸惑うかもしれませんのが、経験をとおして一つずつステップアップできます。ぜひ、昭和大学眼科学講座での研修をとおして、専門性の高い眼科医を目指してともに成長しましょう。

眼科

昭和医科大学藤が丘病院眼科専門研修プログラム

研修期間 4年 基幹施設 昭和医科大学藤が丘病院

問い合わせ先 | 担当者(診療科長補佐) 早田 光孝 TEL 045-974-2221 FAX 045-971-3081 E-mail ganka@live.jp



統括責任者
昭和医科大学藤が丘
リハビリテーション病院
眼科
教授 西村 栄一

最先端の臨床、研究を手厚い指導のもと研修を行い、手術ができる眼科医の基礎を構築する。

■眼科6領域である、角結膜・緑内障・白内障・網膜硝子体・ぶどう膜・屈折矯正・弱視・斜視、神経眼科・眼窩・眼付属器のそれぞれに専門家が在籍しています。専門研修連携施設にもそれぞれの専門を活かした指導を行える指導医を派遣しています。

従って、どの分野においても偏りなく広く深く最新医療を学ぶことができます。1年目は旗の台にある昭和大学病院で研修を行い、2年目以降は各関連施設での研修を行います。関連施設には、昭和大学附属病院3施設、全国に9施設あります。5年目に

専門医試験の受験資格を得られます。「至誠一貫」のもとに眼科医療を研修することで、技術的にも精神的にも「実地に役立つ良質な専門医」を育成することを目指します。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数	専門研修指導医数	各種学会施設認定	主な専門研修連携施設			
日本眼科学会専門医 6名	専門医研修施設群総数 13名	日本眼科学会	昭和大学病院 昭和大学横浜市北部病院 小沢眼科内科病院	昭和大学江東豊洲病院 富士吉田市立病院	総合高津中央病院	横浜旭中央総合病院



専攻医育成コースの概略

医学部 卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年
眼科 基本コース	基幹施設 専攻医登録	関連施設または基幹施設での研修		専攻医修了	専門医試験

昭和大学藤が丘病院眼科専門研修プログラムでは、基幹病院での1年間の研修を必須とし、残りの3年間を昭和大学の附属病院または関連病院での研修としてあります。専攻医受験資格には専門研修4年間で、著者として論文執筆1編以上、学会発表2回以上が義務付けられています。研修実施場所は、昭和大学藤が丘病院に隣接する昭和大学藤が丘リハビリテーション病院での研修となります。日常業務は、病棟診察から始まります。自分の所見と指導医の所見を比較検討します。外来では、初診患者の医療面接、所見の取り方、検査オーダーを指導医から学びます。上級医、指導医の手術助手に入り、術式、合併症対策を研修します。自らも計画囊外摘出術+眼内レンズ挿入術ならびに超音波乳化吸引術の白内障手術を上級医の指導のもとに執刀します。これに向けてウェットラボでの手術を定期的に行います。毎週月曜日の医局会にて、入院中のすべての受け持ち患者の経過報告を行います。毎週火曜日には症例検討会および英語論文抄読会で発表します。1年目には日本白内障屈折矯正手術学会、日本臨床眼科学会あるいは日本眼科手術学会のいずれかの学会にて発表を

行います。2年目以降は、各関連施設で指導医のもと、研修を行います。当プログラムでは手術教育に力を注いでおり、研修4年間で、超音波乳化吸引術+眼内レンズ挿入術、眼科小手術を術者として執刀し完遂することを目指しています。当科の主な手術実績を示します。

白内障手術	2,394眼
緑内障	46眼
硝子体手術	207眼
バックリング	17眼
硝子体内注射	1,279眼
その他	132眼
合計	4,075眼

〈大学院進学を希望する場合〉
大学院進学を希望する場合は、昭和大学眼科専門研究プログラムをご確認ください。



プログラムの魅力

眼科1年目の週間予定(例)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	教授回診 外来初診	抄読会 病棟回診 手術助手	病棟回診 手術助手	週休	病棟回診 外来初診	病棟業務 外来 手術助手 (当番制)	休み
午後	外来診察 医局会	手術助手	手術助手	週休	外来初診	週休	休み

医局の雰囲気

昭和大学藤が丘病院眼科は主要4附属病院の眼科が、一つの医局として機能しております。眼科研修はこの4病院を中心に行うことで、知識や技術の偏りを減らし、知識の標準化を図っており、また、コンパクトかつタイトな診療連携により専攻医同士の情報共有を行いやすくなっています。

眼科専門医取得後について

専門医取得は、目標ですが通過点にすぎません。眼科はサブスペシャルティが多彩です。眼科主要6領域のほかにも、眼形成、神経眼科、小児眼科、ロービジョン、腫瘍、薬理など選択肢が豊富です(日本眼科学会HPを参照ください。<https://www.nichigan.or.jp/>)。昭和大学眼科もサブスペシャルティの選択を強く勧めております。それにより、広く深い知見を得ることを目標としており、生涯にわたる眼科専門医の質を向上できます。

専攻医からのメッセージ



2022年度専攻医

飯田 英里

出身大学
日本医科大学医学部
臨床研修病院：
東京医科大学市川総合病院

白内障分野を専門とし、その中でも強膜内固定術という新しい手技を積極的に行っている当科に魅力を感じ研修先として選びました。一般的な症例だけでなく、合併症などの難症例や稀な症例の経験もつむることができます。また、初診診断・治療方針・治療決定・治療・その後のフォローに関わることができ、指導熱心な上級医に日々相談しながら、充実した毎日を送っています。眼科に興味ありましたらぜひ見学にお越しください。

耳鼻咽喉科

昭和医科大学耳鼻咽喉科専門研修プログラム

研修期間 4年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 平野 康次郎 TEL 03-3784-8563 E-mail hirano.k@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
耳鼻咽喉科
教授 嶋根 俊和

生涯続けられる耳鼻咽喉科頭頸部外科医を育てています。

■本プログラムでは耳鼻咽喉科頭頸部外科の耳科学、聴覚医学、平衡神経学、鼻科学、口腔・咽頭・喉頭学、頭頸部外科学などの領域すべてで、専門家が指導にあたります。専門研修基幹施設には中耳炎・難聴、補聴器、言語、平衡神経、鼻副鼻腔、嗅覚、アレルギー、音声、嚥下・内視鏡の特殊外来と、耳鼻咽

喉科医師および口腔外科歯科医師からなる頭頸部腫瘍センターがあり、耳鼻咽喉科頭頸部腫瘍全般にわたる研修を受けることができます。また専門研修連携施設は東京都と神奈川県にあり、すべて地域の中核病院として機能する病院群です。専門研修連携施設にも専門性を有する指導医があり、どの施設においても

幅広く耳鼻咽喉科の医療を学ぶことが可能です。
専門医取得に必要な経験症例は充足しますし、必要な学術論文も指導医が指導します。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数	
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医	15名
日本がん治療認定医機構がん治療認定医	4名
日本気管食道科学会専門医	1名
日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医	2名

専門研修指導医数	
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会指導医	6名
日本頭頸部外科学会頭頸部がん指導医	2名

各種学会施設認定	
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医研修施設	
日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医研修施設	
日本気管食道科学会専門医研修施設	
日本鼻科学会鼻科手術研修施設	

主な専門研修連携施設	
昭和大学藤が丘病院	国際医療福祉大学三田病院頭頸部腫瘍センター
昭和大学横浜市北部病院	国家公務員共済組合連合会虎の門病院
昭和大学江東豊洲病院	岩手医科大学
東京都保健医療公社荏原病院	国立成育医療研究センター
小田原市立病院	埼玉医科大学病院
関東労災病院	



専攻医育成コースの概略

A 基本プログラム

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
I	基幹	基幹	連携 a	連携 a	専門医取得			
II	連携 a	基幹	連携 a	連携 b				

B オプションプログラム

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
大学院	基幹	連携 a	大学院（4年間）			連携 a	連携 b	
産休など	基幹	基幹	休職	基幹	連携 a	専門医取得		

A 基本プログラム（I & II）とB オプションプログラム（大学院・産休など）の2コースを設置しています。

A 基本プログラム 例：コースI

1年目 専門研修基幹施設で医療人としての基本姿勢を身につけ、代表的な疾患への正しい対処法や、スペシャリストの手技に触れます。悪性疾患、各種手術の経験、術後管理の経験を積み、基本的な耳鼻咽喉科専門医としての知識と姿勢を身につけます。

2年目 専門研修基幹施設にて研修を行います。1年目に学んだことを生かして各種疾患への経験を積み、主治医としての姿勢を身につけます。

3年目 1-2年目の経験をもとに、専門研修連携施設で研修を行い、耳鼻咽喉科領域のプライマリー疾患に対する診断および治療を主治医として責任をもって行えるように実

地経験を積み、自ら治療方針をたて、手術執刀から術後管理まで行えるように研修を積みます。また、その地域特有の現場を体験することにより、社会貢献・地域貢献への意識も高めていきます。

4年目 1-3年目で習得すべき処置と基本的手術の基礎をおおよそ身につけたので、症例数が多く主治医として診療にあたることができる地域の中核病院（専門研修連携施設）でさらに研鑽し自らが主治医となって診断治療を行い、専門医として独り立ちできるように研修を積みます。

*やむを得ない事情により研修病院が上記から変更になることがあります。

B オプションプログラム 例：大学院

4年間を上限に大学院で学ぶことができます。原則として「A 基本プログラム」における2年目課程終了後から可能です。大学院入学にあたっては各院の入学考査に合格する必要があり、学費は自己負担です。大学院通学中にも一定量の臨床に携わる場合には、研修期間としてカウントされますが、臨床から完全に離れて大学院で学ぶ場合には、研修休止の扱いとなり、プログラム復帰時は休止時点からの再開となります。

留学に関して、当講座では国内および海外留学いずれも可能です。基本期間は2年で、その期間は研修プログラムは中断の扱いとなります。



プログラムの魅力

医局の雰囲気

出身大学、臨床研修施設などは問わず、広く人材を求めております。アットホームな雰囲気で上級医との距離は近く、気軽に質問ができる環境です。医局員のスキルアップのために手術の講習会や国際学会への参加、国内外の留学を推奨しています。

勤務は比較的のオンオフの区別があります。もちろん急変や緊急救手など大変な時もありますが、自分の時間がまったく

なくなくなるということはありません。また、昭和大学耳鼻咽喉科の関連施設は東京、神奈川に集中しており急な異動によりライフプランが大きく崩れるということもまずありません。昭和大学で今働いている耳鼻咽喉科医の4人に1人は女性で、その中には子育てのため時間短縮で働く医師もいます。これから結婚、出産を考えている女性にとって、仕事と家庭を両立していく環境だと思います。

専攻医の1週間

	月	火	水	木	金	土	日
	病棟	手術	手術	手術	手術		
	外来	病棟	病棟	病棟	病棟		
		外来	外来	外来	外来		
午前	上級医とともに外来診察を行います。病棟では術後患者、重症患者の管理を研修します。	手術は1年目から上級医のもと執刀医となります。同時に術後のフィードバックを行います。		頭頸部癌手術が多く、再建などの手術に参加します。術後の管理についても指導医のもと研修します。			
	教授回診	超音波検査	嗅覚外来	嚥下外来	難聴外来		
	頭頸部腫瘍センター カンファレンス	頭頸部腫瘍外来	頸部神経鞘腫外来	手術	手術		
	耳鼻咽喉科頭頸部外科カンファレンス	手術	手術	嚥下造影検査	外来小手術		
		病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス	病棟カンファレンス		
午後	カンファレンスは他職種が参加しています。	超音波検査は実際にを行い、検査レポートの記載も上級医とともに行います。	専門外来の診療、見学を行いより深く耳鼻咽喉科頭頸部外科を研修していきます。	嚥下造影検査も実際に行います。	気管切開術の依頼も多く、病棟、手術室での臨時手術を上級医とともに行います。		

専攻医からのメッセージ



2024年度専攻医

島津 春香

出身大学
札幌医科大学
臨床研修病院
東京医療センター病院

耳鼻咽喉科頭頸部外科で学ぶべき分野は多岐に渡りますが、当院では各専門家の元で幅広い経験を積むことができます。また、昭和大学にゆかりのなかった私が当科を選んだ理由は、出身大学や所属施設に係なく親しみやすい雰囲気であること、女性医師が働きやすい環境であることがあります。実際に子育てとキャリアを両立しながら活躍されている先生も多くおり、多方面で相談しやすい環境です。ぜひ見学に来ていただき医局の雰囲気を感じていただければ嬉しいです。お待ちしております。



2022年度専攻医

井島 賀宏

出身大学
北里大学
臨床研修病院
小田原市立病院

臨床研修病院の小田原市立病院が、昭和大学と協定を結んでいたことがきっかけで昭和大学病院を選びました。昭和大学には附属病院と関連病院が数多くあるため、common diseaseから稀な症例まで幅広く経験することができます。耳鼻咽喉科は扱う臓器が多岐に渡り、自分の興味に合わせて専門性を培うことが可能です。また、内科的治療と外科的処置の両方を行うことができるのも大きな特徴です。当科はとても働きやすい環境だと思います。少しでも興味のある方はぜひ見学にいらしてください。そして、一緒に働けます日を心より楽しみにしております。



2021年度専攻医

三好 直人

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学横浜市北部病院

三好直人と申します。昭和大学のプログラムの魅力は、耳鼻咽喉科頭頸部外科全般にわたる研修を幅広く受けられることです。私が1、2年目で勤務した昭和大学藤が丘病院は、大学病院と地域中核病院の特色を併せ持ち、common diseaseから専門性の高い症例まで幅広く経験できました。また、現在勤務している昭和大学病院では、当科医師だけでなく口腔外科や形成外科の先生方からなる頭頸部腫瘍センターがあり、頭頸部癌の治療も多数経験することができます。医局の雰囲気もとても良いので、興味のある方はぜひ見学にいらしてください。お待ちしております。

昭和医科大学泌尿器科専門研修プログラム

研修期間 4年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 永田 将一 TEL 03-3784-8560 FAX 03-3784-1400 E-mail nagatam@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
泌尿器科
教授 深貝 隆志

プログラム概要

■泌尿器科専門医は昭和大学泌尿器科専門研修プログラムで4年間の研修育成をします。基本的には研修基幹施設で6ヶ月以上の研修を行い、それ以外の期間を研修連携施設で研修します。原則として4大学病院を各研修期間で研修して、各病院の特色

のある領域で多くの症例を経験します。さらに地域医療研修として3年次から4年次の間に6ヶ月以上の地域医療施設での研修を経験します。どの研修連携病院でも基幹施設と同等の研修を受けられ、ロボット支援手術を含む最新の泌尿器科技術を習得

します。本プログラムでは研修開始時から学問的研究能力の涵養のために大学院コースを選択することができます。修了時には泌尿器科全領域を診られる専門医となります。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数	専門研修指導医数	各種学会施設認定	主な専門研修連携施設
泌尿器科学会専門医 27名	泌尿器科学会指導医 18名	日本泌尿器科学会 日本透析医学会	昭和大学藤が丘病院 昭和大学横浜市北部病院 昭和大学江東豊洲病院 東京都立荏原病院 菊名記念病院 山梨赤十字病院 ひたち医療センター 琉球大学医学部附属病院 岩手医科大学附属病院 川崎医科大学附属病院 麻生総合病院 小林病院



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
昭和大学 泌尿器科 専門研修 プログラム	基本コース	臨床研修	泌尿器科専門研修		泌尿器科専門医			
	助教(医科)または助教							
	大学院一般枠 泌尿器科コース	臨床研修	泌尿器科専門研修		泌尿器科専門医			
	大学院(一般枠:泌尿器科)		助教(医科)または助教					
大学院社会人枠 コース	臨床研修	泌尿器科専門研修		泌尿器科専門医				
	大学院(社会人枠:基礎系)⇒(一般枠:泌尿器科)		助教(医科)または助教					
大学院基礎系 コース	臨床研修	泌尿器科専門研修		泌尿器科専門医				
	大学院(社会人枠:基礎系)	助教(医科)または助教、大学院は休学		大学院(一般枠:基礎系)				

泌尿器科専門研修の内容

専門研修1年目では基本的診療能力および泌尿器科的基本的知識と技能の習得を目指します。原則として研修基幹施設である昭和大学病院もしくは、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院での研修になります。希望によっては大学病院以外の連携施設からの研修も認めます。専門研修開始時に専攻医と施設責任者とプログラム統括責任者とで、専攻医の希望を勘案した4年間の研修計画を立てます。泌尿器科学会の定めた泌尿器科個別目標、泌尿器科専門技能:診察・検査・診断・処置・手術に基づいた研修を開始します。専門研修2年目から4年目にかけて経験を積んだ上で、徐々に経験に応じた難易度の高い手術の助手もしくは術者を経験します。経験した症例数を研修管理委員会で把握し未経験がないように調整します。3年次以降の研修において地域連携施設での研修を6ヶ月以上行います。

【大学院コース】研究マインドを大学卒業時から涵養するために、種々の大学院コースが選択できます。一般枠コースでは泌尿器科の大学院に入學し、専門研修を行なながら、臨床系大学院の研究を行います。研究テーマは臨床研究と基礎研究のどちらも選べます。社会人枠コースでは臨床研修開始時から大学院(社会人枠:基礎系)に入學して、臨床研修を行い、指導教員と相談の上、3年目に専攻科目を泌尿器科一般枠に変更します。大学院基礎系コースでは専門研修開始後に大学院を休学して専門医を取得した後、基礎系大学院に復学して、基礎医学を深めて医学博士の学位を取得します。

昭和大学泌尿器科専攻医プログラムは専攻医の希望を最大限に尊重するフレキシビリティの高いプログラムとなっており、どの施設で専門医研修を開始しても質の高い泌尿器科専門医となることができます。



プログラムの魅力

専攻医の1週間

	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30～	外来診察 手術 入院患者 回診・処置	外来診察 入院患者 回診・処置	外来診察 入院患者 回診・処置	外来診察 手術 入院患者 回診・処置	外来診察 入院患者 回診・処置	外来診察 入院患者 回診・処置	
13:30～	外来診察 手術 入院患者 回診・処置	外来診察	外来診察 入院患者 回診・処置	外来診察 手術 入院患者 回診・処置	外来診察 入院患者処置 入院患者 回診・処置		
午後 13:30～ 15:30					ESWL		
13:30～ 16:00		泌尿器科 超音波検査					
15:30～ 17:00			ウロダイナミ クス検査				

講座の雰囲気

4大学病院を含め連携施設間では指導医が常にローテーションしているため、お互いをよく知りアットホームな雰囲気で仕事をしています。また屋根瓦方式で指導を行うため、先輩後輩の関係も良好です。各種の行事も講座全体で行うものと、各病院で行うものがあり、どちらの参加も自由で交流を深めています。

講座の基本方針

プログラムの構成でもわかるように専攻医の自主尊重です。将来のサブスペシャルティの選択は指導医と検討し、専攻医の希望を優先します。

欲しい人材像

明るく元気で積極的に行動できる人。楽しいこと興味のあることに熱中できる人。

留学先

ハワイ大学、デューク大学、国立台湾大学など。

専攻医からのメッセージ



2024年度専攻医

關 陽子

出身大学
福島県立医科大学
臨床研修病院
東京都立荏原病院

泌尿器科は、内科的・外科的に患者さんを治療することができます、幅広い知識が必要とします。手術においても、開腹、腹腔鏡、ダヴィンチ、内視鏡手術と多岐にわたり、豊富な技術を身に付けることができます。日々学びがあり、とても充実した専攻医生活を送っています。それも当科の素敵なお先生のご指導と、雰囲気の良さがあるからです。ぜひ少しでも興味がある方は見学にいらしてください。



2022年度専攻医

川村 杏樹

出身大学
山梨大学
臨床研修病院
山梨大学医学部附属病院

泌尿器科は、診断から化学療法や手術などの治療までを一貫して行うことができます。手術においても尿路内視鏡手術から腹腔鏡手術、ダヴィンチなど多岐に渡り、手技も豊富です。また、昭和大学は出身大学での垣根がない医局であり、他大学出身の私にも分け隔てなく丁寧で暖かい指導をしてくださる素敵な先生方がたくさんいらっしゃいます。少しでも興味のある方はぜひ当院に見学にいらしてください。

脳神経外科

昭和医科大学医学部脳神経外科プログラム

研修期間 4年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 医局長 松本 政輝 TEL 03-3784-8605/8691 FAX 03-3784-8432
URL <https://www.showa-u.ac.jp/PCTC/>



統括責任者

昭和医科大学病院
脳神経外科

教授 諸藤 陽一

「安全、確実、完璧をめざして」の理念に基く高度な脳外科教育

■診療科長の水谷は2012年4月より現職。1984年に東京大学を卒業後、東京都多摩地区での20数年間を経て脳動脈瘤、頸部頸動脈狭窄、バイパス術などの特に脳血管障害の手術治療、良性脳腫瘍の手術を中心に取り組んできました。前任地の東京都立多摩総合医療センターで2001年7月に診療科長となり2023年まで11,924件の手術を主導しました。中でも、脳動脈瘤クリッ

ピング術2,098件(うち未破裂1,295件)、頸部頸動脈内膜剥離術1,004件、脳血管バイパス術530件、脳腫瘍摘出術1,579件と日本有数の手術件数を誇ります。常に安全、確実な手術を追及し、多くの若手脳神経外科医師の育成に実績があります。今後もブレずに安全性の高い手術と若手医師の教育に力を注ぐ所存です。脳血管障害は水谷主任教授(脳血管外科)、寺田特任

教授・津本教授(血管内治療)という日本を代表するエキスパートを筆頭に、入局直後から質の高い手術指導や教育を直接受けることが可能です。また脳腫瘍・機能外科・てんかん外科にも積極的に注力しており総合的にハイレベルな脳神経外科診療の経験・教育を受けることが可能です。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数	
日本脳神経外科学会専門医	30名
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医	24名
日本神経内視鏡学会認定医	6名
日本脳神経血管内治療学会認定専門医	15名
日本脳卒中の外科学会技術認定医	4名

専門研修指導医数	
日本脳神経外科学会指導医	22名
日本脳卒中学会認定脳卒中指導医	13名
日本脳神経血管内治療学会認定指導医	7名
日本脳卒中の外科学会指導医	7名

各種学会施設認定	
日本脳神経外科学会	昭和大学藤が丘病院
日本脳卒中学会認定研修教育病院	昭和大学横浜市北部病院
日本脳神経血管内治療学会	昭和大学江東豊洲病院

主な専門研修連携施設		
札幌孝仁会記念病院	総合病院国保旭中央病院	東京都立神経病院
昭和大学横浜市北部病院	鈴鹿孝仁会記念病院	東京労災病院
昭和大学江東豊洲病院	AOI国際病院	山梨赤十字病院
AOI国際病院	荏原病院	塩田病院
荏原病院	虎の門病院	小林病院
虎の門病院		柏たなか病院
		第三北品川病院



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
脳神経外科専門医研修プログラム	臨床研修		昭和大学病院 (基幹施設)	昭和大学藤が丘病院 昭和大学横浜市北部病院 昭和大学江東豊洲病院 (いずれも連携施設)ローテーション	昭和大学病院 8月 脳神経外科 専門医試験受験		

サブスペシャルティの形成

3~4年目

基幹施設である、昭和大学病院を中心として、疾患の基礎を指導します。月～金の8時から2時間程度のカンファレンスを行っており、Workstationを実際に操作する3D画像提示、手術のシミュレーションを徹底的に行い、また、手術動画をサーバにライブラリとしてストックし脳神経外科医全員がいつでも見られる体制を敷いています。すべての手術動画は全員参加のカンファレンスにおいて未編集でシームレスに検討しています。このITネットワークによる教育、指導体制は昭和大学脳神経外科独自のもので、全国をリードしています。1次から3次の救急受け入れ施設であるとともに、脳卒中

に関しては脳卒中専用PHSによる脳卒中急性期患者の受け入れ態勢を整えています。脳卒中急性期の診断、治療方針の立案、トリアージを行えるよう指導します。tPAに引き続き、急性期再開通治療の体制が整っています。すべての専攻医が脳血管内治療専門医を取得できることを目標としており、脳血管撮影手技を基礎から指導し、急性期再開通治療、脳動脈瘤コイル塞栓術、AVM、dAVFや脳腫瘍血管塞栓術に積極的に参加してもらっています。また顕微鏡手術に関しては実際の手術で用いている頭部固定器具、脳ペラキットを用意し、手術に入る前に、毎回自分でセットを組む練習を行える環境にあります。

5~6年目

3~4年目に昭和大学病院で基礎を学んだ後、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学江東豊洲病院と連携施設をローテートし、救急を含む現場での研修を行います。特に昭和大学藤が丘病院では寺田友昭教授のもとで日本トップクラスの血管内治療の技術を学ぶことができます。

7年目

昭和大学病院に戻って、8月に行われる脳神経外科専門医試験に備えます。また大学院入学希望者は隨時入学が可能で、基礎医学、臨床医学の各教室とも連携を取っています。サブスペシャリティの形成は、早ければ3年目から可能です。研修を積んで、経験を積むなかで、確立していく体制をとっています。



プログラムの魅力

【東京都心と横浜市に4施設】

東京都心と横浜市に4施設が存在し都心の魅力に加え、アカデミックポジションが豊富です。

【大学によるバイアスが存在しない】

愛知医科大学、岡山大学、鹿児島大学、川崎医科大学、北里大学、京都大学、杏林大学、久留米大学、慶應義塾大学、埼玉医科大学、産業医科大学、島根大学、昭和大学、信州大学、東京医科大学、東京慈恵医科大学、東邦大学、東京大学、筑波大学、徳島大学、新潟大学、防衛医科大学校、北海道大学、山梨大学、横浜市立大学、和歌山県立医科大学（五十音順）とスタッフ医局員の出身大学が多彩であり、大学によるバイアスが存在しません。

【手術エキスパートの育成】

特に脳血管障害の手術（脳動脈瘤クリッピング、バイパス術、頸動脈内膜剥離術脳血管内治療）、良性脳腫瘍などの手術を学びたい医師で構成されており、全国レベルの高い手術技術や治療の考え方を早い段階から公平に、みっちり学ぶことができ、エキスパート術者への道が開けています。また、月～金の毎日行っているサーバシステムによる手術動画を含むITを駆使したカンファレンスはほかの施設にはない時代の先端を行きます。

専攻医からのメッセージ



2024年度専攻医

櫻木 佑太

出身大学
筑波大学
臨床研修病院
総合病院国保旭中央病院

私は茨城県出身で研修病院は千葉県であり、昭和大学にはまったく縁がありません。初期研修時代の先輩に誘われる形で当院を見学しました。その際、過去の手術動画が医局でいつでも閲覧できること、毎朝のカンファで専攻医が発表した症例を上級医が丁寧に指導していることを見て専攻医の教育に力を入れていることから当院への入局を決めました。入局後も予想どおり日々、上級医先生方の指導の下充実した毎日を過ごしています。脳外科入局先を迷われている方、ぜひ一度見学にいらしてください。お待ちしております。



2023年度専攻医

櫻井 亮太

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学横浜市北部病院

開頭手術と血管内治療の双方を高いレベルで学ぶことができ、いわゆる“二刀流”を目指すことができるのが大きな魅力です。また、脳血管障害だけでなく、てんかんや腫瘍、内視鏡手術などもエキスパートの先生方から指導を受けることができます。相談のしやすい環境であり、日々のカンファレンスでは救急症例や手術のフィードバックの機会もあり、とても充実した日々を送っています。ぜひ一度当院に見学にいらしてください。



放射線科

昭和医科大学放射線科専門研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 宗近 次朗 TEL 03-3784-8573 FAX 03-3784-8360 E-mail rad@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
放射線科

教授 扇谷 芳光

大学ならではの症例で、経験が直接学びへ

■当プログラムでは研修施設それぞれの特徴を生かした放射線科領域専門研修を受けることができます。昭和大学病院で各種画像診断法、IVR、放射線治療、放射線安全管理などの基本的知識技術が習得できます。地域中核医療を担う総合病院である横浜市北部病院で外傷・急性疾患・頻度の高い悪性腫瘍、PETなど学び、江東豊洲病院でX線単純撮影、造影検査、CT、MRIの総合的画像診断能力を培い、藤が丘病院で地域の中核病院として、三次救急による外傷・急性疾患、および小児悪性腫瘍の

診断と放射線治療を研修し、昭和大学病院での研修を補充します。さらに研修協力施設で胸部単純写真や特殊なIVRなどの研修も行うことができます。また、年に2回以上筆頭演者として学会発表、年に1編以上筆頭著者で論文作成を目標とすることができます。

■【放射線診断】

X線単純撮影、X線造影検査、超音波検査、CT、MRI、RIの適応について十分理解した上で、臨床情報に基づいた適切な撮

像法の指示、画像診断をサブスペシャルティ領域の専門医から学ぶことができます。超音波検査、血管造影などのIVR手技の助手も経験できます。

■【放射線治療】

指導医のもとで、診察、診断、治療方針の決定、治療計画の作成、実際の治療、効果判定、有害事象の検討、治療後の経過観察などを経験できます。関連診療科との合同カンファレンスも盛んで、疾患の病態から診断、治療までの過程も学習できます。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数	
日本医学放射線学会放射線診断専門医	15名
日本医学放射線学会放射線治療専門医	11名
日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医	7名
日本核医学会専門医	8名

専門研修指導医数	
日本医学放射線学会研修指導者	26名

各種学会施設認定	
放射線科専門医総合修練機関	
日本放射線腫瘍学会認定施設	
日本核医学会認定医教育病院	
日本IVR学会専門医修練施設	

主な専門研修連携施設
昭和大学横浜市北部病院
昭和大学江東豊洲病院
昭和大学藤が丘病院
菊名記念病院
川崎幸病院
埼玉医科大学国際医療センター
川崎医科大学附属病院



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
放射線科専門 プログラム	臨床研修	連携施設 または 基幹施設	連携施設 または 基幹施設	連携施設 または 基幹施設	基幹施設	サブスペシャルティ領域などの 専門医連動コース		

大学院コース

研修には以下のコースが設定されています。どのコースに進むか、どの専門研修連携施設で研修するかは希望を聞いた上、相談して決定します。なお、研修期間は3年間以上です。

コ-7a：専門研修基幹施設2年、専門研修連携施設1年研修する基本的コースです。

コ-7b：専門研修連携施設を中心に研修するコースです。専門研修連携施設は原則として半年～1年ごとに異動しますが、諸事情により2年間同一施設もあり得ます。

コ-7c：専門医取得と博士号取得を同時に目指すコースです。基幹施設ならびに専門研修連携施設で午後5時まで研修を行い、それ以降に大学院で博士号取得をめざします。

3年間で研修すべき症例は、X線単純写真：400例、CT：600例、MRI：300例、超音波検査：120例、消化管X線検査：60例、核医学：50例、IVR：30例、放射線治療：30例です。研修が不足する可能性のある超音波検査や消化管造影は、専門研修基幹施設の責任のもとに専門研修

協力施設での研修で補完します。専門研修施設群内には脳神経、頭頸部、胸部、腹部・骨盤部、乳腺、骨軟部などの画像診断、核医学、IVR、放射線治療のそれぞれのスペシャリストがあり、サブスペシャルティ領域の専門研修も専攻医プログラムに引き続いて2年間持続して研修することもできます。また、臨床現場以外での研修として、抄読会や勉強会に参加し、インターネットによる情報検索の方法を学習することができます。種々の画像検査、IVR、放射線治療計画をトレーニングするシミュレーション設備や教育ビデオなどを活用し研修の充実を図ることができます。日本医学放射線学会認定の学術集会で専門医資格の更新単位を取得可能な講習会等を聴講するとともに、標準的なラビに先進的な画像診断、IVR、放射線治療および最新の医学的知見について積極的に学習することができます。放射線科関連の学会、学術講演会、セミナーに積極的に参加も可能です。病院が実施する医療安全講習会に定期的に参加することができます。



プログラムの魅力

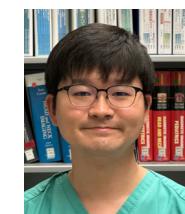
専攻医の1週間

	月	火	水	木	金	土	日
午前	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	
	画像診断 (CT,MRI)	IVR	画像診断 (US)	週休	治療	画像診断 (CT,MRI)	
午後	画像診断 (CT,MRI)	画像診断 (CT,MRI)	画像診断 (RI)	週休	画像診断 (CT,MRI)	検査	
		カンファレンス	カンファレンス				

専攻医の声

- 他大学出身者も多く、和気あいあいとした雰囲気がとても魅力的。（日本医大卒）
- 医局員の仲の良さと、教育体制の充実が魅力。（日本大卒）
- 附属病院と連携があり、多くの先生のもとで学ぶことができる。（富山大卒）
- 学ぶためのサポートが充実している環境が良い。（昭和大卒）
- 画像診断の研鑽を積めるほか、希望すれば1年目から研究に参加できる。
また、大学院のための勤務調整もしてくれる。（日本医大卒）
- マンツーマンの手厚い指導を受けることができる。
先生方は皆さん優しく、疑問に思ったことは解決するまで親身になって聞いてくれる。（金沢医大卒）
- 読影室でのコンサルテーションなど医局員や他診療科の先生方と距離が近い。（昭和大卒）

専攻医からのメッセージ



2023年度

梅景 知大

出身大学
東京医科大学
臨床研修病院
独立行政法人 国立病院機構
災害医療センター

当プログラムで回る昭和大学病院、3つの附属病院はいずれも都内、神奈川県内にありアクセスもよく、引越しせずとも研修ができる強みがあります。経験豊富な先生方の丁寧な指導はもちろん、各病院の雰囲気も和やかで、特色や症例もさまざまため、幅広い研修をすることができます。また、IVRや治療の症例も多く、オンコールでのコンサルト対応も含め、非常に勉強になる毎日で充実しています。ぜひ一度見学にいらしてください!



2023年度

上原 千咲

出身大学
浜松医科大学
臨床研修病院
磐田市立総合病院

全身のさまざまな疾患に対して画像を通して幅広く携わることができる点に魅力を感じ、放射線科を志望しました。当院ではcommon diseaseから稀な疾患、複雑な症例まで、多岐にわたって経験することができます。また、各科からのコンサルトも多いため、臨床を意識した読影力が身に付きます。当医局の特徴として、専門医による1対1のレポートチェックや、アットホームな雰囲気のため気軽に症例の相談や共有ができることがあります。とても学びやすい環境であると思います。いつでも見学お待ちしています!

放射線科

昭和医科大学横浜市北部病院放射線科専門研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学横浜市北部病院

問い合わせ先 | 担当者 渡邊 孝太 TEL 045-949-7000 FAX 045-949-7049 E-mail hokubu-rad@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学横浜市北部病院
内科系診療センター放射線科
教授 藤澤 英文

診断専門医、治療専門医取得まで手厚く指導

■当プログラムは昭和大学放射線科プログラムと密に連携し、研修施設それぞれの特徴を生かした放射線科領域専門研修を受けることができます。横浜市北部病院で外傷・急性疾患・頻度の高い悪性腫瘍などをはじめとするあらゆる領域の画像診断、IVR、PET検査を含む核医学検査、放射線治療、放射線安全管理

理などの基本知識技術が習得できます。昭和大学病院で各種画像診断法、IVR、放射線治療、などを学び、藤が丘病院で、三次救急による外傷・急性疾患、および悪性腫瘍の診断と放射線治療を研修し、江東豊洲病院でX線単純撮影、造影検査、CT、MRIの総合的画像診断能力を培い、昭和大学横浜市北部病院

での研修を補充します。さらに研修協力施設で胸部単純写真や特殊な IVRなどの研修も行うことができます。治療部門ではWebを利用した4病院による合同カンファレンスを毎朝行っており、経験も重要な治療方針の検討に関してしっかりした指導を受けられることを特色としています。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本専門医機構放射線科専門医	7名
日本専門医機構放射線診断専門医	3名
日本専門医機構放射線治療専門医	2名

日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医	3名
日本核医学専門医	3名
日本がん治療認定医	3名

専門研修指導医数

日本医学放射線学会研修指導医	5名
----------------	----

主な専門研修連携施設

昭和大学病院
昭和大学藤が丘病院
昭和大学江東豊洲病院
菊名記念病院
川崎幸病院

各種学会施設認定
日本医学放射線学会放射線科専門医研修施設（総合修練機関）
日本IVR学会専門医修練施設
日本核医学専門医教育病院
日本放射線腫瘍学会認定施設



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
放射線科専門 プログラム	臨床研修	連携施設 または 基幹施設	連携施設 または 基幹施設	連携施設 または 基幹施設	連携施設 または 基幹施設	基幹施設 サブスペシャルティ領域などの 専門医運動コース	

大学院コース

研修には以下のコースが設定されています。どのコースに進むかどの専門研修連携施設で研修するかは希望を聞いた上、相談して決定します。なお、研修期間は3年間以上です。

コースa：専門研修基幹施設2年、専門研修連携施設1年研修する基本的コースです。

コースb：専門研修連携施設を中心に研修するコースです。専門研修連携施設は原則として半年から1年ごとに異動しますが、諸事情により2年間同一施設もあり得ます。

コースc：大学院に在籍しながら、専門医取得と博士号取得を目指すコースです。

3年間で研修すべき症例は、X線単純写真：400例、CT：600例、MRI：300例、超音波検査：120例、消化管X線検査：60例、核医学：50例、IVR：30例、放射線治療：30例です。

研修が不足する可能性のある超音波検査や消化管造影は、専門研修基幹施設の責任のもとに専門研修協力施設での研修で補完します。専門研修施設群内には脳神経、頭頸部、胸部、腹部・骨盤部、乳腺、骨軟部などの画像診断、核医学、IVR、放射線治療のそれぞれのスペシャリストがあり、サブスペシャルティ領域の専門医研修も専攻医プログラムに引き続いて2年間持続して研修することもできます。臨床現場以外での研修として、抄読会や勉強会に参加し、インターネットに

より情報検索の方法を学習することができます。種々の画像検査、IVR、放射線治療計画をトレーニングするシミュレーション設備や教育ビデオなどを活用し研修の充実を図ることができます。日本医学放射線学会認定の学術集会で専門医資格の更新単位を取得可能な講習会等を聴講するとともに、標準的ならびに先進的な画像診断、IVR、放射線治療および最新の医学的知見について積極的に学習することができます。放射線科関連の学会、学術講演会、セミナーに積極的に参加することができます。病院が実施する医療安全講習会に定期的に参加することができます。



プログラムの魅力

専攻医の1週間

	月	火	水	木	金	土	日
午前	←	救急画像カンファレンス				→	
	読影 (CT・MRI)	IVR	読影 (核医学)	読影 (CT・MRI)	読影 (CT・MRI)	読影 (CT・MRI)	
午後	読影 (CT・MRI)	読影 (CT・MRI)	読影 (核医学)	IVR	読影 (CT・MRI)		
	←	症例検討カンファレンス				→	

医局の雰囲気

若い世代が多く、風通しの良い医局です。出身大学はさまざままで、気軽に相談しやすい雰囲気を備えています。働き方や勤務時間の管理がしっかりとおり、どんな状況でも働きやすい環境です。まずは見学に来てみてください。きっと「こういう職場もあるんだ」という心地よい境地を感じると思います。

専攻医の声

- どんな症例でも上級医に相談しやすく、いつも丁寧なご指導をしていただいている。
- 仕事と家庭・育児との両立ができる環境です。
- 各症例に対するフィードバックが手厚く、勉強のためのカンファもほぼ毎日行われており、学習面も申し分ありません。
- 偏ることなく多くの症例を満遍なく学ぶことができます。実際に読影レポートを書き、直接指導していただける点が他との大きな違いだと思います。その場で書き方から必要な事柄などを直接学ぶことができます。医局の雰囲気がよく、分からぬことや困った際に聞きやすい雰囲気であることも医局選びでは大切なポイントだと思います。
- 読影およびIVR等のスキルは二次専門医取得まで補助してもらえる。都市部へアクセスしやすい立地、綺麗な建物、医局設備が充実している。
- 近すぎず遠すぎず、深すぎず浅すぎず、ガチガチの体育会系ではない人間関係が良い。
- 丁寧な指導の下で多くの症例が経験でき、非常に勉強になります。上級医への相談もしやすいです。
- コーヒーメーカー、お菓子など読影室の環境も充実しています。
- 専攻医の数が増え、より活気があるのでぜひ一度見学に来て確かめてみてください。
- 幅広い疾患を経験することができ、学びの多い毎日を送っています。
- 町が便利、奇麗すぎてプライベートは充実しているし、最寄駅から羽田空港直行バスが出ています。また、新横浜まで電車で11分なので新幹線にもすぐ乘れます。

- 読影に対するフィードバックがしっかりしており、さまざまなことを相談しやすい環境です。
- 風通しもよく、女性も働きやすい職場だと思います。
- レポートの誤っている所見はその場で直接教えていただけるので、質問がしやすく勉強するのに良い環境だと思います。

専攻医からのメッセージ



2024年度専攻医

福谷 光平

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学横浜市北部病院

私は臨床研修病院が昭和大学横浜市北部病院であり、研修医1年目に当科をローテーションしました。指導医の先生にはとても熱心に教えていただき、放射線科の科としての面白さ、やりがいに気がつきました。2年目には合計3ヶ月間お世話になり、自然ここで働けたらいいなと感じていました。また、他の科をローテーションしている時も、読影に困ったら積極的に聞きに来っていました。どんなときでも親身になってくださる先生方ばかりで、本当にここを選んでよかったです。放射線科の指導体制、プログラムは各病院で十人十色であり、それぞれの良さがあるとは思いますが、豊富な症例数、丁寧な指導体制、引っ越し不要かつプライベートも充実させられるプログラムを望む方にはおすすめします。



2023年度専攻医

加藤 和憲

出身大学
名古屋市立大学
臨床研修病院
東京都立多摩北部
医療センター

私が昭和大学横浜市北部病院のプログラムを選択したのは外部からでも入りやすい雰囲気と、疑問に対してすぐに質問できる環境に魅力を感じたからです。病棟規模も700床近いためさまざまな症例を経験できます。放射線科では他にも昭和大学系列の病院に研修に行きますが、どこも近くにあるため引越しが不要なのも魅力的です。



2022年度専攻医

堀 麻琴

出身大学
宮崎大学
臨床研修病院
藤沢市民病院

当院の診療内容は診療科に偏りが少なく、救急も24時間受け入れているため、common diseaseも豊富に経験することができます。また、撮像した画像を当日中に読影する体制をとっているため、診療に直接反映される機会が多く、実践的な研修を積めていると実感しています。読影ブースの席も近く、その場でレポート内容の指導を受けることができます。自分から質問をしやすく、恵まれた環境だと感じています。実践的で、かつ教育的な研修が積めると思いますので、研修先に迷っている方は、ぜひ一度見学にいらしてください。

麻酔科

昭和医科大学病院麻酔科専門研修プログラム

研修期間 4年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 早野 直子 TEL 03-3784-8575 FAX 03-3784-8357 E-mail masuika@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
麻酔科

教授 大江 克憲

周術期管理のスペシャリストを目指そう!

■手術麻酔からペインクリニック、集中治療、無痛分娩まで幅広い研修が可能です。手術室内のみならず、手術室の外でも責任をもって周術期診療を行う麻酔科医の養成を目指しています。東京と横浜に位置する4つの大学附属病院を中心にローテーション

ンし、麻酔技術の基本に始まり、4年間で心臓麻酔、胸部麻酔、産科麻酔、小児麻酔などの多彩な症例を数多く経験できるコースが準備されています。手術麻酔だけではなく、ペインクリニックと集中治療の研修も行い、希望者は無痛分娩の研修も可能で、

麻酔科サブスペシャルティの修得も視野に入れて経験を積むことができます。ロールモデルとなるような女性指導医・専攻医も多く、出産や子育てとキャリアを両立できるような配慮もなされています。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本麻酔科学会指導医	8名	日本小児麻酔学会認定医	2名
日本麻酔科学会専門医	12名	日本区域麻酔学会認定医	1名
日本集中治療医学会専門医	6名	日本老年麻酔学会認定医	1名
日本ペインクリニック学会専門医	4名	日本神経麻酔集中治療学会指導医	1名
日本心臓血管麻酔専門医	2名	日本抗加齢医学会専門医	1名
呼吸療法専門医	2名		

専門研修指導医数

9名	日本麻酔科学会	日本ペインクリニック学会	日本呼吸療法医学会
	日本集中治療医学会	日本心臓血管麻酔学会	

主な専門研修連携施設

昭和大学藤が丘病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	日本赤十字社医療センター	東京労災病院
昭和大学横浜市北部病院	国立がん研究センター中央病院	東京都済生会中央病院	牧田総合病院
昭和大学江東豊洲病院	国立成育医療研究センター	聖路加国際病院	湘南藤沢徳洲会病院
杏林大学医学部付属病院	埼玉県立小児医療センター	東京ベイ・浦安市川医療センター	岡山大学病院
東邦大学医療センター大森病院	東京都立小児総合医療センター	静岡済生会総合病院	島根大学医学部附属病院
自治医科大学附属病院	がん研究会有明病院	東京都立荏原病院	広島市立広島市民病院など





専攻医育成コースの概略

医学部 卒後年数	3年	4年	5年	6年	7年	8年
麻酔科 専門研修 プログラム	昭和大学 附属病院 手術麻酔	昭和大学 附属病院・ 連携施設 手術麻酔/ ペイン/ICU	昭和大学 附属病院・ 連携施設 手術麻酔/ ペイン/ICU	昭和大学 附属病院・ 連携施設 手術麻酔/ ペイン/ICU 専門医試験対策	昭和大学 附属病院・ 連携施設 手術麻酔/ペイン /ICU 専門性の高い 研修	昭和大学 附属病院・ 連携施設 専門性の高い 研修
	★認定医 / 標榜医取得				★専門医取得	

大学院コース

・研修の流れ

前半2年に症例が多彩な大学附属病院を中心に研修を行い、肺、食道、小児、産科、心臓麻酔を含む多くの手術麻酔の経験を積みます。ペインクリニックと集中治療も経験します。後半2年は将来専攻したい分野に合わせてオーダーメイドで研修を組み立てます。専門特化した連携病院へのローテーション、臨床研究などさまざまな選択肢があります。

・取得できる資格

2年で学会認定医と麻酔標榜医が取得できます。4年で麻酔科専門医が取得できます。心臓血管麻酔専門医や集中治療専門医などのサブスペシャルティは麻酔科専門医取得以降となります。取得前から専門分野の研修を受けることができます。

・年次ごとの専門研修計画

1年目：大学病院にて、手術麻酔の基本的な技術・知識を習得します。研修開始直後から、上級医とともに肺、食道、小児、産科などの特殊症例の経験も積みます。心

臓は成人症例に加えて、小児開心術とカテーテル治療を経験できるのが特徴です。カンファレンス、症例検討会、抄読会、セミナーなどの学ぶ機会が定期開催されています。2年目：手術麻酔の基本的診療能力の向上に加えて、ペインクリニックや集中治療分野での知識や技術を習得します。また学会発表を通じて専門知識の強化を図ります。3年目以降：チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮することを学びます。実践的に手術室運営に関わることでさまざまな疾患へ対応する力量（知識・技能）を養うことを目指します。専攻したい分野により附属病院を離れて専門性の高い連携病院でも研修が行えます。

・大学院

専門研修期間中に大学院へ進むこと（大学院コース）も可能です。詳細は昭和大学大学院（<https://www.showa-u.ac.jp/grad/med/>）にお問い合わせください。



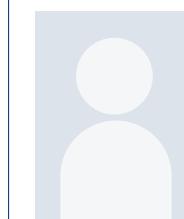
プログラムの魅力

手術室は外周がガラス張りで、天気がいいと富士山が見える開放的な環境です。他大学出身者も多く、溶け込みやすいアットホームな雰囲気が売りです。いわゆるママさん麻酔科医になってしまっても一線で活躍している女性が多いのも特徴です。他施設や他診療科から研修に来られる先生もいて、幅広い交流ができます。

麻酔症例には指導医と共に、密な指導が受けられます。当直も指導医と一緒に泊まるので安心です。

専門医取得に必要な症例を大学病院だけでも経験できますが、専門性の高い連携施設での研修も推奨しております。臨床研究や学会発表の機会も得られます。多様性を尊重し、互助の精神を大切にして、「患者のために、術者のために、自身のために!」をモットーに働いています。

専攻医からのメッセージ



2023年度専攻医

栗原 葉子

出身大学
北里大学
臨床研修病院
昭和大学病院

北里大学を卒業後、昭和大学病院で初期研修を行いました。麻酔科研修を通じ、全身管理の面白さに惹かれ麻酔科に進むことを決めました。後期研修が始まり1年経ちましたが細やかな指導体制、上級医への質問のしやすい雰囲気、症例の豊富さなど環境に満足しながら充実した後期研修生活を送っています。勤務中はしっかり学びながら働き、休みはしっかり休めるON・OFFの切り替えがはっきりしているのも昭和大学の魅力だと思います。ぜひ一度見学にいらしてください。

麻酔科

昭和医科大学横浜市北部病院麻酔科専門研修プログラム

研修期間 4年 基幹施設 昭和医科大学横浜市北部病院

問い合わせ先 | 担当者 田畠 春美 TEL 045-949-7294 FAX 045-949-7365 E-mail anesthe@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学横浜市北部病院
外科系診療センター麻酔科
教授 信太 賢治

来たれ、未来の専門医!!

■昭和大学横浜市北部病院麻酔科は、麻酔学の基本的な知識技術を習得後、ハイリスク症例など専門性の高い麻酔管理の研修を行います。前半の2年間は主に横浜市北部病院で研修を行います。各専攻医に対して均整のとれた質の高い教育を行うことを目指しています。

■横浜市北部病院におけるコースの魅力は、手術麻酔では外科系各科の豊富な症例数があるため、当院だけでも麻酔科専門医試験に必要な症例数（600例以上、そのうち小児、帝王切開、心臓血管、胸部外科を含む）を担当することができます。そのため1・2年目は、横浜市北部病院を中心に研修を行います。3年目は、病院ごとの手術症例の違いやサブスペシャルティとして

の集中治療やペインクリニックの研修を含めて、昭和大学麻酔科をはじめとした連携病院でローテーションを行います。4年目は、各専攻医の希望を重要視しますが、専門医試験に備えて横浜市北部病院で再度研修を行うことを基本としています。5年目以降は、より専門性の高い領域の研修を目指します。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本麻醉学会指導医	5名	日本ペインクリニック学会専門医	1名
日本麻醉学会専門医	9名	日本慢性疼痛学会慢性疼痛専門医	1名
日本心臓血管麻酔専門医	2名	日本小児麻酔学会認定医	1名

専門研修指導医数

11名

各種学会施設認定

日本麻醉学会	日本心臓血管麻酔学会
麻酔科認定病院	心臓血管麻酔専門医認定施設
日本ペインクリニック学会	日本緩和医療学会
指定研修施設	認定基幹施設

主な専門研修連携施設

昭和大学病院	荏原病院
東京都済生会中央病院	東京都立小児総合医療センターなど
湘南鎌倉総合病院	
湘南藤沢徳洲会病院	
岡山大学病院	
小倉記念病院	
昭和大学藤が丘病院	
昭和大学江東豊洲病院	



専攻医育成コースの概略

オーダーメイドで研修を構築

医学部 卒後年数	3年	4年	5年	6年	7年	8年
麻酔科 専門研修 プログラム	横浜市北部病院 手術麻酔	横浜市北部病院 手術麻酔ほか	横浜市北部病院 または 昭和大学病院・ 連携施設 手術麻酔・ ペイン・ICU	横浜市北部病院 または 昭和大学病院・ 連携施設 専門医試験対策 手術麻酔・ ペイン・ICU	横浜市北部病院 または 連携施設 専門性の高い研 修	横浜市北部病院 または 連携施設 専門性の高い研 修
★標榜医取得				★専門医取得		

【研修の流れ】

昭和大学横浜市北部病院から研修を始めます。1年目は手術麻酔に必要な基本的手技と専門知識を指導医のもとで習得します。2年目にかけて重症患者や緊急救手の周術期管理、特殊症例（心臓外科、胸部外科、脳神経外科、帝王切開、小児手術）の周術期管理を指導医のもとで実施します。後半2年は横浜市北部病院では症例数の少ない特殊症例や将来専攻したい分野に合わせてオーダーメイドで研修を組み立てます。専門特化した関連病院へのローテーション、臨床研究、学会発表などさまざまな選択肢があります。

【取得できる資格】

2年で学会認定医と麻酔標榜医が取得できます。4年で麻酔科専門医が取得できます。心臓血管麻酔専門医、集中治療専門医、ペインクリニック学会専門医などのサブスペシャルティは麻酔科専門医取得以降となります。取得前から専門特化した研修を受けることができます。

【年次ごとの専門研修計画】

1年目：横浜市北部病院にて、手術麻酔の基本的な技術・知識を習得します。さらに、指導医とともに胸部、脳神経、小児、産科などの特殊症例の経験も積みます。カンファレンス、症例検討会、抄読会、セミナーなどが定期的に開催されています。

2年目：手術麻酔の基本的診療能力の向上に加えて、指導医のもと心臓血管外科を経験します。経食道心エコーも同時に習得できます。さらに学会・研究会への参加・発表を通じて専門知識の強化を図ります。

3年目以降：手術麻酔では基本的に1人で周術期管理することを目指します。合併症のある患者、重症患者でも自ら主体性を持って臨むように指導します。また、ペインクリニック、緩和ケア、集中治療、無痛分娩などの各分野での知識・技術を習得します。横浜市北部病院だけでは学べない領域があれば、個人の技量や希望に合わせて大学病院や関連施設で研修を行います。論文作成も指導します。



プログラムの魅力

専攻医の1週間

	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:00～ カンファレンス	8:00～ カンファレンス	8:00～ カンファレンス	明け	研究日	ペイン外来	休み
	8:30～ 手術室	8:30～ 手術室	8:30～ 手術室				
午後	手術室	手術室	手術室	明け	研究日	休み	休み
	術前・術後回診	術前・術後回診	術前・術後回診				
			当直				

【学位取得・留学について】

当初から学位取得を目指す場合は、昭和大学の大学院（博士課程「甲」）に進学することをお勧めします。横浜市北部病院の専攻医プログラムを選択した後、学位取得を希望する場合は改めて大学院に進学する「甲」か、学位論文を提出して学位審査を行う方法「乙」があります。国内外の留学についても積極的に支援しています。

麻酔科の医局の雰囲気について

当麻酔科の最大の魅力は医局の雰囲気の良さです。上級医との距離が近く、多くのスタッフがお互いのことを尊敬し合い、専攻医一人一人の教育に熱心に取り組んでいます。時には仕事のことだけではなく、医局員のプライベートな相談にも家族のように真剣に話し合うこともあります。また出産、子育てなどと両立している女性医師も多く、時短勤務など柔軟な働き方を提案できる温かい医局です。定期的にイベントも開催しており、特に麻酔科の忘年会には、200人を超える病院スタッフが集まり、食事会を通して病院としての連帯感が生まれ、科を超えたチーム医療により円滑に行えることに貢献しています。昭和大学歯科病院歯科麻酔科と連携しており、歯科麻酔科の先生方も医局員として一緒に診療にあたっています。口腔外科や障害者歯科治療の麻酔は当科の特徴の一つとなっています。

専攻医からのメッセージ



2022年度専攻医

梅谷 侑未

出身大学
東海大学
臨床研修病院
厚木市立病院

私は横浜市北部病院のアットホームな雰囲気に惹かれて入局を決めました。横浜市北部病院では豊富な症例を偏りなく、幅広く経験することができます。専門性の高い心臓外科や小児外科、脳外科、呼吸器外科などを学べる機会も多く、充実した日々を送っています。普段の麻酔だけでなく、学会発表や論文などを手厚く指導していただいています。恵まれた環境で切磋琢磨できる同期と日々楽しく麻酔を学んでいます。

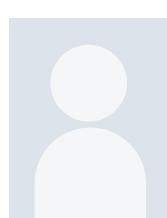


2023年度専攻医

佐々木 信英

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学横浜市北部病院

手術件数の多い横浜市北部病院では幅広い症例・手技が経験できます。上級医の先生方が手厚く指導してくださり、不安なことはいつでもどんなことでも相談できる環境なので、安心して麻酔を学ぶことができます。有資格者が多数いる環境は刺激的で、成長を喜んでくれる環境が魅力的で、私はこの医局で学ぶことに決めました。オペレーターーや看護師さんとのコミュニケーションも多く、雰囲気の良い手術室も魅力的です。



2022年度専攻医

平木 倭奈

出身大学
東北大学
臨床研修病院
独立行政法人国立病院機構
東京医療センター

横浜市北部病院の麻酔科に入局してから1年経過し、振り返ってみると初期研修医のころの自分が想像していた以上に充実した日々を過ごしていると思います。手術麻酔においては、一般的な症例はもちろん、心臓血管外科や小児外科、呼吸器外科などより専門的な知識を必要とする症例も数多く経験することができました。上級医の先生方はゼロから丁寧に教えてくださり、疑問に思ったことはすぐに質問できる環境にあるため、学びの多い毎日です。また、ペインクリニックや無痛分娩を経験する機会もいただけるため、手術麻酔だけにとらわれずにさまざまな分野への知識を深めることができます。周りにいる頼もしくてついていきたくなるような上級医の先生や先輩方、たくさん支え合ってきた同期、やる気のある後輩たちのおかげで、失敗して落ち込むことがあっても、次の麻酔に活かして頑張ろうと思える素敵な環境です。麻酔科に興味がある方はぜひ見学にいらしてみてください。



2023年度専攻医

遠藤 有彩

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学藤が丘病院

臨床研修で当院麻酔科をローテートした際に、患者さんにとつてより良い麻酔を実践するために日々尽力する指導医の先生方の姿に惹かれ、本プログラムを選択しました。当院では一般外科から循環器や呼吸器、産婦人科を含めた多彩な症例を経験することができます。入局から2カ月経ちますが、手厚いご指導のもとで、学びの多い充実した毎日を送っています。

病理

昭和医科大学医学部病理専門研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 塩沢 英輔 TEL 03-3784-8122 FAX 03-3784-2959 E-mail shiozawa@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
臨床病理診断科
教授 矢持 淑子

プログラム概要

■昭和大学病院臨床病理診断科を基幹施設とする専門研修プログラムでは、豊富な指導教員による充実した指導と多彩な症例を経験することにより、安定して確実な診断を行える技能を習得

することに重きを置いている。一人の専攻医を常に複数の指導医が指導・評価を行うことにより、専攻医の技能習得状況を正確に把握しながら、適切な症例数を偏りのない内容で提供する

ことが可能であり、各専攻医を信頼に足る病理専門医に確実に育てることを目指している。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数	専門研修指導医数	各種学会施設認定	主な専門研修連携施設
日本病理学会病理専門医 7名	日本病理学会病理専門医研修指導医 4名	日本病理学会	昭和大学藤が丘病院
日本臨床細胞学会細胞診専門医 4名	日本臨床細胞学会教育研修指導医 1名	日本臨床細胞学会	昭和大学横浜市北部病院
日本病理学会分子病理専門医 2名			昭和大学江東豊洲病院
			聖路加国際病院
			東京都保健医療公社豊島病院
			戸塚共立第1病院
			川崎協同病院
			汐田総合病院
			渋谷会病院
			小田原市立病院



専攻医育成コースの概略

医学部 卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
病理専門研修 プログラム	臨床研修		基幹施設	連携施設 A	連携施設 B		基幹施設

大学院コース

本プログラムでは基本的に専攻医は大学院に進学し、大学院生として病理研修と解剖をしながら研究も行うスタイルとなっている。このスケジュールで各病院での研修と大学での研究を並行して進めるため、無理なくプログラムを消

化できる内容構成となっている。1年目から充実した研修を行い、2年目、3年目で大学院生としての研究を進めるとともに、しっかりととした病理研修を行う。代表的なプログラムのパターンを下記に記す。

パターン①

1年目：基幹施設
 2年目：連携施設1群
 3年目：基幹施設+連携施設2群（週3日）
 1年目に基幹施設、2年目に1群連携施設で基本的手技を学び、さらに3年目で基幹施設およびほかの連携施設2群を経験することにより多くの症例を身に付けることが期待できる。3年目以降、基幹施設の大学院で研究活動も同時に行える。

パターン②

1年目前半：基幹施設
 1年後半：基幹施設+連携施設1群（週1日）
 2年目：基幹施設+連携施設2群（週2日）
 3年目：基幹施設+連携施設3群（週1日）
 連携病院の1群～3群までを経験できるパターン。1年目に基幹施設と1群連携病院で基本的手技を学ぶことにより、より広い視野を身に付けることが期待できる。2年目以降、基幹施設の大学院で研究活動も同時に行える。

パターン③

1年目：基幹施設
 2年目：基幹施設+連携施設1群（週1日）
 3年目：基幹施設+連携施設2群（週1日）+連携施設3群（週1日）
 1年目は基幹施設で基本手技を身につける。2年目以降は基幹施設での研修を中心に、2年目は1群、3年目は2群連携施設での研修を加え、幅広く豊富な症例を経験することができる。2年目以降、基幹施設の大学院で研究活動も同時に行える。



プログラムの魅力

専攻医の1週間

	月	火	水	木	金	土	日
午前	臓器切り出し	臓器切り出し	臓器切り出し	臓器切り出し	臓器切り出し		
午後			症例検討				
	症例検討	症例検討	解剖臓器観察	症例検討	症例検討		
			医局会				

医局の雰囲気・方針

当教室は診断業務および剖検業務を主体とする科です。比較的時間に融通がつけられる職場であり、女性医師も多く、男女ともに子育てしながら仕事をすることが十分に可能です。3年間のプログラムで病理専門医受験のための病理解剖数、組織・細胞診断数、迅速診断数は十分に確保できます。直近10年での専門医試験受験者はすべて合格しており、各施設でさらなるステップアップをしています。学術的にも病理学的な研究を主として各種学会発表

を積極的に行ってています。もちろん国内および国外留学も積極的に推奨しており、スタッフは全員、研究や診断に関する欧米の留学経験を持っています。各臨床科の幅広く多様な疾患に関与・対応する業務ですので、各科担当医と積極的にコミュニケーションを取り、また医局内でdiscussionをしつつ診断を進めが必要となります。いろいろな疾患に興味を持ち対応できる積極性のある人材を求めます。

専攻医からのメッセージ

2024年度専攻医

中山 真悟

出身大学
 琉球大学
 臨床研修病院
 社会医療法人財団石心会
 埼玉石心会病院

昭和大学病院臨床病理診断科では、大学病院ならではのさまざまな症例が経験できます。また、診断業務だけでなく病理解剖やCPCも積極的に行っていますが、いずれにおいても指導医からフィードバックを受けられる体制が整っています。医局内は温厚な雰囲気で過ごしやすい環境でちょっとした相談もしやすく、充実した研修を送ることができます。

臨床検査

昭和医科大学臨床検査専門研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 安原 努 TEL 03-3784-8577 FAX 03-3784-4927 E-mail rinbyou@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
臨床病理診断科（臨床検査）
准教授 安原 努

プログラム概要

■臨床検査はEBM (Evidence Based Medicine) における客観的な指標として、診療にかかせません。臨床検査の全般において、その品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献する専門医が臨床検査専門医です。そのような専門医を育成すべく、本プログラムにおいては指導医が教育・指導にあたります。本プログラムで

の研修後に、臨床検査の基礎医学的背景、方法論、臨床的意義を十分に理解し、それをもとに医師をはじめほかのメディカルスタッフと協力して適正な医療の実践に貢献することになります。

- ①専攻医が臨床検査に関する知識、技能を習得すること。
- ②専攻医が臨床検査を通して診療に貢献すること。
- ③専攻医が臨床検査の研究法を習得すること。

④専攻医が医師として適切な態度と高い倫理性を備えることにより、患者・メディカルスタッフに信頼され、プロフェッショナルとしての誇りを持つこと。

- ⑤臨床検査専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数	専門研修指導医数	各種学会施設認定	主な専門研修連携施設
臨床検査医学会認定 臨床検査専門医 1名	2名	日本臨床検査医学会	昭和大学横浜市北部病院 東京都健康長寿医療センター
臨床検査管理医 1名			



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年
昭和大学病院 臨床検査 プログラム	臨床研修		昭和大学病院、 東京都健康長寿医療センター、 昭和大学横浜市北部病院		

研究開始

昭和大学病院を基幹研修施設とした3年間の臨床検査専門研修を行います。連携研修施設は東京都健康長寿医療センターおよび神奈川県横浜市の昭和大学横浜市北部病院で、そこでは常勤あるいは非常勤の指導医の専門性を活かした研修をしてもらいます。

1年次～3年次

まず、1年次の前半3ヶ月間で昭和大学病院で臨床検査総論、一般検査と臨床化学を学び、臨床検査を専門とする心構えを身につけることになります。一般検査と臨床化学の研修は実施も含めながら研修します。

その後、9ヶ月間は連携施設の昭和大学横浜市北部病院で指導医の指導のもと臨床検査全体を研修します。

2年次には昭和大学病院に戻り、まず臨床血液学の研修を行います。骨髄像の判読を身につけ、同検査の報告書を作成することを以降の業務とします。

3年次には臨床化学、臨床微生物学、遺伝子関連検査学、臨床免疫学・輸血学の検査を研修します。

研究は2年次から、指導医と話し合ってテーマを決めて始めます。倫理申請が必要となることが想定されますので、テーマは早く決める必要があります。研究のための時間を前に述べたスケジュールでは特別にあってはいませんが、指導医と相談の上、隨時決めることになります。

なお、2017年以降、昭和大学附属4病院のすべてにおいて、検体検査が外部委託となりました。検査の実際は、連携施設と研究室で研修します。



プログラムの魅力

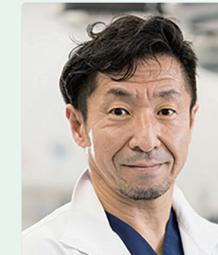
- 院内感染対策のための分子疫学研究が可能です。
- 遺伝子・核酸検査を習得できます。
- 検査から多角的に疾患に触れるすることができます。

救急科

昭和医科大学救急科専門研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 土肥 謙二 TEL 03-3784-8744 FAX 03-3784-6880 E-mail kdop@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
救命救急科
教授 土肥 謙二

プログラム概要

臨救急科専門研修の期間は3年となります。本研修プログラムによる専門研修によって、以下の能力を備えることができます。

①当プログラムの救急患者数は日本有数であり多くの症例を経験できます。ER型救急センターで、軽症から重症までさまざまな傷病、緊急度の救急患者に対して適切な診療を行うことができるようになります。

②重症患者に先端的な集中治療を行うことができるようになります。

③病院前診療やドクターヘリなどについても関連施設で研修することができます。

④災害医療において指導的立場を取る（東京および日本DMATなどの資格取得）ことができるよう研修します。

⑤救急医療に関する教育指導を行うことができるようになります。（各種コースへの参加や指導認定の取得など）

⑥救急診療の科学的評価や検証を行えるように勉強会などを積極

的に行っていきます。

⑦世界に通用する先端的な研究を行い学会や論文発表、さらには最短での学位と専門医の両者の取得を目指せます。

⑧「働き方改革」を積極的に行っており、完全シフト制のために自分の時間を確保できます。家庭や子育て、研究などの両立が可能です。

⑨毎年多くの専攻医登録があり専門医試験合格率も100%です。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本救急医学会認定専門医	7名
日本集中治療専門医	2名
日本脳神経外科学会認定専門医	1名
日本整形外科学会認定専門医	1名

日本内科学会専門医	1名
日本脳卒中学会専門医	1名
日本頭痛学会専門医	1名

専門研修指導医数

救急科専門医 (日本救急医学会 認定指導医 3名を含む)	6名
その他、内科	1名

各種学会施設認定

日本救急医学会
日本集中治療学会
日本脳卒中学会
日本神経救急医学会
日本脳神経外傷学会ほか

主な専門研修連携施設

昭和大学藤が丘病院	東京共済病院
昭和大学横浜市北部病院	東大和病院
昭和大学江東豊洲病院	茨城西南医療センター
日本赤十字社医療センター	秋田赤十字病院
東京都立多摩総合医療センター	東京労災病院
佐久総合病院（佐久医療センター）	浦添総合病院
NTT 東日本関東病院	東京慈恵会医科大学附属病院



専攻医育成コースの概略



- ・年次計画としては、基本的診療能力（コアコンピテンシー）に加え、ER・ICU・病院前救護・災害医療について、研修1年目は基本的知識・技能、2年目は応用的知識・技能、3年目は実践的知識・技能を修得するための研修を進めます。なお、これらは年次にこだわることなく、弾力的に研修し、施設群の中で基幹施設・連携施設はどのような組み合わせと順番でローテートしても、最終的に指導内容や経験症例数に不公平がないように十分な配慮がなされます。
- ・個々の基本モジュールの内容を吟味した上で、基幹施設あるいは連携施設のいずれの施設からの開始に対しても対応できます。

【基本モジュールごとの研修期間】

- ①重症救急症例の病院前診療・初期診療・集中治療診療
部門：12～24カ月
- ②ER診療部門：6～12カ月
- ③臨床研修の研修領域、あるいは専門医取得以降の修練
希望領域に基づく他科研修：6カ月まで
- ④オプションとしてドクターヘリ・災害医療研修：3カ月まで

- ・地域医療の実状と求められる医療について学ぶため、地域の救急医療機関において3カ月以上の救急診療を経験することを原則としています。
- ・専門研修期間においては、必須項目を中心に、それぞれの年次ごとに知識・技能のコンピテンシーの到達目標が定められています。研修中には、コアコンピテンシー項目と救急科領域の専門知識および技能について、専攻医研修実績フォーマットに指導医のチェックを受け、形成的評価を受けていただきます。

- ・修了判定には、専攻医研修実績フォーマットに記載された「経験すべき疾患・病態・診察・検査・手術・処置」のすべての評価項目について自己評価および指導医等による評価が基準を満たしている必要があります。判定は専門医認定の申請年度に研修プログラム管理委員会において、知識・技能・態度に関わる目標の達成度を総括的に評価し総合的に判断します。大学院入学者については学位取得に向けて臨床研修と研究を両立できるようにローテーションや研修施設を考慮します。



プログラムの魅力

救急医学への誘い

救急医の役割は救急診療や災害医療のみならず、集中治療医学、病院前救護、医療スタッフや一般市民向けへの教育などに拡大しています。そのような状況において日本における救急医の役割と存在感はますます大きくなっています。その一方で全国的にいまだ救急医は不足しており将来的にも救急科専門医は生涯を通じて地域あるいは全国的にリーダーとして活躍できます。昭和大学救急・災害医学講座は次世代の日本の救急医が世界のフロンティナーとして活躍していくために、優れた臨床医であり、かつ世界に貢献する研究者である未来の救急医の育成のために昨年度から新たな出発

をしました。また、昭和大学病院では救急応需率100%を目指しており、2次救急3次救急とともに実際95%以上の応需率を達成しています。救急搬送台数も2次3次ともに全国的に有数の台数を誇っています。昭和大学救急・災害医学講座では大学病院として、そして地域救急医療の要として“断らない救急医療”“完全シフト制の勤務体制”を達成しており、家庭や育児との両立を目指す女性医師、臨床研修と並行した研究活動や学位取得を目指す医師を積極的に支援します。また、将来の留学などについても積極的に応援します。ぜひ、われわれと一緒にキャリアパスを実現していきましょう。

専攻医からのメッセージ



2022年度専攻医

永樂 學

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学病院

初期臨床研修のとき、先生方やコメディカルの方々の人柄に惚れ、働きやすい環境だと思い、昭和大学病院で専門研修を続けることにしました。関連病院を回り、手厚い指導を受けながら一次救急から三次救急まで幅広い症例を経験しています。研修病院が都内にある分、地域研修では秋田や沖縄、長野といった全く異なる環境で、新しい経験ができるはずです。ベテランから若手までシフト勤務で頻回にかかわるため、患者さんのことはもちろん、キャリアに関してなど気軽に相談できる良い環境だと思います。一度見学に来ていただいて当科の雰囲気を感じただければと思います。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。



2023年度専攻医

富田 佳賢

出身大学
昭和大学
臨床研修病院
昭和大学藤が丘病院

私は親の影響もあり元々精神科を志望していました。初期臨床研修のときに、救命センターをローテーションして、すべてをやりきった先にある奇跡の生還と厳しい現実、それでも希望を見失わない先輩たちの姿に感銘を受けて入局を決めました。当センターの専攻医研修プログラムは、指導医のバックアップのもと早期から実戦配備され、経験症例が膨大です。事実、私は専攻医1年目の1年間でYMAT、東京DMATなどの出動経験は10件以上に上り、学会発表は4回ほど経験しました。1・2次救急ではリーダー業務も行います。今年度は半年のドクターヘリ研修も予定しております。救急医療はすべての専門科につながる医療の基礎だと思います。当プログラムは必ず1人前に医師となるプログラムだと思いますので、皆さんと一緒に働くのを楽しみにしております。

昭和医科大学形成外科研修プログラム

研修期間 4年 基幹施設 昭和医科大学藤が丘病院

問い合わせ先 TEL 045-974-6379 FAX 045-974-6379 E-mail keisei@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学藤が丘病院
外科系診療センター形成外科
教授 門松 香一

プログラム概要

■〈概要〉

昭和大学附属病院および連携施設群で、すべての形成外科専門医カリキュラムを達成します。各施設の取り扱う疾患にはばらつきがあるため、不足分を補うように施設間で異動を行います。研修期間中は、臨床だけでなく基礎研究にも携わり、リサーチ

マインドを涵養します。また、積極的に国内外の学会での発表を行い、世界に通じる発信力を身につけます。

■〈魅力〉

唇裂口蓋裂や乳房再建は、日本でも有数の手術件数を誇ります。また、当教室は毎年、アジア諸国や中近東、アフリカ等での海

外医療支援を行い、多数の手術を行っています。研修医はこれらに参加することで、医療に関して広い視野を身につけることができます。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本形成科学会専門医	13名
形成外科領域指導医	2名
皮膚腫瘍外科指導専門医	5名
小児形成外科分野指導医	4名
再建マイクロサーボジヤー分野指導医	3名
レーザー分野指導医	1名
日本創傷外科学会専門医	3名

日本抗加齢学会専門医	1名
日本臨床皮膚外科学会認定医	1名
日本手外科学会専門医	1名
日本手外科学会指導医	1名
乳房再建エキスパンダー・インプラント責任医師	7名
VASER LIPO認定医	1名

専門研修指導医数

6名

各種学会施設認定

日本形成外科学会認定施設
日本形成外科学会・乳房増大エキスパンダーおよびインプラント実施施設
日本乳房オンコプラスティックサーボジヤー学会・エキスパンダー実施施設
同学会・インプラント実施施設

主な専門研修連携施設

昭和大学病院	聖マリア病院	上都賀総合病院
昭和大学病院附属東病院	いまきいれ総合病院	西尾市民病院
昭和大学藤が丘病院	群馬県立小児医療センター	熊本機能病院
昭和大学横浜市北部病院	東京臨海病院	日立総合病院
昭和大学江東豊洲病院	東京共済病院	秋田赤十字病院
太田西ノ内病院	毛山病院	藤枝市立総合病院
前橋赤十字病院	ひたち医療センター	熊本赤十字病院
千葉県こども病院	高崎総合医療センター	九州大学病院
船橋中央病院	山梨赤十字病院	聖隸浜松病院
東京労災病院	習志野第一病院	NTT 東日本関東病院
東京通信病院	製鉄記念八幡病院	
山梨県立中央病院	荏原病院	



専攻医育成コースの概略

医学部 卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
昭和大学 形成外科 専門研修 プログラム	臨床研修	基幹施設 および 連携施設	基幹施設 および 連携施設	基幹施設 および 連携施設	基幹施設 および 連携施設	専門医 資格取得	ポストレジデント期間 (部長研修・ サブスペシャルティ 領域などの専門医取得)	

大学院コース

当教室では研修期間を、以下の3つの期間に分けて考えて
います。

- ・プレレジデント期間：卒後2年目まで
臨床研修医、医学部生を対象とした見学会を随時行っています。希望者は、月・水・金に行われている各講師陣による昭和大学の学生向けの講義に参加することも可能です。昭和大学藤が丘病院での研修を選択した場合は、研修期間中から形成外科を最低1カ月以上研修期間に割り当てることができます。また年に数回は豚皮を用いた縫合、マイクロサーボジャリー、顔面骨骨折治療のハンズオンセミナーを開催しておりますので、奮ってご参加ください。
- ・レジデント期間：卒後3年目～7年目まで
当教室は、36の連携施設を有しています。昭和大学藤が丘病院および複数の連携施設で、すべての形成外科専門カリキュラムを達成することを目指します。ただし、それぞれの施設には取り扱う疾患の分野にはばらつきがあるため、不足分を補うように施設間での異動を行います。採用人数の状況にもよりますが、およそ1年おきに施設を異動し、顔面骨骨折の多い施設、先天性疾患の多い施設、熱傷治療を得意とする施設などを経験することで、最短期間で専門医資格を取得できるよう指導します。
- ・ポストレジデント期間：卒後8年目以降、専門医資格取得後2年間連携施設で部長研修やそれに準じた研修を行います。一般形成外科、先天奇形、マイクロサーボジャリー、クリニックオフェンシャルサーボジャリー、手外科など、専門医資格取得後に、専門性を高めるための必要な技能や、病院内におけるマネジメントなどを学びます。



プログラムの魅力

昭和大学形成外科の特徴

当教室は、1968年に開設され日本でも長い歴史の間形成外科診療およびその発展に寄与してきました。主診療拠点は神奈川県横浜市の昭和大学藤が丘病院ですが、そのほかの附属3病院でも形成外科診療を行っております。また大学直属の機関として「昭和大学口唇口蓋裂センター」が形成外科内に開設されており年間500例前後の口唇口蓋裂手術は全国でも類を見ない件数です。昭和大学病院をはじめ附属病院では乳房や手足の再建を数多く

手掛けております。当教室は、学内外に開かれたオープンな雰囲気からこれまでの入局者は351人を超え、輩出した専門医の数は284人に及びます。また海外からも常に留学生が訪れており、国際色豊かな環境です。都内および全国各地に数多くの連携施設をもち、研修医は、各施設で豊富な臨床経験を積むことができます。

(令和6年4月1日現在)

専攻医からのメッセージ



2022年度専攻医

松浦 聰司

出身大学
関西医科大学
臨床研修病院
西尾市民病院

昭和大学形成外科は日本でも有数の手術件数を誇っており、さらに関連施設が多いためさまざまな症例を経験できます。昭和大学で学ばれた多くの専門医や指導医が在籍しており手厚い指導が受けられますので、やる気のある方にとってはとても良い研修環境だといえます。また医局はさまざまな大学の出身者が集まっている、形成外科に興味のある先生はぜひ見学に来てください。



2022年度専攻医

今田 陽

出身大学
杏林大学
臨床研修病院
沖縄県立北部病院

昭和大学形成外科は、関連施設が全国に多くあり、様々な場所で経験を積むことができます。また、医局人数も多いため、多くの人と出会い、人脈を広げることができます。若手のうちから執刀できる機会が多く、早くから技術を磨けるのも魅力の一つです。大学病院では口唇口蓋裂などの先天異常や乳房再建の手術が多く、専門性を深めることができます。一方、地方病院では外傷を中心とした手術を学べるので、幅広い症例に対応する力が身につきます。充実した研修環境で、しっかりとキャリアを築きましょう。

皆さまと一緒に働くこと楽しみにしています。

リハビリテーション科

昭和医科大学リハビリテーション科 専門研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院

問い合わせ先 | 担当者 川手 信行 TEL 045-974-2221 E-mail rehab@med.showa-u.ac.jp



統括責任者

昭和医科大学藤が丘
リハビリテーション病院
リハビリテーション科

教授 川手 信行

急性期・回復期・生活期すべてで活躍できるリハビリテーション科専門医の育成

■病気（先天性疾患を含む）や外傷、加齢などによる障害を予防・診断・評価・治療とともに、機能回復並びに活動性向上や社会参加に向けた医療的支援を行うことのできる専門医の育成と、急性期、回復期、維持期（生活）医療で、オールラウンドに活躍できる専門医の育成ができるプログラムです。また、リハビリテーション科専門医として、医療の第一線で活躍できる医師の育成を目指し、たとえコンサルテーションされた患者でも、主治医として患者を診ることのできる医師の育成を目指します。

昭和大学リハビリテーション医学講座には、大学院も設置されており、また、保健医療学部にはリハビリテーション・スタッフのための学科や大学院も設置されています。臨床に加えて、研究・教育にも積極的に関与や参加が可能であり、臨床・研究・教育の3拍子そろった医局です。医局には、昭和大学附属病院に29名のリハビリテーション科医局員が在籍し、OB/OGが構成する同門会と合わせると60名におよび、リハビリテーション医学会では日本有数の大きな医局です。

■リハビリテーション医学は、人が生きてくうえで根幹となる『活動』を診断・治療できる唯一の診療科です。普段、私たちが何気なくできている活動は、さまざまな病気・外傷が原因で低下します。また、たとえ病気や外傷が治癒しても活動制限で悩んでいる人はたくさんいます。その人たちのために一緒にやっていきましょう。ホームページURL : <https://www10.showa-u.ac.jp/rehabili/>



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

リハビリテーション科専門医 7名

専門研修指導医数

リハビリテーション科専門研修指導医 5名

各種学会施設認定

日本リハビリテーション医学会

主な専門研修連携施設

【昭和大学関連】

昭和大学病院・東病院
昭和大学藤が丘病院
昭和大学江東豊洲病院
昭和大学横浜市北部病院

【神奈川県】

町田慶泉病院
横浜旭中央総合病院
新横浜リハビリテーション病院
港北ニュータウン診療所（生活期）

【東京都】

初台リハビリテーション病院
牧田リハビリテーション病院
大田病院（生活期）
森山リハビリテーションクリニック（生活期）

【千葉県】

船橋市立リハビリテーション病院
三友堂リハビリテーション病院

【長野県】

佐久総合病院



専攻医育成コースの概略

医学部 卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
リハビリテーション科 専門研修 プログラム	臨床研修	基幹施設	連携施設 A	基幹施設 連携施設 B				

大学院コース

〔プログラムの一例〕

専門研修1年目（主に基幹病院で主治医として）指導医の助言・指導のもとに、基本的診療能力を身につけるとともに、リハビリテーション科の基本的知識と技能（評価・検査・治療）概略を理解し、一部を実践できることを目標にします。専門研修2年目（昭和大学附属病院等でコンサルト医として）基本的診療能力の向上に加えて、リハビリテーション関連職種の指導にも参画します。基本的知識・技能に関し

ては、指導医のもと評価・検査・治療の大部分を実践でき、専門診療科と連携し実際の診断・治療へ応用する力量を養います。

専門研修3年目（コンサルト医・主治医として）指導医の監視なしでも、評価・検査・治療について中心的な役割を果たし、適切に判断し専門診療科と連携できる力を養います。



【研修プログラムに関する全体行事の年度スケジュール】

- 4月 研修修了予定者：前年度の研修目標達成度評価報告用紙および経験症例数報告用紙を提出
指導医・指導責任者：前年度の指導実績報告用紙の提出
- 5月 昭和大学研修プログラム参加病院による合同カンファレンス（講演会・症例検討：4ヶ月に1回開催）
- 6月 日本リハビリテーション医学会学術集会参加（発表）
- 9月 昭和大学研修プログラム参加病院による合同カンファレンス（講演会・症例検討：4ヶ月に1回開催）
日本リハビリテーション医学会関東地方会参加（発表）
- 11月 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会参加（発表）
- 1月 昭和大学研修プログラム参加病院による合同カンファレンス（講演会・症例検討：4ヶ月に1回開催）
- 3月 研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成（年次報告）
指導医・指導責任者：指導実績報告用紙の作成（書類は翌月に提出）



プログラムの魅力

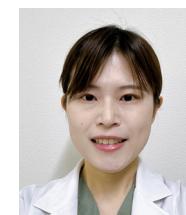
昭和大学リハビリテーション科は、1991（平成3）年に開設されました。まだ、リハビリテーション科がめずらしい存在だった時代です。当時組織として存在しない診療科に、「診療科がないのなら自分たちで作って行こう」と、1人さらに2人と若い医師が集い、徐々に医局として体系ができ、開設されたという歴史があります。

リハビリテーション医学は、人が生きてくうえで根幹となる『活動』を診断・治療できる唯一の診療科です。普段、私たちが何気なくできている活動は、さまざまな病気・外傷が原因で低下します。また、たとえ病気や外傷が治癒しても活動制限で悩んでいる人はたくさんいます。

また、これから日本社会は、2025年には団塊の世代が75歳を超える未曾有の超高齢社会が到

来します。急増していく高齢者や障害をもつ方が増える一方で、少子化が進んでいます。「活動」を診断・治療できる唯一の診療科であるリハビリテーション医学への期待はますます大きくなっています。しかし、日本でのリハビリテーション科専門医数はまだ少ないのが現状で、十分なリハビリテーション医療が提供されていないのが現状です。日本中の津々浦々、すべての病院や地域でリハビリテーション医学の恩恵が受けられる社会、これが私たちの願いです。皆さんの若い力がこの診療科には必要です。若い医師が自らの思いを語り合い、将来のリハビリテーション医療のあり方や理想を追い求めるための診療科・講座です。ぜひ、リハビリテーション科研修プログラムの扉を開いてみてください。

専攻医からのメッセージ



2022年度専攻医

佐久間 香那
出身大学
山形大学
臨床研修病院
川口市立医療センター

当プログラムは回復期リハビリテーションに興味がある方、在宅医療に興味がある方にとって最適のプログラムを感じています。働いているスタッフや医局の雰囲気がよく、教授を含めすべての先生方に気兼ねなく相談できる環境で、充実した日々を過ごしています。同期も6人と、専攻医が増えている勢いのある診療科です。関連病院も近く引っ越しざむに研修できることもメリットだと思います。少しでも興味のある方は一度見学にいらしてください。お待ちしております。

リハビリテーション科

昭和医科大学病院リハビリテーション科専門研修プログラム

研修期間 3年 基幹施設 昭和医科大学病院

問い合わせ先 | 担当者 笠井 史人 TEL 03-3784-8782 E-mail rehab@med.showa-u.ac.jp



統括責任者
昭和医科大学病院
リハビリテーション科
教授 笠井 史人

プログラム概要

■リハビリテーション科は、障害によって損なわれた個々の生活を再構築させていく過程にさまざまな手段を用いてアプローチを行い、障害を持ちながらも生きてゆく方々の自立を支える、生活（暮らし）の部分にまで目を向けて医療を展開するユニークな診療科です。リハビリテーション医療は、急性期、回復期、生活期障害にわたります。急性期には救命・集中治療と併行しながらも将来の社会復帰に向けてリハビリテーションを始動させ、回復期には疾患によりもたらされた障害に専門病床で集中的に取り組み、生活期は自宅や施設を含む生活圏に移ってからの医

療を担います。一般的な診療科はその中の一部分を切り取って色濃くかかわることが多いのですが、当科はすべてのステージで患者さんに寄り添いながら、より良い生活（暮らし）を支えています。診療内容は運動器・脳神経系・呼吸器・循環器・悪性腫瘍等広く診断治療にかかわり、住まい・生活用具の準備からソーシャルワークに至るまでの総合診療となりますが、「生活（暮らし）」に照準を合わせたスペシャリティの高さを併せ持つところが特徴的と言えます。

■昭和大学病院は救命救急センターを擁する急性期病院ですから、特に急性期リハビリテーションを中心に診療しています。現代のリハビリテーションは発症後すぐに始まります。急性期には病名も確かな治療法もまだ確定できない場合がありますが、それでも患者さまが適した生活に早く戻れるように、回復期、生活期を見据えてリハビリテーションを開始いたします。リハビリテーションの出発点から研修をはじめ、回復期・生活期診療へと豊富な関連施設でじっくり学んでいただきます。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

リハビリテーション科専門医	6 名
リハビリテーション科認定医	5 名

専門研修指導医数

リハビリテーション科専門研修指導医	4 名
-------------------	-----

各種学会施設認定

日本リハビリテーション医学会

主な専門研修連携施設

【東京都】
昭和大学江東豊洲病院
牧田リハビリテーション病院
五反田リハビリテーション病院
城南福祉医療協会大田病院
森山リハビリテーションクリニック

【横浜市】
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院
昭和大学横浜市北部病院

【千葉県】
千葉リハビリテーションセンター

【山形県】
三友堂リハビリテーション病院



専攻医育成コースの概略

医学部卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
リハビリテーション科専門研修プログラム	臨床研修	基幹施設	連携施設 A	基幹施設連携施設 B				サブスペシャルティ領域などの専門医連動コース

大学院コース

【プログラムの一例】

【専門研修1年目（主に基幹病院で主治医として勤務）】指導医の助言・指導のもとに、基本的診療能力を身につけるとともに、リハビリテーション科の基本的知識と技能（評価・検査・治療）概略を理解し、一部を実践できることを目指します。

【専門研修2年目（昭和大学藤が丘リハビリテーション病院で主治医として）】基本的診療能力の向上に加えて、リハビリテーション関連職種の指導にも参画します。基本的知

識・技能に関しては、指導医の監視のもと、評価・検査・治療の大部分を実践でき、専門診療科と連携し、実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。

【専門研修3年目（他病院などでコンサルト医・主治医として）】基本的診療能力については、指導医の監視なしでも、迅速かつ状況に応じた対応ができること、基本的知識・技能に関しては、指導医の監視なしでも、評価・検査・治療について中心的な役割を果たし、適切に判断し専門診療科と連携できることが求められます。

【研修プログラムに関連した全体行事の年度スケジュール】

- | | |
|-----|--|
| 4月 | 研修了予定者：前年度の研修目標達成度評価報告用紙および経験症例数報告用紙を提出 |
| 5月 | 指導医・指導責任者：前年度の指導実績報告用紙の提出
昭和大学研修プログラム参加病院による合同カンファレンス（講演会・症例検討：4カ月に1回開催） |
| 6月 | 日本リハビリテーション医学学会学術集会参加（発表） |
| 8月 | 昭和大学研修プログラム参加病院による合同カンファレンス（講演会・症例検討：4カ月に1回開催） |
| 9月 | 日本リハビリテーション医学学会関東地方会参加（発表） |
| 11月 | 日本リハビリテーション医学学会秋季学術集会参加 |
| 12月 | 昭和大学研修プログラム参加病院による合同カンファレンス（講演会・症例検討：4カ月に1回開催） |
| 3月 | 研修終了（3年目）
研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成（年次報告）（書類は翌月に提出）
指導医・指導責任者：指導実績報告用紙の作成（書類は翌月に提出）
日本リハビリテーション医学学会関東地方会参加（発表） |



プログラムの魅力

専攻医の1週間 1年目専攻医（例）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	脳血管・神経系 リハビリ回診	週休	摂食・嚥下 リハビリ回診	勉強会抄読会 嚥下造影検査	病棟診療 コンサル	小児リハ外来	週休
午後	装具診 神経生理検査	週休	病棟診療 コンサル	病棟診療 コンサル	ボツリヌス 治療外来	研究	週休

専攻医からのメッセージ



2022年度専攻医

小林 崇久

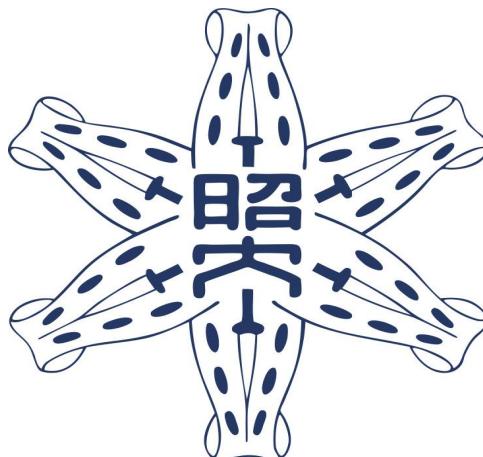
出身大学
筑波大学
臨床研修病院
筑波大学附属病院

これまで昭和大学には縁がありませんでしたが、他大出身の医師も多く、出身によらず活躍できる病院だと思います。当科は診療科長、医局長はじめ、上級医への相談の敷居がとても低く、専攻医へのサポートが充実しています。立地も良く、東京都および横浜市内で研修を完結できることがポイントとなり入局される方も多いです。一緒に働く日を楽しみにしています。

高い専門性をめざした現代の医学は、臓器別・手段別に細かくカテゴライズされています。総合的に「人間」を診療するために多くを学び領域を広げていけば、逆に専門性が薄れていくジレンマに陥ります。リハビリテーション医学は「人の生活、暮らし」を診療対象として高い専門性を持っています。そしてその専門の実現のために総合診療を行います。ただしその診療の場合は、救急診療や診断学を中心とした総合診療とは違い、急性期に始まり回復期・生活期へと脈々と繋がっていく患者の生活に寄り添い、快適な暮らしを永く支えていく総合診療です。障害を負って生活される方や治療方法の見いだせない神経難病、急増している超高齢の方々が、住み慣れた自宅や社会に復帰していく手伝いをしています。そのため比較的ゆったりとした時間で学んでいけるため、家庭との両立や体力に自身のない方、

ダブルボードとして学びたい医師や転科をお考えの先生にも取り組みやすいプログラムになっています。昭和大学リハビリテーション科は、1991（平成3）年に開設されました。まだ、リハビリテーション科がめずらしい存在だった時代です。当時組織として存在しない診療科に、「診療科がないのなら自分たちで作って行こう。」と、1人さらに2人と若い医師が集い、徐々に医局として体系ができ、開設されたという歴史があります。しきたりにとらわれず、より良い診療を追求できる柔軟性があります。これから日本は、2025年に団塊の世代が75歳を超え、未曾有の超高齢社会が到来します。急増していく高齢者や障害をもつ方々を支える医療としてのリハビリテーション医学のニーズはますます大きくなっています。しかし、日本でのリハビリテーション科専門医数はまだまだ少ないので現状で、十分なりハビリテーション医療が提供されていないのが現状です。皆さんの若い力がこの診療科にはぜひとも必要です。若い医師が自らの思いを語り合い、将来のリハビリテーション医療のあり方や理想を追い求めるためのプログラムです。





昭和医科大学

SHOWA Medical University

昭和医科大学医師臨床研修センター事務室事務課

専攻医・連携病院係

〒142-8777

東京都品川区旗の台1-9-14 教育研修棟1F

TEL.03-3784-8299

E-mail:s-senkou@ofc.showa-u.ac.jp